

ANNUAL REPORT

2000 — 2001

No. 24



University of Tsukuba

Institute of Policy and Planning Sciences

ま え が き

社会工学系は、社会問題（経済、経営、都市・地域、国際関係等の諸問題）を理工学的（分析的、数理的、計量的）アプローチによって解明し、政策的な意味合いを見出す、という研究上の共通目標をもつ研究者・教育者の組織である。それぞれの構成員は、国際的に認められるような質の高い研究成果を上げるように、また良き教育者であるように努めている。今後は、社会貢献も視野に入れなければならない。

平成12年度の本学系所属の教員は、東京大塚地区を含めて、教授40名、助教授33名、講師22名、助手4名の合計99名である（平成13年3月31日現在）。

† 本学系教員の研究・教育活動は、以下のように総括できる。

（1）研究活動と国際交流

本学系の研究活動は、急速に活性化している。平成12年度の国内外論文数（国内116件、国外70件）は、急増した平成11年度（国内158件、国外57件）よりは少なかったが、9年度（国内65件、国外26件）、平成10年度（国内93件、国外40件）から、大きく伸びている。本学系発行のディスカッションペーパーは60編（平成11年度は39編）に昇った。また、外部の競争的研究資金の積極的導入に努めた結果、科学研究費補助金の採択件数及び金額も増加している。

学系所属の教員が受賞した学会賞等は、日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー、日本品質管理学会品質技術賞、日本交通学会賞、日本リスク学会賞、日本建築学会関東支部主催「美しい村をつくる町をつくる」コンペ優秀賞、経営情報学会2000年度論文賞、及び日本建築学会奨励賞の7件である。

学系として国際交流協定を結んでいるのは、韓国国土研究院、アデレード大学、南オーストラリア大学、南オーストラリア・フリンダース大学、ウィーン経済・経営大学、及びザンクト・ガレン大学（スイス）である。これらの大学とは、若干名ながら、研究者及び学生の交換が続いている。学系の外国人教員は12名である。外国人研究者の受入れと教員の海外派遣の総数は170件に達し、これは全学の組織のなかで最多である。

（2）教育と人事

本学系から教員を派遣している教育組織は、第三学群の社会工学類と国際総合学類、修士課程の環境科学研究科と地域研究研究科、博士課程のシステム情報工学研究科、国際政治経済学研究科、及び経営・政策科学研究科（大塚地区における夜間課程を含む）である。また、先端学際領域研究センター、大学研究センター、及び留学生センターでも研究と学生指導に参加している。

本学系は、退職・転出者が比較的多く、教員のモビリティが高い。それに伴って、昇任・採用人事が活発に行なわれている。人材は、公募またはそれに準ずる方法で学内外から広く応募者を集め、審査付き学術論文を主とする研究業績と教育への貢献・抱負を基にして、選考している。

本学系の教員は、多様な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交流が、相乗効果により、研究成果の向上をもたらすことを期待する。本学系の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立って、有能な人材を確保することが必要である。また、学系業績の定期的な記録と自己評価により、学系の活動の説明責任を果たさなければならない。本報告書が、そのような課題に対応するための資料を提供し、構成員及び関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

平成13年7月26日

社会工学系長
高木英明

目 次

| | |
|--|----|
| <u>I 概 要</u> | 1 |
| <u>IA1 沿 革</u> | 2 |
| <u>IA2 学系(研究組織)・教育組織等の関係</u> | 3 |
| <u>II 教 官 一 覧</u> | 4 |
| <u>III 教 育 活 動</u> | 10 |
| <u>IV 研 究 活 動</u> | 24 |
| <u>IVÅ1 科学研究費補助金・受託研究・学内プロジェクト</u> | 25 |
| <u>IVÅ2 ファカルティ・セミナー</u> | 30 |
| <u>IV—3 研究出版物</u> | 33 |
| <u>V 各教官研究・教育活動</u> | 37 |

I 概 要

I—1 沿革

- 昭38.9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
- 昭45.5 筑波研究学園都市建設法成立
- 昭47.5 筑波新大学（仮設）等42機関を閣議決定
- 昭48.10 筑波大学設置
- 昭50.4 社会工学系発足
- 社会科学部 計量計画学専攻（博士課程）発足
- 昭51.4 経営・政策科学研究科 経営・政策科学専攻（修士課程）発足
- 昭52.4 第三学群社会工学類発足
- 環境科学研究科（修士課程）発足
- 昭53.4 社会工学研究科計量計画学、都市・地域計画学専攻（博士課程）発足
- 昭54.4 社会工学研究科経営工学専攻（博士課程）発足
- 昭56.3 社会工学類第一回生卒業
- 平 1.4 経営・政策科学研究科 経営システム科学専攻（夜間修士課程、大塚地区）発足
- 平 4.4 国際政治経済学研究科（博士課程）発足
- 平 5.4 新国際システム特別プロジェクト発足
- 平 8.4 経営・政策科学研究科 企業科学専攻（夜間博士課程、大塚地区）発足
- 平 9.4 社会工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻新設、社会経済システム、システム情報数理、都市・環境システム専攻に改組再編
- 平 12.4 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻（社会経済システム、システム情報数理、都市・環境システム分野）、計量ファイナンス・マネジメント専攻（博士課程）発足
- 平13.4 ビジネス科学研究科 経営システム科学、企業法学、企業科学専攻（夜間・前後区分制博士課程、大塚地区）、システム情報工学研究科 リスク工学専攻（博士課程）発足

I—2 学系(研究組織)・教育組織等の関係

Ⅱ 教 官 一 覧 (専門分野・研究内容)

社会工学系教官一覧

(平成12年8月～平成13年7月)

| 職名・氏名 | 専門分野 | 研究内容 |
|---|--|---|
| 教授 | | |
| 赤根谷 達雄 | 国際政治学、国際政治経済学、日本の対外政策 | 日米同盟の再構築、新しい安全保障の概念、WTO軍備管理レジーム |
| 池田 三郎 | 社会システム工学、環境リスク分析 | 都市、地域及び生態系の統合モデル化とその計算機模擬、地球環境や都市・地域の環境リスクの分析と管理、複雑系のモデル化とその制御の手法に関する研究 |
| 石田 東生 (社会工学類長 H13.4.1～) | 都市交通計画、社会基盤施設計画、交通需要予測 | 都市公共交通政策、交通施設整備政策の変遷、交通計画策定プロセスにおける評価とパブリックインボルブメントの可能性と方法 |
| 糸井川 栄一 | 都市防災計画 | 都市防災に関する数理化、都市の災害脆弱性評価 |
| 太田 誠 | ミクロ経済学、計量経済学 | 生産技術・品質・市場構造の理論的・実証的研究、物価指数論、マクロ経済現象のミクロ理論的・実証的分析 |
| 大西 治男 | 情報計量経済学、計量行政学、データ解析 | 統計学や計量経済学の変数選択問題の解法の計算機科学的研究 |
| 大村 謙二郎 (社会工学研究科長 H11.4.1～H13.3.31) | 都市計画、都市計画史 | 土地利用計画、計画制度、都市計画史 |
| 小場瀬 令二 | 都市環境デザイン | 環境共生住宅、地域重視型住宅、フィンランドの都市計画、まちづくりとワークショップ、都市・建築のデザイン |
| 小倉 昇 | 管理会計学、業績評価、コストマネジメント | 事業業績の評価、活動基準原価計算、組織の戦略的コントロール、マーケティング活動の会計的測定 |
| 金子 守 (社会工学研究科長・システム情報工学研究科社会システム工学専攻長 H13.4.1～) | ゲーム論、認識論理、理論経済学 | ゲーム論の基礎と応用、認識と経験、住宅市場 |
| 河合 忠彦 (経営・政策科学研究科副研究科長 H11.4.1～H13.3.31) | 経営組織論、企業行動論 | 戦略的組織革新、経営組織論、企業行動論 |
| 岸本 一男 (経営・政策科学研究科長 H11.4.1～H13.3.31) | 数理工学 | 数理ファイナンス、デジタル幾何、数理政治学 |
| 久野 靖 | プログラミング言語、プログラミング環境 | 並列/分散オブジェクト指向言語、教育用オブジェクト指向言語、情報教育、ユーザインタフェース |
| 熊谷 良雄 | 都市計画、都市安全管理計画 | 大地震による被害の想定に関する研究、緊急時の危機・情報管理、災害復興計画 |
| 黒田 誼 (社会工学類長 H11.4.1～H13.3.31) | 農業経済学、経済発展論 | 生産性、誘発的技術進歩、農業成長および経済発展、農業および食糧政策 |
| 香田 正人 | システム科学、応用数理解析、データマイニング工学 | システム最適化、感度解析、ニューラル・ネットワーク、機械学習等の理論的研究と、それらの技術のデータマイニングや発見科学への応用 |
| 腰塚 武志 (副学長 H12.4.1～) | 都市工学、積分幾何学 | 都市の物的構造を数理的に明らかにすること。積分幾何とその応用。移動からみた都市構造の分析 |
| Neantro Saavedra-Rivano | International Economics, Development Economics, Mathematical and Computational Methods in Economics. | Comparison of Development Policies in East Asia and Latin America, Relation Between Regional Economic Integration Schemes and National Development Strategies in Asia and the Americas, Issues on Transition Economies. |

| | | |
|---|---|---|
| 佐々木 康三 | 資源経済学、農業経済学、需要分析 | 需要システム研究、消費者行動の実証分析、資源の経済分析 |
| 佐藤 英夫 (国際連合大学派遣H10.4.1~H13.3.31) | 国際政治学、国際政治経済学、対外政策決定論 | 日米関係の政治経済学、グローバル・リーダーシップの分担、アジアの地域主義と国際関係 |
| 佐藤 亮 | 経営システム工学、システム科学 | 経営情報システム、離散事象システム、ビジネスプロセス工学、一般システム理論 |
| 斯波 恒正 (H11.4.1~H13.3.31併任) | 計量経済学、ファイナンスの実証分析 | 分散確率変動モデルの統計的推測方法の開発と実証 |
| 鈴木 久敏 (ビジネス科学研究科長 H13.4.1~) | オペレーションズ・リサーチ、数理計画法 | オペレーションズ・リサーチの生産、物流、社会システムへの応用 |
| 高木 英明 (社会工学系長 H12.4.1~) | 通信ネットワーク、確率モデル、待ち行列理論 | マルチメディア情報通信ネットワークの性能評価モデル |
| 谷村 秀彦 (第三学群長 H11.4.1~) | 都市施設計画、建築計画 | 社会構造の変動に対応した地域公共サービスの再編成に関する計画的な研究、歴史的都市の現代化における空間制御技術に関する研究 |
| 椿 広計 | 応用統計学 | 環境科学、品質管理、臨床評価などへの統計的方法の開発と応用 |
| 寺野 隆雄 (経営・政策科学研究科副研究科長 H13.4.1~) | 進化的計算手法、人工知能、計算組織理論 | 遺伝的アルゴリズムなどの進化的計算手法と人工知能技術の統合とシステム化、これに基づく社会現象の分析 |
| 土井 正幸 | 地域経済学、交通経済学、都市経済学 | 発展途上国交通経済論、港湾経済論、国際物流論、開発経済学、地域経済発展とインフラストラクチャ整備 |
| 中村 豊 | 意思決定理論 | 不確実性下の意思決定の理論的基礎とその応用 |
| 橋田 温 (経営・政策科学研究科副研究科長 H10.4.1~H12.3.31) | 情報ネットワーク工学、システム性能評価法、待ち行列理論 | ネットワーク技術の個人・社会活動に及ぼすインパクト、広帯域ネットワークおよびコンピュータ・ネットワークの性能評価 |
| 橋本 昭洋 | 社会システム、意思決定分析 | 社会システム分析、評価・決定方法論、非画一的総合評価 |
| 藤原 良叔 | 組合せ理論とその応用 | 組合せ理論/離散数学とその情報科学や統計学への応用 |
| 古川 俊一 | 行政学、政治学、公共政策学 | 地方行財政論、地方分権と政府間関係論、公共経営論、比較行政制度論、公共政策評価論 |
| 星野 靖雄 | 経営管理論、経営財務論、国際経営論 | 企業合併の計量分析、合併企業の行動分析、日本的経営論 |
| 細野 昭雄 (H12.4.1~H13.3.31併任) | 開発経済学、国際政治経済学、ラテンアメリカ経済論 | 地域統合と開発政策—東アジアと米州の比較研究 |
| 松尾 博文 (システム情報工学研究科軽量ファイナンス・マネジメント専攻長 H13.4.1~) | 生産流通管理論 | サプライチェーンマネジメント(SCM)、オペレーション戦略、ビジネスモデル、生産システムの最適化、スケジューリング、在庫管理、オペレーションズリサーチ |
| 松田 紀之 (経営・政策科学研究科長 H13.4.1~) | 認知心理学、感性情報分析とデザイン | 感性表現ベースの設計、双方向環境での選好決定支援、リスク認知 |
| 松本 正雄 | 企業情報戦略、産業ソフトウェア工学、品質システム、ソリューション工学、エンタープライズ・モデリング | 情報工学とくにソリューション/ソフトウェア工学アプローチによるエンタープライズ(インタプライズ)モデリング、経営とITの統合改革手法 |

| | | |
|--------|---------------------------|---|
| 門田 安弘 | 管理会計学、生産管理論 | 原価管理の実証分析、分権組織の業績管理システムの実証分析 J I T生産方式のモデル分析 |
| 山田 直志 | 医療経済学、応用マイクロ経済学 | 高齢者医療の部分的定額制度導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響 |
| 山本 芳嗣 | 数理計画 | 均衡点問題とそのアルゴリズム、大域的最適化 |
| 吉田 あつし | 都市経済学、空間統計学、応用計量経済学、医療経済学 | 標準雇用大都市圏の形成と集積の経済、地域間取引の経済統計モデル、空間計量経済モデルの開発地域医療・介護保険制度とタイプ仮説の検証、医療保険制度の改正と医療サービスの需要及び供給の分析 |
| 吉田 雅敏 | 財政学、公共経済学、経済成長論 | 税、公共投資などの財政学における基本問題の研究 |
| 吉澤 正 | 応用統計、品質・環境マネジメントシステム | 多元データの解析；製品及びマネジメントシステムの開発への品質機能展開の応用 |

| | | |
|------------------|-----------------------|--|
| 助 教 授 | | |
| 生田 誠三 | 生産管理 | 確率的逐次決定過程の研究 |
| イリチュ (佐藤) 美佳 | データ解析、多相・多元データ理論 | 類似度の潜在構造モデルに基づくクラスタリング |
| 大澤 幸生 | 発見科学、人工知能 | 予兆を発見するエージェント群(マルチエージェント)により危機管理・機会捕獲を支援する高度情報システムに関する研究 |
| 大澤 義明 | 都市計画、地域科学 | 立地論、空間的競争、地域データ解析 |
| 太田 充 | 地域科学、都市経済学、都市計画 | 空間経済システムの自己組織化及び構造変化 |
| 梶井 厚志 | 理論経済学、意思決定理論、ゲーム理論 | 競争市場理論、特に金融市場と情報の経済的役割の理論研究 |
| 金澤 雄一郎 | 統計学、データ解析 | 一般化線形モデル、欠損値を含んだデータの解析 |
| 岸本 直樹 | ファイナンス | 経路依存型証券の価格理論、CMOの価格モデル、国債市場の実証分析、債券のデュレーション |
| 金 顕哲 | 流通チャネル、マーケティング | 流通チャネル、小売イノベーション、商業、関係性マーケティング、日本型マーケティング、営業 |
| 川勝 浩之 | 応用時系列分析 | 株式市場自由化 |
| 久野 (吉瀬) 章子 | 数理計画、オペレーションズ・リサーチ | 線形・非線形最適化問題に対する効率のよい算法の開発 |
| Henrich R. Greve | 経営学、社会学、特に、組織の競争性について | 企業の成長とイノベーション：戦後の日本造船業の国際競争力の発展について |
| 小林 信一 | 高等教育、科学技術政策 | 高等教育政策に関する研究、科学技術政策・学術政策に関する研究、科学技術と社会の相互関係に関する研究 |
| 猿渡 康文 | 数理計画、組合せ最適化 | 最適化問題に対する高速算法の開発、最適化理論のスポーツマネジメントへの応用に関する研究 |
| 庄司 功 | 応用時系列解析 | ダイナミカルシステムモデルの推定 |
| 高崎 善人 | 開発経済学、資源経済学、環境経済学 | 環境保全と経済開発、農村生計、湿潤熱帯地域 |
| 徐 - | システム制御理論、動的ゲーム理論 | システム制御理論、動的ゲーム理論とそのマネジメントサイエンス、社会経済システムへの応用に関する研究 |
| 高橋 正文 | 派生証券評価、金融リスク管理 | 金融資本市場の価格評価、価格変動解析、VaRを中心とする市場リスク管理手法の研究 |
| 竹原 均 | 財務管理論 | 資産価格評価モデルに関する実証分析、ポートフォリオのリスク管理及び最適化に関する研究 |

| | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--|
| 竹村 和久 | 消費者行動研究、認知心理学、社会心理学、マーケティング・サイエンス | 判断と意思決定の心理、消費者行動研究、交渉行動の研究、マーケティング分析技法の研究 |
| 暁谷 整克 | 理論経済学、公共経済学 | 社会的に望ましい帰結を達成するメカニズムのデザイン |
| 張 勇兵 | 分散システム、リアルタイムデータベース、性能評価 | 分散システムにおける資源の最適配分、リアルタイムデータベースシステムにおけるトランザクションのスケジューリング方式に関する研究 |
| 鄭 小平 | 地域科学、都市経済学 | 都市・地域システムの経済分析、最適都市規模に関する理論・実証研究、中国の都市・地域問題と政策研究 |
| 津田 和彦 | 自然言語処理、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション | 文書の意図理解、テキストマイニング、文書からの知識獲得技術に関する研究 |
| 永井 裕久 | 組織行動学、人的資源管理、国際人事 | 企業の国際化と人材戦略、海外派遣者の雇用管理システム、経営者のキャリア・パーソナリティと組織成果 |
| 野上 佳子 | 統計的推論、統計的決定問題 | ラグランジュ法による統計推論、経験的ベイズ及び、複合決定問題 |
| 平瀬 (西尾) チヅル | マーケティング、消費者行動論 | マーケティング・コミュニケーション、消費者行動の計量モデル、エコロジカル・マーケティング |
| 牧本 直樹 | 確率過程論、オペレーションズ・リサーチ | 確率システム性能評価、確率モデルの数値計算法、システムシミュレーション |
| 松井 彰彦 (H10.4.1~H13.2.1 併任) | ゲーム理論 | 進化論的ゲーム理論、社会規範、帰納的ゲーム理論 |
| 安田 八十五 | 都市政策学、環境政策学、ごみとリサイクル政策、循環型社会システム論 | 大規模公共プロジェクト及び公共政策が社会環境に与えるインパクトのシステム分析と総合評価 |
| 横張 真 | 緑地環境計画 | 都市近郊における緑地計画の方法論に関する研究、緑地の環境保全機能に関する研究 |
| 李 明宰 | 計量経済学 | Semiparametrics, Sample selection, Treatment effect panel data, LiMDEP |
| 渡辺 俊 | 都市計画・建築計画、設計学 | マルチメディア社会における都市計画・建築計画、計画設計支援システムの開発 |

講師

| | | |
|-------------|----------------|--|
| 石井 健一 | コミュニケーション、情報社会 | 海外の日本番組、情報機器の普及と採用、移動体通信の利用行動 |
| 祝迫 得夫 | ファイナンス、マクロ経済学 | 国際的な環境への資産価格モデルの適用、日本の資産市場とマクロ経済の関連、金融制度と経済発展の相関、非線型計量経済モデルのファイナンスへの応用 |
| 宇井 貴志 | ゲーム理論 | ポテンシャル関数を用いたゲームの分析手法、金融危機の発生と連鎖に関する理論、金融政策の有効性に関する理論および実証 |
| 上田 貴子 | 応用計量経済学、開発経済学 | 動学構造モデルの実証研究 |
| 江口 匡太 | 労働経済学 | 労働契約の理論、労働法の経済分析 |
| 大江 (繁野) 麻衣子 | 数理計画、組合せ最適化 | 組合せ最適化問題に関する算法の開発 |
| 岡本 直久 | 交通計画、観光計画 | 社会資本整備のもたらす効果の計測、観光交通の調査及び需要推計方法 |
| 加藤 毅 | 高等教育 | 若手研究者の養成システム、学術研究への支援政策 |
| 川邊 みどり | 沿岸環境科学、沿岸域管理 | 東京湾沿岸環境の多面的評価、アジア沿岸域における持続的生産の可能性 |
| 姜 晟振 | 経済成長・発展論 | Economic Growth and Development, Multinational Enterprises, Social Impacts of Financial Crisis |

| | | |
|-------------------------|---|---|
| 近藤 文代 | 時系列解析、統計解析、マーケティングデータ分析 | ビジネスにおける時系列データ解析および解析手法の開発 |
| 後藤 順哉 | 数理計画（連続最適化）、金融最適化 | 数理計画の金融への応用と解法の研究、大域的最適化 |
| 鈴木 勉 | 都市解析、立地論 | 都市空間・立地構造及び環境影響に関する数理的解析、地理情報を活用した施設計画評価 |
| 鈴木 秀男 | 応用統計、品質管理 | 統計的手法と機械学習法の開発、その品質管理とマーケティングへの応用 |
| Stephen John Turnbull | ゲーム論、情報経済、実験経済 | インターネット経済（設備・システム組織；電子商業）、オープンソースソフトウェアの経済的環境 |
| Tiwari, K. Piyush | Real Estate Markets, Transportation Economics, Health Economics, CGE Macro models | Modeling housing demand, performance of home mortgages, Role of public policy in housing, Estimating demand for shipping company and ports, Transportation modal choice problems, CGE models for Japan and China, Demand for healthcare in developing countries |
| 藤川 昌樹 | 日本建築史・都市史 | 日本の近世・近代都市史研究、農村の建築ストックに関する研究 |
| 藤原 博彦 | 社会情報論、会計情報論 | 企業情報ディスクロージャー、ビジネスモデル、コーポレートコミュニケーション |
| 古屋 秀樹 | 交通計画、交通工学 | 交通行動分析ならびに交通需要予測分析、都市・地域交通システム計画の策定 |
| 三橋 平 | マクロ組織行動論 | 経済活動の社会的埋没の研究、組織内及び組織間の地位格差の研究、組織犯罪の研究 |
| Ying Miao | 実験計画法、組合せ理論、情報理論 | デザイン、符号、暗号の構成と分類、及び組合せアルゴリズム |
| 村尾 修 | 防災空間論、都市デザイン | 都市の被害想定と危険度、防災面から見た都市デザイン計画、空間情報基盤を用いたサイバーシティ構想とその応用 |
| 山鹿 久木 | 都市経済学、計量経済学 | 地価あるいは住宅価格による地域間環境格差の計測 |
| 吉田 友彦 | 住環境整備、住宅政策 | 既成市街地の整備手法の開発、基盤整備事業と自治体住宅政策の連携、開発途上国における住宅地更新 |
| 吉野 邦彦 | リモートセンシング、地域環境工学 | 衛星リモートセンシングデータによる土地被覆・土地利用解析、地表面の方向性分光反射特性の解析とモデル化 |
| 渡辺 真一郎 | 組織行動論 | 組織における人間行動を多様に規定する組織特性と個人特性の相互作用に関する研究 |
| 助手 | | |
| Asikhia, Monday Ohi Ehi | Urban and Regional Planning | Population dynamics and public facilities provision. Sustainable regional development in developing countries. Planning theories in regional development planning |
| 安藤 和敏 | 数理計画、離散数学 | 組合せ最適化問題の多面体的構造に関する研究、及び、それらに対するアルゴリズムの設計 |
| 大木 敦雄 | 計算機システム | プログラミング環境、ネットワーキング、ユーザインターフェイス |
| 坂本 淳二 | 都市・農村計画、応用地理学 | 大都市近郊混住化地域の計画論に関する研究、日本のニュータウンの評価に関する研究 |
| 準研究員 | | |
| 大津 晶 | 都市計画 | 空間構造と都市内流動の関係、映像処理技術の都市計画への応用 |

Ⅲ 教 育 活 動

(平成12年度各教官担当科目)

- 赤根谷 達雄 (国際総合学類)
国際学概論 国際関係学方法論
国際学ゼミナール1 国際学ゼミナール2 国際情勢の見方
(国際政治経済学研究科)
国際政治学 国際政治学演習4
- 池田 三郎 (社会工学類)
環境計画 都市計画実習1
(経営・政策科学研究科:筑波地区)
公共リスク分析
(システム情報工学研究科)
環境システム分析特講
- 石田 東生 (社会工学類)
都市構造論 交通計画 都市計画事例講義および実習
都市計画実習1 都市計画実習3
(環境科学研究科)
国土計画論
(システム情報工学研究科)
交通計画特講
- 太田 誠 (社会工学類)
数量経済学 社会経済実習
(経営・政策科学研究科:筑波地区)
数量経済分析 経済政策演習ⅠⅠ
(システム情報工学研究科)
計量経済学特論
(国際政治経済学研究科)
計量経済学特講 1
- 大西 治男 (社会工学類)
計量経済学 1 社会経済実習
(経営・政策科学研究科:筑波地区)
経済予測論 計量経済学 2
(システム情報工学研究科)
情報計量経済学特論
- 大村 謙二郎 (社会工学類)
土地利用計画 都市計画実習2
(環境科学研究科)
都市計画通論
(システム情報工学研究科)
比較都市計画史特論
(総合科目)
都市・地域・環境を探る
- 小倉 昇 (経営・政策科学研究科:大塚地区)
会計基礎Ⅰ・Ⅱ 会計情報 コスト・マネジメント
コスト・マネジメント輪講 会計測定

- 小場瀬 令二
 (社会工学類)
 住宅地計画 都市計画実習2 図学・測量学
 (環境科学研究科)
 住環境計画論
 (システム情報工学研究科)
 都市環境・景観論特論
 (総合科目)
 都市・地域・環境を探る
- 加藤英明
 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
 企業財務 資本市場と経営 企業金融輪講
- 金子 守
 (社会工学類)
 微分積分学 ゲーム論 社会経済実習
 (システム情報工学研究科)
 ゲーム理論特論
- 河合 忠彦
 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
 経営学基礎 経営組織
 企業倫理と法
- 岸本 一男
 (社会工学類)
 数理解析
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 モデル分析
 (システム情報工学研究科)
 システム数理特論
- 久野 靖
 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
 計算機ソフトウェア 計算機科学基礎Ⅱ
 計算機ソフトウェア輪講Ⅰ～Ⅲ 経営システム科学 特別研究Ⅰ～Ⅳ
 ヒューマンインタフェース システムズマネジメント講究Ⅰ～Ⅳ
- 熊谷 良雄
 (社会工学類)
 都市防災計画 都市計画実習3
 (環境科学研究科)
 環境計画原論 防災計画論 環境科学実習 環境計画実習
 (システム情報工学研究科)
 都市安全管理特論
 (総合科目)
 フレッシュマン・セミナー
- 黒田 誼
 (社会工学類)
 計量発展分析 社会経済実習
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 計量発展分析
 (システム情報工学研究科)
 計量発展分析特論
 (国際政治経済学研究科)
 計量発展分析特講
 (外国人留学生等)

日本の経済・経営

- 香田 正人 (社会工学類)
微分積分学 経営工学実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
応用解析学
(システム情報工学研究科)
データマイニング工学特論
- 腰塚 武志 (システム情報工学研究科)
都市解析学特論
- Neanro Saaveda-Rivano (国際総合学類)
国際開発計画論 国際経済学
(地域研究研究科)
ラテン・アメリカ研究概論 (2)
(国際政治経済学研究科)
国際政治経済学2 国際開発政策演習2 国際政治経済学2 演習4
(総合科目)
世界の中の日本
- 佐々木 康三 (社会工学類)
資源経済学 社会経済実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
需要分析
(システム情報工学研究科)
農業経済論特講
- 佐藤 亮 (社会工学類)
経営工学概論 経営情報システム (講義及び演習)
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
情報システム論
(システム情報工学研究科)
情報システム特論 情報科学演習
- 鈴木 久敏 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
ビジネス・ゲーム 最適化基礎 経営システム科学 I
オペレーションズ・リサーチ演習 最適化モデル輪講 I～III
経営システム科学特別研究 I～IV
経営科学総論 システムズ・マネジメント特別演習 I～III
システムズ・マネジメント講究 I～V
- 高木 英明 (社会工学類)
数理解析 II 応用確率過程
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
情報ネットワーク
(システム情報工学研究科)
応用確率過程特論
- 谷村 秀彦 (社会工学類)
社会工学概論及び実習 都市計画入門

- (環境科学研究科)
都市施設計画論
- (システム情報工学研究科)
都市計画理論特論
- 椿 広計 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
統計モデル 多変量解析第1,2 統計的方法とその応用
- 寺野 隆雄 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
人工知能 計算機科学基礎 プログラミング基礎
特別演習 特別研究 分散知能論
- 土井 正幸 (社会工学類)
地域経済学 地域科学演習Ⅰ 地域科学演習Ⅲ 交通経済学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
交通経済政策論 地域経済学
(システム情報工学研究科)
交通経済学特論
- 中村 豊 (社会工学類)
微分積分学 計画数理
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
意思決定論 都市・地域演習2
(システム情報工学研究科)
不確実性と決定特論
- 橋田 温 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
情報ネットワーク シミュレーション
情報ネットワーク輪講Ⅰ-Ⅱ 情報セキュリティ・マネジメント
経営システム科学特別研究 システムズ・マネジメント講究
- 橋本 昭洋 (社会工学類)
意思決定分析
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
数理計画実習 システム評価決定論
(システム情報工学研究科)
システム評価特論
- 藤原 良叔 (社会工学類)
社会工学情報処理実習3 シミュレーション 経営工学実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
経営工学演習Ⅱ
(システム情報工学研究科)
情報離散数学特論
- 古川 俊一 (社会工学類)
地方行財政論 社会システム論
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
地方行財政論 公共政策評価論
(システム情報工学研究科)
比較行政システム特論

- 星野 靖雄 (社会工学類)
 経営管理論 日本の経済・経営
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 経営管理論
 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
 経営学特論
 (システム情報工学研究科)
 コーポレートファイナンス特論
- 細野 昭雄 (国際総合学類)
 国際政治経済学 国際開発論
 (国際政治経済学研究科)
 国際政治経済学Ⅱ 国際政治経済学Ⅱ演習
 (地域研究研究科)
 国際関係論 ラテンアメリカの経済
- 松尾 博文 (社会工学類)
 経営工学概論 生産流通情報システム論
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 生産流通戦略論 経営演習1
 (システム情報工学研究科)
 生産流通情報システム特論
- 松田 紀之 (社会工学類)
 情報行動分析 情報基礎及び実習
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 心理情報分析 行動科学演習1
 (システム情報工学研究科)
 多変量解析特論
- 松本 正雄 (経営・政策科学研究科：大塚地区)
 システムズエンジニアリング 企業情報戦略 エンタプライズモデリング
 ソフトウェア工学 ソリューション工学 システムズマネジメント特別演習
 システムズマネジメント講究Ⅱ－Ⅶ 経営システム科学特別研究Ⅰ－Ⅴ
 ビジネス・マネジメント特別演習 ソリューション工学輪講Ⅰ－Ⅲ
- 門田 安弘 (社会工学類)
 会計学概論 経営計画
 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 管理会計論
 (システム情報工学研究科)
 管理会計学特論
- 山田 直志 (国際総合学類)
 ミクロ経済学入門 人的資源論
 (国際政治経済学研究科)
 応用ミクロ経済学 応用ミクロ経済学演習4
 (総合科目)
 世界の中の日本
- 山本 芳嗣 (社会工学類)

- 経営工学概論
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 基礎数学 経営工学演習2 数理計画
(システム情報工学研究科)
 数理計画特論1
- 吉田 あつし **(社会工学類)**
 都市経済学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 都市経済学
(システム情報工学研究科)
 都市経済学特論
- 吉田 雅敏 **(社会工学類)**
 マクロ経済学 財政学 経済学原論
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 租税分析
(システム情報工学研究科)
 財政システム特論
- 吉澤 正 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 データ解析 品質経営 品質経営輪講Ⅰ－Ⅲ
 経営システム科学特別研究Ⅰ－Ⅴ
 品質経営総論 環境経営論 システムズ・マネジメント特別演習
 同講究Ⅰ－Ⅵ
- 生田 誠三 **(社会工学類)**
 社会工学概論及び実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 生産管理論
(システム情報工学研究科)
 オペレーションズ・リサーチⅡ
(総合科目)
 経営の科学
- イリチュ(佐藤) 美佳 **(社会工学類)**
 経営工学実習 数理統計学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 多変量解析 シミュレーション実習
(システム情報工学研究科)
 モデル分析特論
- 大澤 幸生 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 情報システム論 計算機科学基礎Ⅰ,Ⅱ
- 大澤 義明 **(社会工学類)**
 代数学 都市計画数理 都市計画実習Ⅲ
 都市計画事例講義および演習
(環境科学研究科)
 都市経営論 情報処理法 環境科学Ⅱ
(システム情報工学研究科)

- 地域計量理論
(総合科目)
 都市・地域・環境を探る
- 太田 充
(社会工学類)
 経済立地論 地域科学演習Ⅲ 図学・測量学 社会工学情報処理実習 1
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 シミュレーション実習 都市地域計画
(システム情報工学研究科)
 地域科学特論
- 梶井 厚志
(社会工学類)
 経済学原論 社会工学概論及び実習
 組織と情報の経済学
(システム情報工学研究科)
 ミクロ経済学特論
(総合科目)
 経済学入門
- 金澤 雄一郎
(社会工学類)
 応用統計学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 基礎統計 データ解析
(システム情報工学研究科)
 統計学特論 1 統計学特論2
- 岸本 直樹
(社会工学類)
 財務管理Ⅰ Intro MSE
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 財務管理論
(システム情報工学研究科)
 デリバティブズ論
(総合科目)
 フレッシュマン・セミナー
- 金 顕哲
(経営・政策科学研究科：大塚地区)
 経営システム科学特別研究Ⅰ 経営学基礎 流通論
 経営システム科学特論Ⅰ 流通論輪講Ⅰ～Ⅲ
 組織マーケティング 国際経営と法
- 川勝 浩之
(国際総合学類)
 マクロ経済学
(国際政治経済学研究科)
 国際金融論
- 久野(吉瀬) 章子
(社会工学類)
 代数学 数理計画 数理計画演習
 経営工学実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 数理計画実習
(システム情報工学研究科)

- 数理計画特論 1
(総合科目)
 フレッシュマン・セミナー
- Henrich R. Greve **(社会工学類)**
 行動科学概論 組織行動論 社会経済実
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 組織と戦略
(システム情報工学研究科)
 マクロ組織論特論
- 猿渡 康文 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 経営システム科学特別研究I 計画数理 生産システム
 オペレーションズ・リサーチ演習 計画数理輪講I
 計画数理輪講II 計画数理輪講III 最適化理論 ロジスティクス
- 庄司 功 **(社会工学類)**
 計量時系列分析 統計学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 経済政策演習 1
(システム情報工学研究科)
 計量時系列解析特論
- 徐 _ **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 システムズアプローチ ゲーム理論 社会システム制御論
 社会システム制御論輪講I-III
- 高橋 正文 **(社会工学類)**
 金融リスク管理論
(システム情報工学研究科)
 ファイナンシャルリスク管理特論
- 竹原 均 **(社会工学類)**
 ファイナンス 1 経営工学実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 多変量解析実習
(システム情報工学研究科)
 投資パフォーマンス評価特論
(総合科目)
 経営の科学
- 竹村 和久 **(社会工学類)**
 マーケティング 経営演習 II
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 マーケティング
(システム情報工学研究科)
 消費者行動特論
(総合科目)
 経営の科学
- 豊谷 整克 **(社会工学類)**

- 公共経済学 ミクロ経済学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 ゲーム理論
(システム情報工学研究科)
 公共経済特論
(総合科目)
 経済学入門 フレッシュマン・セミナー
- 張 勇兵 **(社会工学類)**
 情報基礎及び実習 社会工学情報処理実習 I
 経営情報システム演習 計算機科学
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 シミュレーション
(システム情報工学研究科)
 情報ネットワーク
- 鄭 小平 **(社会工学類)**
 地域開発政策 社会工学情報処理実習3 地域科学演習2
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 地域計量分析 都市・地域演習 1
(システム情報工学研究科)
 都市経済学演習
- 津田 和彦 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 ヒューマンコンピュータインタラクション 計算機アルゴリズム
 知的ドキュメント管理論 データベース特論
 システムズ・マネジメント特演 I～III
 システムズ・マネジメント講究 I～VI 経営システム科学特演 I～VI
- 永井 裕久 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 経営学基礎 組織行動 人材開発 組織行動輪講I～III
 人材開発論 人的資源管理と法
- 野上 佳子 **(社会工学類)**
 数理解析 II
- 平瀬(西尾) チヅル **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 マーケティング 消費者行動 経営システム科学 II
 マーケティング輪講 I～III 経営システム科学特別研究
 マーケティングと消費者行動 システムズ・マネジメント講究
- 牧本 直樹 **(経営・政策科学研究科：大塚地区)**
 確率と統計基礎 確率モデル オペレーションズ・リサーチ演習
 応用確率論
- 松井 彰彦 **(社会工学類)**
 組織と情報の経済学 経済学原論
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
 ミクロ経済学
(システム情報工学研究科)
 理論経済学演習

- 安田 八十五 (社会工学類)
都市計画実習Ⅰ 環境政策
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
政策科学特講6
(環境科学研究科)
社会環境システム論 環境政策学実習 環境科学Ⅱ 環境科学実習
(システム情報工学研究科)
環境経済政策学特論
- 横張 真 (社会工学類)
地域資源計画 都市計画実習Ⅰ
Introduction to Urban and Regional Planning
(環境科学研究科)
地域環境共生論
(システム情報工学研究科)
緑地環境計画特論
(総合科目)
都市・地域・環境を探る
- 李 明宰 (社会工学類)
計量経済学Ⅱ Introduction to Social & Economic Sciences
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
計量経済学Ⅰ
(システム情報工学研究科)
多変量解析
- 渡辺 俊 (社会工学類)
社会工学情報処理実習Ⅲ 都市計画実習Ⅱ 都市施設計画
(環境科学研究科)
環境デザイン論
(システム情報工学研究科)
地理情報システム特論
- 石井 健一 (社会工学類)
社会調査法及び実習 社会経済実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
社会調査論 コミュニケーション論
(総合科目)
フレッシュマン・セミナー
- 祝迫 得夫 (社会工学類)
金融論 社会工学概論及び実習 国際貿易
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
金融分析 多変量解析実習
(システム情報工学研究科)
ファイナンス特論
- 宇井 貴志 (社会工学類)
代数学 企業戦略と産業組織 社会工学概論及び実習
(経営・政策科学研究科：筑波地区)
産業労働演習Ⅱ

(システム情報工学研究科)

産業組織と金融特論

上田 貴子

(社会工学類)

社会工学情報処理実習2 社会経済実習 開発経済学

(経営・政策科学研究科：筑波地区)

計量経済学実習 産業労働演習 1

大江(繁野) 麻衣子

(社会工学類)

代数学 計算機科学 数理計画 数理計画演習

(経営・政策科学研究科：筑波地区)

基礎数学 離散最適化

(システム情報工学研究科)

離散システム特論

岡本 直久

(社会工学類)

都市データ分析 地域科学演習1 都市計画実習3

情報基礎及び実習

(経営・政策科学研究科：筑波地区)

交通システム計画

(システム情報工学研究科)

プロジェクト評価特論

(総合科目)

フレッシュマン・セミナー

加藤 毅

(経営・政策科学研究科：大塚地区)

非営利セクターの社会経済学

川邊 みどり

(社会工学類)

地域科学演習2 社会調査法及び実習

(環境科学研究科)

環境総合評価論 環境政策評価論

姜 晟振

(国際総合学類)

国際貿易論 多国籍企業論 国際経済論

(国際政治経済学研究科)

国際政治経済学 2 研究

(総合科目)

フレッシュマン・セミナー

近藤 文代

(社会工学類)

社会工学概論及び実習 情報基礎及び実習

(経営・政策科学研究科：筑波地区)

マーケティングサイエンス

(総合科目)

経営の科学 フレッシュマン・セミナー

鈴木 勉

(社会工学類)

統計学 都市計画実習1 立地解析

(環境科学研究科)

統計処理法 環境計画実習

- (システム情報工学研究科)
都市成長管理論演習
- (総合科目)
都市・地域・環境を探る
- 鈴木 秀男
- (社会工学類)
応用確率論 経営工学実習 社会工学概論及び実習
- (経営・政策科学研究科：筑波地区)
品質管理
- (システム情報工学研究科)
統計解析特論
- Stephen John Turnbull
- (社会工学類)
経済動学 社会工学情報処理実習2
- (経営・政策科学研究科：筑波地区)
ミクロ経済学
- (システム情報工学研究科)
情報経済システム特論
- 藤川 昌樹
- (社会工学類)
都市計画入門 緑地・景観計画 都市計画実習2
- (環境科学研究科)
環境計画史 環境計画実習
- (システム情報工学研究科)
都市居住環境史演習
- (総合科目)
都市・地域・環境を探る
- 古屋 秀樹
- (社会工学類)
交通システム分析 図学・測量学 都市計画実習3
社会工学情報処理実習2
- (環境科学研究科)
交通計画論 環境計画実習
- (システム情報工学研究科)
交通システム分析演習
- (総合科目)
都市・地域・環境を探る
- 三橋 平
- (総合科目)
経営の科学
- Ying Miao
- (社会工学類)
統計学
- (経営・政策科学研究科：筑波地区)
実験計画法 経営工学演習1
- 村尾 修
- (社会工学類)
都市デザイン演習 都市計画実習3
- 吉田 友彦
- (社会工学類)
社会工学概論及び実習 都市計画実習2

(外国人留学生等)

一般日本事情2

吉野 邦彦

(社会工学類)

都市計画実習1 環境解析

(環境科学研究科)

環境政策学実習 環境アセスメント 環境情報調査表現法

(システム情報工学研究科)

地域環境影響評価論演習

渡辺 真一郎

(社会工学類)

経営組織論 社会調査法及び実習

(経営・政策科学研究科：筑波地区)

経営組織論

(システム情報工学研究科)

組織科学特論

大木 敦雄

(経営・政策科学研究科：大塚地区)

(補佐) 計算機科学基礎I、II 計算機システム

IV 研 究 活 動

IV—1 科学研究費補助金・受託研究・学内プロジェクト

---- 科学研究費補助金 ----

[基盤研究 (A) (1)]

- 金融資本市場の市場リスク、信用リスク、流動性リスクの新しい計測手法に関する研究
(代表者 高橋 正文)
- 貿易および経済発展に伴う地球規模環境リスクへの事前対応政策に関する総合的研究
(代表者 池田 三郎)

[基盤研究 (B) (1)]

- 組織構造のデザインに対応した業績評価会計システムの開発に関する研究
(代表者 門田 安弘)
- BOT方式による発展途上地域における広域インフラストラクチャー整備に関する研究
(代表者 鈴木 久敏)
- 多様な食ベクトルを捉える需要分析の新展開
(代表者 佐々木 康三)

[基盤研究 (B) (2)]

- 少子高齢化社会における大都市圏土地利用に関する研究
(代表者 大村 謙二郎)
- 東アジア伝統的都市の現代化における空間制御技術に関する研究
(代表者 谷村 秀彦)
- 連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究
(代表者 門田 安弘)
- デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究
(代表者 藤原 良叔)
- 移動からみた都市空間の分析
(代表者 腰塚 武志)
- 高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発
(代表者 鈴木 久敏)
- グローバル・プロトコル構築に向けた営業職の商交渉行動に関する国際比較調査
(代表者 永井 裕久)
- 持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究
(代表者 横張 真)

[基盤研究 (C) (1)]

- 迷惑施設の多目的計画配置に関する理論的研究
(代表者 大澤 義明)

[基盤研究 (C) (2)]

- 組織行動論の分析単位の拡張 (ワークからワークファミリー間インターフェースへ)
(代表者 渡辺 真一郎)
- 個人経験と個人の社会観の形成
(代表者 金子 守)
- 外航定期船産業におけるグローバル・アライアンス及び海運同盟の経済評価と今後の政策

- (代表者 土井 正幸)
- 最適立地問題の均衡解の存在とその応用
(代表者 岸本 一男)
 - 国際的買収、合併、合弁、全額出資の経営効果についての実証的研究
(代表者 星野 靖雄)
 - 創発的計算と機械学習理論による情報ネットワーク社会モデルへの接近
(代表者 寺野 隆雄)
 - 非凸数理計画問題の大域的最適化法の研究
(代表者 山本 芳嗣)
 - 経済・生態システムの自己組織化と秩序形成に関する遺伝的行動モデルの研究
(代表者 池田 三郎)
 - 状況依存的な判断と意思決定の実験研究とその計量モデル・数理モデル・表現定理の解明
(代表者 竹村 和久)
 - 高齢者医療の部分的定額制導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響
(代表者 山田 直志)
 - 統合情報システムを利用したビジネスプロセスの時間特性分析法
(代表者 佐藤 亮)
 - 顧客分析・プロセス分析に基づくバランスト・スコアカードの設計に関する研究
(代表者 小倉 昇)
 - 代数曲線を用いた組合せ的配列やブロック・デザインの構成に関する研究
(代表者 藤原 良叔)
 - シームレス情報通信網の設計と性能評価のための通信トラヒック解析
(代表者 高木 英明)
 - データマイニングの数理モデル構築と確率感度解析
(代表者 香田 正人)
 - 動的ゲーム理論とマネジメントサイエンスへの応用に関する研究
(代表者 徐)
 - 世界4カ国パネルデータによる女性の結婚・出産・就業選択の実証研究
(代表者 上田 貴子)
 - 日本型マーケティングに関する研究
(代表者 金 顕哲)
 - 日・韓・台農業におけるR&D 及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究
(代表者 黒田 誼)
 - 一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究
(代表者 金澤 雄一郎)
 - サプライチェーンにおける顧客情報に基づく在庫管理システムの構築
(代表者 松尾 博文)
 - 複合施設の最適配置と圏域構成に関する研究
(代表者 鈴木 勉)
 - 日次POSデータの価格反応分析
(代表者 近藤 文代)
 - BOT方式による発展途上地域における広域インフラストラクチャー
(代表者 鈴木 久敏)

[奨励研究 (A) (2)]

- 若手研究者の養成システムに関する政策研究

- (代表者 加藤 毅)
- 日本の都市システムの構造と最適化に関する実証的政策研究
(代表者 鄭 小平)
- 企業年金及び投資信託の運用評価手法の開発
(代表者 竹原 均)
- プライシングなどによる交通流動の変化を考慮した環境影響の算出に関する
方法論的研究
(代表者 古屋 秀樹)
- 動画像データのトラフィック特性と情報ネットワーク性能評価に関する研究
(代表者 牧本 直樹)
- ブートストラップ法を用いた品質管理・マーケティング手法に関する研究
(代表者 鈴木 秀男)
- 金融市場における情報の影響と経済効果の理論的研究
(代表者 梶井 厚志)
- ポテンシャル関数を用いたゲームの均衡選択理論に関する研究
(代表者 宇井 貴志)
- 組合せ的デザインとその符号・暗号への応用
(代表者 Ying Miao)
- 開発途上国への土地区画整理技術の移転に関する研究
(代表者 吉田 友彦)
- 不確実性情報を考慮したデータの分類手法に関する研究
(代表者 イリチュ(佐藤) 美佳)
- 契約の作成と司法判断の相互関係に関する研究
(代表者 江口 匡太)
- 家計の金融資産保有・ポートフォリオ選択についてのマイクロデータ分析
(代表者 祝迫 得夫)

[萌芽的研究]

- 社内分社制のもとでの社内資本金制度と社内金利制度に関する研究
(代表者 門田 安弘)

----- 受託研究 -----

- ITと経営の共革新：IDSシェアジャパン株式会社
(代表者 松本 正雄)
- e-ビジネスIT：フレームワークアーキテクチャに関する研究：NEC
(代表者 松本 正雄)
- インタープライズモデリングに関する研究：NTTソフトウェア
(代表者 松本 正雄)
- 地球環境リスク管理にかかるコミュニケーションと対策決定過程に関する研究：農業環境技術研究所
(代表者 池田 三郎)
- 都市交通予測モデルの開発：科学技術振興事業団
(代表者 石田 東生)
- 大規模破壊実験における人体被災計測手法の開発：科学技術庁防災科学総合研究所
(代表者 熊谷良雄)
- 火山灰災害の影響評価とリスクマネジメント：通商産業省工業技術院地質調査所
(代表者 熊谷良雄)
- 社会動向・自然現象データからの予兆発見と利用：科学技術振興事業団
(代表者 大澤 幸生)

----- 学内プロジェクト -----

[特別助成研究 (S)]

- ワーケーションファミリー間インターフェースが人間行動に及ぼす効果に関する研究
(代表者 渡辺 真一郎)
- 高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究
(代表者 松尾 博文)

[助成研究 (B)]

- The Evolution of Regional Income Distribution of Japan
(代表者 姜 晟振)
- 都市沿岸の多面的環境評価に関する研究 -東京湾を事例として-
(代表者 川邊 みどり)
- テキストマイニングにおける知識データベース構築に関する研究
(代表者 津田 和彦)
- 線引きを廃止した市街地の都市計画的諸状況と今後
(代表者 小場瀬 令二)

[奨励研究]

- Government Policies and Housing Markets in Japan
(代表者 Tiwari, K. Piyush)
- 江戸藩邸空間の展開過程に関する研究
(代表者 藤川 昌樹)
- 政令指定都市における副都心形成の実態と施策に関する研究
—名古屋市を事例として—
(代表者 坂本 淳二)
- 住宅地区改良法制定時の囲み型集合住宅の計画過程に関する研究
(代表者 吉田 友彦)
- 不確実性情報データにおける分類手法の開発とその応用
(代表者 イリチュ(佐藤) 美佳)

IV—2 ファカルティ・セミナー

| 年月日 | 報告者 | 所属 | テーマ |
|------------|-----------------------|----------------------------------|--|
| 1 12.4.17 | 手塚 集 (藤原) | 日本IBM東京基礎研 究所, 東京大学客員 教授 | 金融工学と高次元積分 |
| 2 12.5.11 | 白井 義昌 (梶井) | 慶應義塾大学経済 学部 | Economic Growth and Business Cycles with Commitment Problem in Credit Market |
| 3 12.5.26 | 武田 朗子 (吉瀬) | 東京工業大学大学 院情報理工学研究 科 | 多項式方程式系の根列挙問題に対する高速化 手法 |
| 4 12.5.18 | 上田 貴子 (梶井) | 筑波大学社会工学 系講師 | A Dynamic Decision Model of Marriage, Childbearing, and Labor Supply of Japanese Women |
| 5 12.5.19 | 澤田 康幸 (姜) | 東京大学大学院総 合文化研究科助教 授 | Community Participation, Teacher Effort, and Educational Outcome: A Case of El Salvador's EDUCO Program |
| 6 12.5.25 | 矢島 安敏 (山本) | 東京工業大学経営 工学専攻助教授 | ディスタンスジオメトリー問題とその周辺 |
| 7 12.5.16 | 三橋 平 (松田) | コーネル大学ニュ ーヨーク州立産業 関係学部大学院生 | Three Mechanisms for Reducing Selection Uncertainty |
| 8 12.5.17 | 伊藤 史子 (大村) | 東京理科大学助手 | 居住環境と都市計画 |
| 9 12.5.17 | 村尾 修 (大村) | 東京大学生産技術 研究所助手 | 都市を読み、都市を書く —安藤忠雄から MUSEまで— |
| 10 12.5.17 | 有田 智一 (大村) | 建設省建築研究所 | 公的計画基準と都市空間の実態との乖離の背 景 —建築基準法接道義務の特例許可の事例 |
| 11 12.5.25 | 石井 健一 (金子) | 筑波大学社会工学 系講師 | 東アジアにおける日本のポピュラー文化の普 及とその背景 |
| 12 12.5.26 | Hiro Lee (土井) | 神戸大学経済経営 研究所助教授 | Trade and Transmission of Endogenous Growth Effects: Japanese Economic Reform as an Externality for East Asian Economies |
| 13 12.6.1 | 鈴木 岳 (梶井) | 明治学院大学経済 学部助教授 | Existence of Monopolistically Competitive Equilibria with Differentiated Commodities |
| 14 12.6.8 | 尾山 大輔 (梶井) | 東京大学大学院経 済学研究科大学院 生 | p-Dominance and Equilibrium Selection under Perfect Foresight Dynamics |
| 15 12.6.29 | 荒木 一法 (梶井) | 早稲田大学政治経 済学部講師 | Evolution of Attitudes towards Risk |
| 16 12.6.15 | 石川 城太 (梶井) | 一橋大学経済学部 助教授 | From Segmented Markets to Integrated Markets: An Analysis of Economic Integration and Antidumping Law |
| 17 12.6.23 | Philip McCann (土井) | 筑波大学社会工学 類 外国人教師 | The Economics of Industrial Location: A Logistics- Costs Approach |
| 18 12.6.29 | Yoshio Takane (星野) | McGill University | Understanding What A Neural Network Does: Approximations of Nonlinear Functions by Cascade Correlation Networks |
| 19 12.7.7 | 有田 智一 (土井) | 建設省建築研究所 | 産業集積および地域間分業の構造について —日米半導体産業のケーススタディ |
| 20 12.7.6 | 小西 秀男 (梶井) | Boston College 助教 授 | Coalitional Deviations as a Dynamic Process |
| 21 12.7.7 | 唐渡 広志 (土井) | 大阪大学大学院経 済学研究科大学院 生 | 東京都における主要業務地区への近接性の利 益と集積の経済 |
| 22 12.7.13 | 飛田 史和 (太田) | 内閣外政審議室審 議官、経済企画庁 | 社会システムと消費生活—内外価格差、消費生 活センターを例に— |
| 23 12.7.21 | 湧口 清隆 (土井) | 一橋大学大学院商 学研究科大学院生 | 公共交通の維持・存続に向けた地域住民の自発 的協力の可能性—弘南バス深谷線のケース— |

| | | | | |
|----|--------------|-------------------------|--|---|
| 24 | 12.7.21 | 山鹿 久木 (土井) | 大阪大学大学院経済学研究科大学院生 | 通勤の疲労コストと最適混雑料金の測定－JR中央線と大手民鉄5社を対象に－ |
| 25 | 12.9.6 | 東海 明宏 (池田) | 北海道大学大学院工学研究科助教授 | 環境システムにおけるリスクの比較・評価・管理－その目的と展望 |
| 26 | 12.9.8 | 小野 哲生 (池田) | 大阪府立大学経済学部講師 | Environmental Policy and Regime Selection in a Mode of Economic Growth and the Environment |
| 27 | 12.9.28 | 宮原 泰之 (宇井) | 神戸大学経済経営研究所 | The Use of Imperfect Private Information in Principal-Multi Agent Relationships with Imperfect Private Monitoring |
| 28 | 12.10.1 6 | 住田 潮 (佐藤) | 国際大学大学院国際経営学研究科教授 | 応用確率モデルと数値解法 |
| 29 | 12.11.2 | 鈴木 伸枝 (金子) | 一橋大学大学院経済学研究科大学院生 | Unemployment Insurance with Social Norms |
| 30 | 12.10.2 7 | 松下 裕 (竹村) | 清水建設主任研究員 | A Utility Reflecting a Framing Effect and the Possibility of its Application to Portfolio Choice |
| 31 | 12.11.9 | 高宮 浩司 (金子) | 北海道大学大学院経済学研究科 | On Strategy-Proofness and Essentially Single-Valued Cores: A Converse Claim |
| 32 | 12.10.2 7 | 竹村 和久 (中村) | 筑波大学社会工学系助教授 | Mental Ruler Theory: A Model of Judgment and Some Recent Empirical Findings |
| 33 | 12.11.1 5 | 山鹿 久木 (土井) | 大阪大学大学院経済学研究科 | 首都圏の鉄道サービスに対する混雑税導入とそのインパクト |
| 34 | 12.11.1 5 | 後藤 寛 (土井) | 東京大学空間情報科学研究センター | 都市内部の空間構造の分析と都市政策への適用可能性 |
| 35 | 12.11.1 5 | 武藤 慎一 (土井) | 岐阜大学工学部助手 | 交通立地適用モデルによる都市道路網整備の便益評価 |
| 36 | 12.11.2 7 | Anthony William (渡辺) | Univ. of Adelaide 教授 | Improved Spatial Representation of Population Distribution in South Australia |
| 37 | 12.12.7 | Marc Kilgour (ターンプル) | Wilfrid Laurier 大学 数学部教授 | Competitive Fair Division |
| 38 | 12.12.1 4 | 西村 直子 (ターンプル) | 信州大学経済学部助教授 | Individual Preference and the Demand for Sweepstakes: An Experimental Study |
| 39 | 12.12.2 0 | 大澤 義明 (豊谷) | 筑波大学社会工学系助教授 | Voting Model for Constructing Transportation Infrastructure |
| 40 | 13.1.10 | Gavin Parker (横張) | Univ. of Reading U.K. | Joined-up Policy for Brown and Green? A View on the Urban and Rural White Papers for England and Wales. |
| 41 | 13.1.16 | Hoan Tuy (久野) | Institute of Mathematics, Hanoi, Vietnam, 教授 | Monotone Approach to Generalized Linear Fractional Programming |
| 42 | 13.1.18 | 青葉 暢子 (梶井) | 筑波大学社会科学系助手 | 生保企業の資産選択と経営破綻の分析 |
| 43 | 13.1.18 | 前鶴 政和 (梶井) | 筑波大学社会科学系研究科大学院生 | Dynamic R&D Competition and Trade Policies |
| 44 | 13.1.25 | ハッスーナ・ムサ (梶井) | 筑波大学社会学類外国人教師 | The Crowding out of the Stock Market in Japan 1868-1930 |
| 45 | 13.1.26 | Ole Boe (竹村) | スウェーデン国立イェテボリ大学心理学研究所助教授 | Factors Affecting Integration of Outcomes of Concurrent Decisions. |
| 46 | 13.2.14 | 藤原 博彦 (香田) | 東京大学大学院博士課程 | ビジネスモデルの経営学的考察－組織型継続取引からネットワーク型継続取引へ |
| 47 | 13.2.15 | 小林 慶一郎 (宇井) | 経済産業省政策審議室 | Disorganization due to Forbearance of Debt Restructuring |
| 48 | 13.2.22 | 後藤 玲子 (豊谷) | 国立社会保障・人口問題研究所 | 個人の公共的判断と社会的決定手続き |
| 49 | 13.2.19 | 奥村 綱雄 (李/祝迫) | 横浜国立大学経済学部助教授 | Nonparametric Identification of Supply and Demand Shocks |
| 50 | 13.3.1 | 加田 修 (金子) | 横浜国立大学工学部数学教室非常勤 | Conditional Knowledge, Extensive Form Games |

講師

| | | | | |
|----|---------|---------------|-----------------------------|---|
| 51 | 13.2.28 | 鈴木 孝則 (門田) | 早稲田大学大学院 社会科学研究科大 学院生 | 動機付けにおけるモニタリング技術の意義 |
| 52 | 13.3.8 | 藤木 裕 (宇井) | 日本銀行金融研究 所兼金融市場局 | Money Demand Near Zero Interest Rate: Evidence from Regional Data |
| 53 | 13.3.15 | 近藤 康之 (金子) | 富山大学経済学部 講師 | ヘドニック価格推定における標本選択バイア ス：東京の事務所賃貸料に関する実証分析 |
| 54 | 13.3.14 | 境 宏恵 (門田) | 京都大学大学院経 済学研究科博士後 期課程 | 会計基準の国際的調和化の進展とそれに対す るアジア諸国の対応 |
| 55 | 13.3.16 | 藤井 聡 (竹村) | 京都大学大学院工 学研究科 | Risk Attitude and Attention: A Psychometric Analysis of Framing Effect by Contingent Focus Model |
| 56 | 13.3.27 | 谷口 潔 (黒田) | オハイオ州立大学 大学院経済学部大 学院生 | A General Equilibrium Analysis of Japanese Rice Market Trade Liberalization |

IV—3 研究出版物

2000年度 DP (Discussion Paper Series) 一覽表

- No.856 Yoshiko Nogami
Unbiased Tests for Location and Scale Parameters -
Case of Cauchy Distribution -, (Apr.2000)
- No.857 Yoshiko Nogami
Unbiased Test for a Location Parameter - Case of
Logistic Distribution -, (Apr.2000)
- No.858 Ryoko Tobiishi, Yuichiro Kanazawa, Hideto
Takahashi, Naoto Yamaguchi, Kunihiro Yamagata,
and Tetsuo Koyama
Evaluating Treatments of Rapidly Progressive
Glomerulonephritis When the Response Is Potentially
Non-Ignorably Missing, (Apr.2000)
- No.859 Masato Koda and Hiroyuki Okano
A New Stochastic Learning Algorithm for Neural
Networks, (Apr.2000)
- No.860 山田直志
日本女性の離職行動, (Apr.2000)
- No.861 Yoshiko Nogami
An Unbiased Test for the Location Parameter of the
Uniform Distribution, (Apr.2000)
- No.862 Tsutomu Suzuki
Urban Structure and Commuting Distance: A
Theoretical Approach to Excess Commuting,
(Apr.2000)
- No.863 Yoshitsugu Kitazawa
Estimation of Persistence in Log-Volatility Using
Panel Data, (May.2000)
- No.864 J. Kim Swales
A Neo-Classical Approach to the Classic Export-Base
Model: A Supply-Constrained I-O System, (Apr.2000)
- No.865 Minoru Ohmikawa and Hideaki Takagi
Call Loss Probabilities in CDMA Cellular Mobile
Communication Networks, (May.2000)
- No.866 Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda
Impact of Rural Small and Medium Enterprises on
Agriculture: A Sectoral Approach, (May.2000)
- No.867 Wirat. Krasachat and Yoshimi Kuroda
Production Structure and Technical Change in Thai
Agriculture, 1972-1994, (Jun.2000)
- No.868 Raymond Spencer and Yasoi Yasuda
Environmental and Economic Evaluation of Refuse
Derived Fuels: With a Special Focus on the
Application of Japanese Technology in Canada,
(Jun.2000)
- No.869 Yasoi Yasuda and Hisashi Yamanaka
Comprehensive Evaluation of the Public Policy for
Making Solidified Fuel and Compost out of Waste
-Case Study for Nogi Town, Tochigi Prefecture,
Japan-, (Jun.2000)
- No.870 金盛 長 (金子守)

- 戯曲：経済学における特殊と一般の逆転
(Jul.2000)
- No.871 Yoshitsugu Kitazawa
Exponential Regression of Dynamic Panel Data
Models, (Jul.2000)
- No.872 Fengbo Shi
An Optimal Hostage Rescue Problem, (Jul.2000)
- No.873 Keisuke Hotta and Akiko Yoshise
A Complexity Bound of A Predictor-Corrector
Smoothing Method Using CHKS-Functions for
Monotone LCP, (Jul.2000)
- No.874 Mamoru Kaneko
Introduction to Epistemic Logics and Their Game
Theoretic Applications, (Jul.2000)
- No.875 Ryo Sato
Realization Theory of Discrete-Event Systems and Its
Application to the Uniqueness and Universality of
Devs Formalism, (Jul.2000)
- No.876 Tadashi Yamada and Tetsuji Yamada
Differentials in the Demand for Health Check-Up in
Japan, (Jul.2000)
- No.877 大山崇・鈴木勉
周遊距離Voronoi図とその商業立地への応用,
(Aug.2000)
- No.878 Yoshitsugu Yamamoto
Optimization over the Efficient Set, (Aug.2000)
- No.879 Yutaka Nakamura
Totally Convex Preferences for Gambles, (Sep.2000)
- No.880 Yutaka Nakamura
Lexicographic Quasilinear Utility, (Sep.2000)
- No.881 星法子・星野靖雄・門田安弘
分社制と事業部制における社会的業績評価指標
が財務的業績に及ぼす効果, (Sep.2000)
- No.882 Eiichi Chuman
Incentives for Innovation under Differentiated Goods
Markets, (Sep.2000)
- No.883 Naoki Kishimoto
Pricing Path Dependent Securities by the Extended
Tree Method, (Sep.2000)
- No.884 Atsuko Ueda
A Dynamic Decision Model of Marriage,
Childbearing, and Labor Force Participation of Women
in Japan, (Oct.2000)
- No.885 Kazutoshi Ando
Möbius Functions on Rooted Forests and Their
Applications to Faigle-Kern's Dual Greedy Polyhedra,
(Oct.2000)
- No.886 Mamoru Kaneko and Nobu-Yuki Suzuki
Epistemic Logic of Shallow Depths and Game
Theoretical Applications, (Oct.2000)
- No.887 Hideyuki Takamizawa and Isao Shoji
Approximation of Nonlinear Term Structure Models,
(Nov.2000)

- No.888 岩田政彦
公開財務情報と株価及び社債流通価格を用いた
倒産確率の推定とその応用, (Oct.2000)
- No.889 Yoshiaki Ohsawa
Voting Model for Constructing Transportation
Infrastructure, (Nov.2000)
- No.890 Jiming Peng, Cornelis Roos, Tamas Terlaky and
Akiko Yoshise
Self-Regular Proximities and New Search Directions
for Nonlinear $P^*(k)$ Complementarity Problems,
(Dec.2000)
- No.891 金盛 長 (金子守)
戯曲：蒟蒻問答とゲーム論, (Dec.2000)
- No.892 Yoshiko Nogami
Best Symmetric Two-Sided Test for the Positional
Parameter of the Uniform Distribution, (Dec.2000)
- No.893 Yoshiko Nogami
Optimal Two-Sides Tests for the Positional and
Proportional Parameters of the Exponential
Distribution. ---Comparison with the Generalized
Likelihood-Ratio Tests---, (Dec.2000)
- No.894 Tomonari Takeda and Tsunemasa Shiba
A New Method of Econometric Model Simulation:
Resampling Approach, (Jan.2001)
- No.895 Naoto Tsuru, Yuichiro Kanazawa and Shinichiro
Watanabe
Continuous Learning as a Mediator of the Relationship
between Personality and Sales Performance: An
Empirical Study on a Japanese Information System
Company, (Jan.2001)
- No.896 安田八十五
ペットボトルのリサイクルシステムに関する評
価と政策分析, (Jan.2001)
- No.897 M. Kaneko, T. Nagashima, N.-Y. Suzuki, and Y.
Tanaka
Map of Common Knowledge Logics, (Jan.2001)
- No.898 Taijun Sawano, Yongbing Zhang, and Hideaki Takagi
A Load Balancing Facility Using Aglets, A Java-Based
Mobile Agent System, (Feb.2001)
- No.899 Yongbing Zhang, Xiaohua Jia, and Sajal K. Das
D-Cat: A Distributed Channel Allocation Strategy
Based on a Threshold Scheme for Cellular Mobile
Networks, (Feb.2001)
- No.900 Yongbing Zhang
Transaction Scheduling with Temporal Data in Real-
Time Database Systems, (Feb.2001)
- No.901 Minoru Ohmikawa and Hideaki Takagi
Optimal Call Admission Control for Voice and Data
Traffic in Mobile Communication Networks,
(Feb.2001)
- No.902 岩田政彦
一般化ラムダ分布を用いたオプション評価モデ
ルによる日本国債市場のスマイル分析,
(Feb.2001)

- No.903 安田八十五・勝田由佳子
仮想的市場評価法による尾瀬における自然環境
の経済的価値の評価, (Feb.2001)
- No.904 Yasoi Yasuda and Hisashi Yamanaka
Benefit Evaluation on the Public Policy for Making
Refuse Derived Fuels and Compost out of
Municipal Solid Waste - A Case Study for Nogi
Town, Tochigi Prefecture, Japan -, (Feb.2001)
- No.905 Yong-Sun Lee and Yoshimi Kuroda
Effects of Research and Extension Activities on the
Agricultural Production Technology in Postwar Japan,
1957-1997, (Feb.2001)
- No.906 金盛 長 (金子守)
戯曲：市場経済の逆襲, (Feb.2001)
- No.907 Vitoon Puripunyanich, Satoshi Myojo, and
Yuichiro Kanazawa
Estimating the Maintenance and Repair Cost in Life
Cycle Cost Calculation: A Case of Automobile
Ownership, (Mar.2001)
- No.908 Hyeron Jeong Park, Hitoshi Mitsuhashi and Theresa
Welbourne
What Causes Chief Executive Officer (CEO)
Turnover? - An Event History Analysis of
Entrepreneurial Firms, (Mar.2001)
- No.909 Hitoshi Mitsuhashi
Effects of Social Origins of Alliances on Alliance
Performance, (Mar.2001)
- No.910 Hitoshi Mitsuhashi and Robert N. Stern
Finding a Partner: Selection Uncertainty in Alliance
Formation, (Mar.2001)
- No.911 Hitoshi Mitsuhashi
Uncertainty in Selecting Alliance Partners: The Three
Reduction Mechanisms and Alliance Formation
Processes, (Mar.2001)
- No.912 Maiko Shigeno, Ichiro Takahashi, and Yoshitsugu
Yamamoto
Minimum Maximal Flow Problem - An
Optimization over the Efficient Set -, (Mar.2001)
- No.913 Yoshiko Nogami
Supplement for Discussion Paper Series No.'s 856,
857 and 893, (Mar.2001)
- No.914 Yoshiko Nogami
Optimal Two-Sided Tests for the Cauchy Distribution
in Two-Sample Problem Based on Lagrange's Method,
(Mar.2001)
- No.915 Fengbo Shi
Optimal Hostage Rescue Problem Where Action Can
only be Taken Once -Case Where Effect Vanishes
Thereafter-, (Mar.2001)

V 各教官研究・教育活動

掲載期間

I. 研究活動

- | | |
|------------|----------------------|
| (1) 研究業績期間 | 平成12年7月1日～平成13年6月30日 |
| (2) 学会活動期間 | 平成12年4月1日～平成13年3月31日 |
| (3) 研究助成期間 | 平成12年4月1日～平成13年3月31日 |
| (4) その他 | 平成12年4月1日～平成13年3月31日 |

II. 教育・業務活動

平成12年4月1日～平成13年3月31日

III. 社会的活動

平成12年4月1日～平成13年3月31日

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 赤根谷達雄・落合浩太郎編著『「新しい安全保障論」の視座』亜紀書房、2001年 執筆担当は、序論、7-17頁。第2章「新しい安全保障」の総体的分析、68-112頁
- 2) 赤根谷達雄「軍備管理レジームの比較と核兵器禁止レジームの将来展望」『新防衛論集』第28巻、第4号(2001年3月)、69-90頁。95頁(英文要旨)
- 3) 「WTOとグローバル・ガバナンス」『国際法外交雑誌』第99巻、第3号(2000年8月) 108-109頁。(国際法学会2000年度春季大会における報告要旨)

(2) 学会(国際・国内)活動

- 1) 日本国際政治学会国際政治経済分科会責任者(H12年5月まで)
- 2) 国際法学会研究連絡委員(H12年12月～現在)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 国際総合学類： 国際学概論、国際関係学方法論、国際情勢の見方(総合科目)、国際学ゼミナールⅠ、国際学ゼミナールⅡ
- 2) 国際政治経済学研究科： 国際政治学、国際政治学演習Ⅳ

(2) 役職・各種委員

- 1) 国際総合学類カリキュラム委員
- 2) 全学学群教育課程委員会委員
- 3) 総合科目編成委員会委員
- 4) 国際政治経済学研究科入試実施委員
- 5) 新研究科開設準備委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学教養学部非常勤講師(H12年10月1日～H13年3月31日)

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省経済産業研究所の新通商法研究会委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 査読つき論文

- 1) Risk Management across the Globe: Insights from a Comparative Look at Sweden, Japan and the United States, Risk Analysis, Vol. 20, No.2, 157-161, 2000.
- 2) Exposure Assessment of Heavy Metals Resulting from Farmland Application of Wastewater Sludge in Tianjin, China: Risk Analysis, Vol. 20, No.5, 613-626, 2000.
- 3) An Environmental Input-Output Analysis and Its Application to the Northeast China, Proceedings of the 11th Conference, Pan Pacific Association of Input-output Studies, Sendai, 94-98, Nov. 2000.
- 4) 環境リスクに対する情報開示レベルと市場反応、日本リスク研究学会第13回研究発表会講演論文集、121-126、11月、2000.
- 5) Inter-zone Discharge Permit Transaction: A trial to manage industrial-borne pollutants discharged into sewage network in China, 環境経済政策学会発表報告集、272-273、9月、2000年.

2) 査読なし論文

- 1) リスクのガバナンスに向けたリスク分析の役割と展望、日本リスク研究学会第13回研究発表会講演論文集(招待)、161-164、11月2000年.
- 2) An Evaluation Model of Extreme Risks with Stochastic Sustainability Criteria, Society for Risk Analysis Annual Meeting, 83, Washington, D.C., Dec. 2000.

(2) 学会活動

- 1) 環境科学会理事
- 2) 日本リスク研究学会理事(事務局長)

- 3) システム農学会監事
- 4) Associate Editor, Journal of Risk Research
- 5) Member of Editorial Board, Risk Analysis: An International
- (3) 研究助成
 - 1) 文部省科学研究費：基盤研究 A (1), No.1135001 (研究代表者)
貿易および経済発展に伴う地球規模リスクへの事前対応政策に関する総合的研究
 - 2) 文部省科学研究費：基盤研究 C(2) (研究代表者)
経済・生態システムの自己組織化と秩序形成に関する遺伝行動モデルの研究
 - 3) 農業環境技術研究所受託研究費 (研究代表者)
地球環境リスクと管理にかかるリスクコミュニケーションと対策決定過程に関する研究
- (4) その他
学会賞：日本リスク研究学会学術賞、平成12年11月18日

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 環境計画、都市計画実習 1
 - 2) 経営・政策科学研究科 公共リスク分析
 - 3) システム情報工学研究科 環境システム分析特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類 4年次クラス担当・学生委員会委員
 - 2) 社会工学系研究計画委員会委員
 - 3) 経営政策科学研究科カリキュラム委員会委員
 - 4) システム情報工学研究科社会システム工学専攻運営委員・論文審査委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県環境審議会特別委員、茨城県環境審議会霞ヶ浦専門部会委員
- 2) 環境庁中央環境審議会大気部会専門委員
- 3) 環境庁国立環境研究所地球環境研究センター：土地利用・被覆変化検討プロジェクト：
客員研究者、検討委員会委員
- 4) 土浦市環境審議会委員

石田 東生

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) 都市鉄道駅における乗継利便性向上施策の評価手法に関する研究、運輸政策研究、Vol.3, No.2 (通巻 No.9), pp.9-20, 共著 (加藤・芝海・林・石田)、2000年
 - 2) 都市計画マスタープラン策定過程におけるパブリック・インボルブメント活動および情報提供が市民意識等に与える効果の分析、日本都市計画学会学術研究論文集、No.35, pp.871-876, 共著 (松田・石田)、2000年
 - 2) 査読なし論文
 - 1) 都市圏交通マスタープランとパーソントリップ調査、都市計画、Vol. 49, No.2, pp.5-8, 単著、2000年
 - 2) 21世紀のまちづくりと公共交通への期待と課題、都市+デザイン、Vol.16, pp.4-7, 単著、2000年
 - 3) 交通政策と省エネルギー—自動車とその位置づけ—、21世紀フォーラム、No.75, pp.28-33, 単著、2000年
 - 4) 道路行政の変革と情報化・効率化、道路建設、2000年11月号, No.634, pp.16-19, 単著、2000年
 - 5) 巻頭言：建設工事のゼロエミッションと公共セクターへの期待、土木技術、2001年2月号, Vol.56, No.2, pp.29-30, 単著、2001年
 - 6) みちづくりと対話型行政、道路行政セミナー、2001年3月号, No. 132, pp.7-10, 単著、2001年

- 7) 公共事業の評価に求めるもの、建設月報、2001年4月号, No. 622, pp.38-40, 単著、2001年
- 3) 口頭発表講演概要
 - 1) 鉄道新線沿線におけるITS技術への利用意向調査、土木学会年次学術講演会講演概要集第4部、No.55, pp.116-117, 共著(岡本・佃・石田)、2000年
 - 2) Public Involvement活動が市民意識等に与える影響の分析—牛久市都市計画MP策定過程を事例として—、土木学会年次学術講演会講演概要集第4部、No.55, pp.466-467, 共著(松田・石田)、2000年
 - 3) 都市鉄道駅における乗換利便性向上施策の評価手法とその適用、土木学会年次学術講演会講演概要集第4部、No.55, pp.758-759, 共著(加藤・芝海・林・石田)、2000年
 - 4) 車両位置データ取込み手法に関する基礎的研究、第28回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.562-563, 共著(金山・古屋・石田)、2001年
- (2) 学会活動
 - 1) アジア交通学会理事
 - 2) 土木学会土木計画学研究委員会 交通調査技術研究小委員会委員長
- (3) 研究助成など
 - 1) 科研基盤研究(C) トランスポーテーションギャップモデルを用いた公共交通の成立性に関する研究 (研究代表者)
 - 2) 科学技術庁戦略的基礎研究推進事業応募研究領域 「都市交通の環境負荷制御システムに関する基礎研究(研究代表者 学習院大学 岩田規久男教授)に研究分担者として参加
 - 3) 奨学寄付金 「道路交通・都市計画に関する研究」 (株)公共計画研究所
 - 4) 奨学寄付金 「道路行政の評価システムに関する研究」 (財)国土開発技術センター
 - 5) 受託研究「都市交通予測モデルの開発」 科学技術振興事業団

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類：都市構造論、交通計画、都市計画実習Ⅰ、都市計画実習Ⅲ
 - 2) 環境科学研究科：国土計画論
 - 3) システム情報工学研究科：交通計画特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 交通安全対策委員会副委員長
 - 2) 社会工学系予算委員会委員長
 - 3) 社会工学類入試実施委員会委員長

III. 社会的活動

- 1) 経済企画庁物価政策会議 特別委員
- 2) 科学技術庁技術予測委員会 委員
- 3) 建設省道路審議会 専門委員
- 4) 国土庁国土審議会 専門委員
- 5) 国土交通省政策評価会 委員
- 6) 茨城県総合計画審議会 専門委員
- 7) 茨城県公共事業再評価委員会 委員

糸井川 栄一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 李明勲・石坂公一・大村謙二郎・糸井川栄一、「東京都心6区における建物延床面の経年変化に関する研究—1980年代以降の延床面積及び容積率変化を中心として—」、日本建築学会計画系論文集、No.535, pp.197~202、2000.9
 - 2) 竹谷修一・糸井川栄一・岩見達也・栗山浩一・合田恵宣・藤川学・塩谷貴教、「CVMを用いた防災投資効果計測の試行」、地域安全学会論文集 No.2, pp.145~152、2000.11

2) 1) 以外の論文など

- 1) 糸井川栄一・石井儀光、「都市大火時における人命被害評価について」、東濃地震科学研究報告、No.7、(財)地震予知総合研究振興会、2001.3
- 2) 糸井川栄一、「延焼シミュレーションー地震危険度の把握と改善のための活用の観点からー」、日本建築学会地震防災総合研究特別研究委員会防災対策原資小委員会第2回シンポジウム、2001.1
- 3) 糸井川栄一、「都市の地域性と防災都市づくりの論点」、地震防災総合研究特別研究委員会都市構造防災化小委員会第10回公開研究会「21世紀の都市防災・復興方策へー～阪神・淡路大震災を越えて～」、日本建築学会、pp.27～29、2001.3
- 4) 糸井川栄一、「地震火災問題に関する確率的考察」、日本建築学会第7回地震防災シンポジウム、日本建築学会、pp.7～19、2001.3
- 5) 宮野道雄・生田英輔・糸井川栄一・田中裕・熊谷良雄、「阪神・淡路大震災における重傷者発生と建物被害との関係」、第2回構造物の破壊過程解明に基づく地震防災性向上に関するシンポジウム論文集、土木学会技術推進機構、pp.117-122 2001.3

(2) 学会活動

地域安全学会理事

Ⅲ. 社会的活動

- 1) 平成12年度建築防災研修会講師、(財)日本建築防災協会、(H12.6.1、6.8)
- 2) 地震時人的被害研究委員会委員、(財)地震予知総合研究振興会、(H12.6.2～H13.3.31)
- 3) 地震火災危険度及び地火費危険度に関する研究会委員、損害料率算定会、(H12.7.18～H13.3.31)
- 4) 避難場所の安全性に関する調査検討委員会委員、(財)東京都防災・建築まちづくりセンター、(H12.7.21～H13.3.31)
- 5) 防災まちづくり共同研究推進会議委員・幹事、(財)国土技術研究センター、(H12.8.8～H13.3.31)
- 6) 地震に関する地域危険度測定調査委員会専門委員、東京都都市計画局、(H12.8.29～H13.3.31)
- 7) 確率論的安全評価研究委員会専門委員、日本原子力研究所、(H12.9.1～H13.3.31)
- 8) 災害情報に関する住民反応に関する研究委員会委員、(財)高度情報科学技術研究機構、(H12.9.11.～H13.3.31)
- 9) 住宅設計における浸水対策マニュアル検討委員会 (財)日本建築防災協会、(12.9.26～H13.3.31)
- 10) 住宅の耐震改修推進調査検討委員会委員 (財)日本建築防災協会、(13.2.1～H13.3.31)

I. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 第三学郡教員会議構成員、非常勤講師審査委員
 - 2) システム情報工学研究科社会システム工学専攻 運営委員、論文審査委員
 - 3) 社会工学系 運営委員

II. 社会的活動

- 1) 日本総合研究所「不動産価格指標整備に関する調査」専門委員会委員（経済企画庁（現、内閣府）委託）
- 2) 総務庁（現、総務省）統計局「物価指数研究会」委員

大西 治男

I. 研究活動

- (4) その他
 - 1) 第17次地方公共団体定員管理研究報告書（道府県、政令指定都市、中核都市、一般市）。（総務省）

Box-Cox変換の「最良回帰式選択（変数選択）」問題を解決するアルゴリズムを完成し、知的統計システムOEP Pへ組み込み、ノートブック型PCで稼働させ、一般使用に供した。論文は後日出るが、数十年間起こっていた従来の間違っただ変数選択法の使用によるユーザの被害・損害が食い止められることになった。回帰分析や計量経済学に対する従来の不完全な考え方（統計思想、統計哲学）を変えることの困難さは痛感したが、最近は、頗る理解を得てきた。

II. 教育・業務活動

- (2) 役職・各種委員
社会工学類、経営・政策科学研究科及び社会工学研究科の就職委員長を務めた。

III. 社会的活動

文部（科学）省の大学設置・学校法人審議会委員を務めた。独創的な論文が少なく、「想定した説明変数の部分集合が正しい」、「将来の完全予知」等、神のみぞ知る仮定に基づいた論文は、学術的な価値が低く、審査労力の割りに報われなかった。「大西の変数選択法」をベースにした総務省（自治省）の地方公共団体定員管理の行革委員を務め、これまでに20数万人は削減してきた。

大村 謙二郎

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 「分権・規制緩和・民活下の都市開発事業制度の再編」（共著）、『現代の都市法I：構造と展開』、東大出版会、2001.5、pp.275-317
 - 2) 「市街化調整区域開発可能区域拡大について-運用基準の変遷と制度間の関連から-」（共著）『都市住宅学』31号 2000、 pp.39-44
 - 3) 「市町村合併後の自治体における都市基盤整備方針の変遷に関する研究-いわき市を事例として-」（共著）、『平成12年度都市計画論文集』 2000 No.35 pp.109-114
 - 4) 「市街化調整区域における開発メカニズムとその土地利用上の問題について」（共著）、『平成12年度都市計画論文集』、2000 No.35 pp.193-198
 - 5) 「東京圏における共働き育児世帯の動向と保育所整備の関連」（共著）、『平成12年度都市計画論文集』、 2000 No.35 pp.271-276
 - 6) 「戦後沖縄における割り当て土地制度の変遷及びその影響に関する研究-米軍基地との関係から-」（共著）、『平成12年度都市計画論文集』 2000、 No.35 pp.379-384
- (2) 学会活動
 - 1) 都市計画学会評議員

- 2) 都市住宅学会常務理事
- 3) 都市住宅学会誌「都市住宅学」編集委員長
- (3) 研究助成
 - 1) 文部省科学研究費：基盤研究 B(2), No. (研究代表者) 10450217
少子高齢化社会における大都市圏土地利用に関する研究

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 都市計画実習2、土地利用計画
 - 2) 経営・政策科学研究科 都市計画通論
 - 3) システム情報工学研究科 比較都市計画史特論
 - 4) 総合科目 都市・地域・環境を探る
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学研究科研究科長
 - 2) システム情報工学研究科社会システム工学専攻長

III. 社会的活動

- 1) 茨城県開発審査会委員
- 2) 東京都住宅政策審議会委員
- 3) 中野区住宅政策審議会会長

小倉 昇

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 「環境経営を支援する環境会計の現状と課題」『Cyber Ecology (オフィス・オートメーション学会誌)』第21巻第2号、49-53、2000.
 - 2) 「金融業におけるバランスト・スコアカードの構築に関する研究」『会計』第159巻第2号、82-93、島崎高行との共著、2001.
 - 3) 「企業価値と業績評価」『組織構造のデザインと業績管理』18-30、2001.
 - 4) 「企業評価と管理会計情報」『会計』第159巻4号、45-58、2001.
 - 5) 「企業評価と会計情報－キャッシュフローの限界－」日本会計研究学会第48回関東部会統一論題報告、東京理科大学、2000年12月.
- (2) 学会活動
 - 1) 日本管理会計学会 常務理事・学会誌編集委員
 - 2) 日本原価計算研究学会 理事
 - 3) オフィス・オートメーション学会 理事・学会誌編集委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 文部省科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 「顧客分析・プロセス分析に基づくバランスト・スコアカードの設計に関する研究」 (研究代表者)

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 会計基礎 I・II (経営・政策科学研究科)
 - 2) 会計情報 (経営・政策科学研究科)
 - 3) コスト・マネジメント (経営・政策科学研究科)
 - 4) コスト・マネジメント輪講 (経営・政策科学研究科)
 - 5) 会計測定 (経営・政策科学研究科)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 総務担当委員
- (3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)
 - 1) 滋賀大学経済学部非常勤講師

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 小場瀬令二、舟尾基（2000.11）「限界郊外住宅地における都市計画規制とバブル経済の影響に関する研究-茨城県美浦村の場合-」日本都市計画学会発行2000.11 p349-354
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) 小場瀬令二（2000.11）「限界住宅地の市場からの退場」住宅（財団法人日本住宅協会）2000、11月号pp43-51

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会学術委員会幹事
- 2) 日本建築学会編集委員
- 3) 日本建築学会都市計画部会委員
- 4) 日本建築学会関東支部都市計画研究幹事

(4) その他

日本建築学会関東支部主催第2回「美しくまちをつくる、むらをつくるコンペ」平成12年9月、小田原をテーマにした設計協議で、第1回に引き続き、優秀賞を獲得

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 住宅地計画（社会工学類）
- 2) 図学測量学（社会工学類）
- 3) 総合科目Ⅱ（全学）
- 4) 住環境計画（環境科学研究科）
- 5) 都市環境・景観特講（システム情報工学研究科、社会工学研究科）
- 6) 都市・地域・環境を探る（総合科目）

(2) 役職・各種委員

- 1) クラス担任
- 2) 学類施設委員
- 3) 安全管理マニュアル作成委員

III. 社会的活動

- 1) 政府・地方公共団体
- 2) 茨城県 生活環境調査委員会委員
- 3) 茨城県 景観新議会委員
- 4) 水戸市 都市景観専門委員

加藤 英明

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 企業財務（経営・政策科学研究科）
- 2) 資本市場と経営（経営・政策科学研究科）
- 3) 企業金融輪講（経営・政策科学研究科）

(3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）

- 1) 南山大学 演習、投資論
- 2) 名古屋市立大 経営財務論

金子 守

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文
 - 1) Utility theories in cooperative games, (with M. H. Wooders). To appear in Handbook of Utility Theory.
 - 2) Epistemic logics and their game theoretical applications : Introduction. To appear in Economic Theory.
 - 3) Bounded Interpersonal Inferences and Decision Making, (with N.-Y.Suzuki). To appear in Economic Theory.
 - 4) Epistemic Logic of Shallow Depths and Game-Theoretical Applications,(with N.-Y. Suzuki). To appear in Advances in Modal Logic Vol.3, F. Wolter et al eds. Center for the Study of Language and Information.
 - 5) A Map of Common Knowledge Logics, (with T. Nagashima, N.-Y. Suzuki, and Y. Tanaka). To appear in Studia Logica.
- (2) 学会活動
 - 1) 日本経済学会理事
 - 2) Associate Editor for Mathematical Social Sciences
 - 3) Associate Editor for Social Choice and Welfare
 - 4) Associate Editor for International Journal of Game Theory
 - 5) Associate Editor for Journal of Public Economic Theory
 - 6) Associate Editor for Lecture Notes in Economics and Mathematical Systems
 - 7) Associate Editor for Economic Theory
- (3) 研究助成

文部省科学研究費：基盤研究 B, No. 1 0 6 3 0 0 0 3 (研究代表者)
 個人経験と個人の社会観の形成 (H11年4月1日 から H13年3月31日)

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 微積分学、ゲーム理論、社会経済実習
 - 2) システム情報工学研究科 ゲーム理論特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) システム情報工学研究科社会システム工学専攻運営委員・論文審査委員

河合 忠彦

I . 研究活動

- (1)研究業績

「複雑適応系パラダイム：第三世代システム論」(経営学史学会編『組織・管理研究の百年』)
 2001年5月
- (2)学会活動

組織学会大会委員

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 経営学基礎(経営システム科学専攻)
 - 2) 経営組織(経営システム科学専攻)
 - 3) 企業倫理と法(企業科学専攻)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 経営システム科学専攻副研究科長

III . 社会的活動

公認会計士試験第2次試験委員を務めた。

岸本 一男

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 朱文増, 岸本一男: 分散変動時系列データに基準化残差の独立性検定を行うことの実証上の利用可能性の計算機実験による検証, 経営財務研究双書(印刷中)
 - 2) Kazuo KISHIMOTO: Sufficient conditions for the second largest characteristic value of a non-negative

matrix, 数理解析研講究録, 偏微分方程式の数値解法とその周辺研究集会報告集, pp.105-112, 2000

- 3) 鄭謙, 岸本一男: 売り呼び値と買い呼び値の乖離の計測に対する Kalman Filter によるアプローチ, 筑波大学多目的データバンク報告書, No.75(2000), pp.77-94.

(2) 学会活動

招待講演

- 1) 岸本一男: オプションの価格付けと分散評価の問題点, 情報処理学会第6回数値モデル化と問題解決シンポジウム.

研究発表

- 1) 岸本一男: 確率行列の第2固有値を与えるある十分条件, 数値解析シンポジウム

各種委員

- 1) 日本応用数学会理事
- 2) 日本応用数学会論文誌編集委員長
- 3) 電子情報通信学会査読委員

(3) その他の研究活動

文部省科学研究費(基盤研究(C)(2))(代表) 最適立地問題の均衡解の存在とその応用

II 教育・業務活動

(2) 役職・各種委員

- 1) 経営・政策科学研究科長
- 2) 博士課程委員会運営委員
- 3) 博士課程委員会財務検討委員会委員
- 4) 留学生センター運営委員

久野 靖

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー

著書

- 1) 久野靖、入門WWW、アスキー、2000
- 2) 大岩元、橘孝博、半田亨、久野靖、辰巳丈夫、情報科教育法、オーム社、2001
- 3) 久野禎子、久野靖、Javaによるプログラミング入門、共立、2001/09/16

査読つき論文・発表Proceedings

- 1) 兼宗進、久野靖、学校教育用オブジェクト指向言語/環境の構想について、情報教育シンポジウム論文集(IPSJ Symposium Series, vol. 2000, no.9), pp.79-82, 2000
- 2) 白井宏明、藤森洋志、久野靖、鈴木久敏、寺野隆雄、津田和彦、WWW環境を利用したビジネスゲーム開発ツール、教育システム情報学会誌、Vol. 17, No.3, pp.339-348, 2000

2) 1)以外の論文など

- 1) 兼宗進、久野靖、学校教育用オブジェクト指向言語「Dolittle」の提案、情報処理学会第42回プログラミングシンポジウム報告集、pp.11-20, 2001.
- 3) 査読なしの口頭発表
- 1) 兼宗進、御手洗理英、中谷多哉子、福井眞吾、久野靖、学校教育用オブジェクト指向言語「ドリトル」の設計と実装、情報処理学会第33回プログラミング研究会, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会プログラミング研究会運営委員, PRO論文誌編集委員.

II . 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 計算機科学基礎II(経営・政策科学研究科・経営システム科学専攻(修士課程))
- 2) 計算機ソフトウェア(経営・政策科学研究科・経営システム科学専攻(修士課程))
- 3) 計算機プログラミング輪講I-II(経営・政策科学研究科・経営システム科学専攻(修士課程))

- 4) 経営システム科学特別研究I～IV (経営・政策科学研究科・経営システム科学専攻 (修士課程))
- 5) ヒューマンインタフェース (経営・政策科学研究科・企業科学専攻 (博士課程))
- 6) システムズマネジメント講究I～IV (経営・政策科学研究科・企業科学専攻 (博士課程))
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 東京地区SCSワーキンググループ委員
 - 2) 附属学校情報教育委員会委員
 - 3) 東京大学教養学部非常勤講師 (計算機プログラミングI)

熊谷 良雄

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 地震防災の事典 (単著分担), (株)朝倉書店, 2000. 9. 1
 - 2) 市街地における木造三階建戸建て住宅の建設要因に関する研究 (共著), 地域安全学会論文集No.2, 地域安全学会, p p. 161～168, 2000.11.
 - 3) 水害時における情報伝達と住民初期避難行動の関連分析 (共著), 地域安全学会論文集No.2, 地域安全学会, p p. 169～178, 2000.11.
 - 4) 都道府県総合防災訓練の実施項目の分析と評価 (共著), 地域安全学会論文集No.2, 地域安全学会, p p. 203～212, 2000.11.
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) "ソフト防災"をとらえる視点, 交通工学Vol.35,No. 5, 交通工学研究会, p p. 4～7, 2000. 9.
- (2) 学会活動
 - 1) 地域安全学会会長
 - 2) 日本都市計画学会評議員
 - 3) 日本建築学会都市計画委員会委員
 - 4) 日本建築学会都市防災システム小委員会主査
 - 5) 日本建築学会地震防災総合研究特別委員会委員
 - 6) 日本建築学会地震防災総合研究特別委員会都市構造防災化小委員会幹事
 - 7) 日本建築学会地震防災総合研究特別委員会総合耐震安全性小委員会委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 受託研究: 大規模破壊実験における人体被災計測手法の開発 (科学技術庁防災科学総合研究所)
 - 2) 受託研究: 火山灰災害の影響評価とリスクマネジメント (通商産業省工業技術院地質調査所)
 - 3) 奨学寄付金: 地震時の火災拡大要因分析に関する研究 (清水建設(株)技術研究所)

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) フレッシュマン・セミナー, 1単位, 総合科目
 - 2) 都市防災計画, 2単位, 社会工学類
 - 3) 都市計画実習3, 2.5単位, 社会工学類
 - 4) 環境科学実習, 1単位(分担), 環境科学研究科
 - 5) 環境計画実習, 2単位(分担), 環境科学研究科
 - 6) 環境計画原論, 2単位, 環境科学研究科
 - 7) 防災計画論, 2単位, 環境科学研究科
 - 8) 都市安全管理特論, 2単位, システム情報工学研究科(社会システム工学専攻)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 第三学群教員会議構成員
 - 2) 社会工学類 クラス担任

- 3) 社会工学類 カリキュラム委員
- 4) 社会工学類 非常勤講師審査委員
- 5) 社会工学系 施設委員長
- 6) 社会工学系 人事懇談会運営委員
- 7) 環境科学研究科 環境計画分野世話人
- 8) 環境科学研究科 就職委員長
- 9) 環境科学研究科 将来検討ワーキング委員
- 10) 防災対策委員会委員
- 11) 安全管理査察専門委員会委員, 同 作業部会主査
- 12) 実験環境管理室運営委員
- (3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)
 - 1) 日本大学理工学部非常勤講師
 - 2) 明海大学不動産学部非常勤講師
 - 3) 東京都立大学都市研究所非常勤研究員

Ⅲ. 社会的活動

- 1) 中央防災会議大都市震災対策専門委員会委員
- 2) 東京都火災予防審議会地震部会小部会長
- 3) 第5回東京都地域危険度測定調査委員会委員
- 4) 土浦市都市計画審議会会長
- 5) つくば市建築審査会会長
- 6) 総合技術開発プロジェクト「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」研究開発委員会委員

黒田 誼

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) *AgProduction Structure and Technical Change in Thai Agriculture, 1972-1994*, *AgAgricultural Economics* (under review).
 - 2) *AgImpact of Rural Small and Medium Enterprises on Agriculture: A Sectoral Approach*, *AgAgricultural Economics* (under review).
 - 3) *AgEffects of Research and Extension Activities on the Agricultural Production Technology in Postwar JAPAN, 1957-1997*, *AgAmerican Journal of Agricultural Economics* (under review).
- (2) 学会活動等
 - 1) *Japanese Journal of Rural Economics*の編集委員
 - 2) *Agricultural Economics* のEditorial Board のメンバー
- (3) 研究助成
 - 1) 文部省科学研究費：基盤研究 (C) 12660197 (研究代表者)
「日・韓・台農業におけるR&D 及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究」
- (4) その他の研究活動
 - 1) 「多目的データバンク・プロジェクト」推進および管理・運営.

Ⅱ. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 日本の経済、計量発展分析、社会経済専攻実習
 - 2) 経営・政策科学研究科 計量発展分析
 - 3) システム情報工学研究科 計量発展分析特講
 - 4) 卒業研究指導7人、経営・政策修論指導2人、社会工学研究科博士論文指導4人、大学院研究生1人
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 留学生センター長

- 2) 経営・政策科学研究科の運営委員
- 3) 社会工学類の運営幹事
- 4) 植物見本園委員会委員

Ⅲ. 社会的活動

- 1) Faculty of Economics & Administration, University of MalayaのExternal
- 2) 本（2001）年度もPECC(Pacific Economic Cooperation Conference-太平洋経済協力会議) 日本委員会の食料・農業委員会のメンバーとして春に行われる年次会議に出席した。

香田 正人

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文
 - 1) A New Stochastic Learning Algorithm for Neural Networks, Journal of the Operations Research Society of Japan, Vol. 43, No. 4, 469-485, 2000.
 - 2) An Optimization Algorithm Based on Stochastic Sensitivity Analysis, Proceedings of SAMO2001, 177-181, Third International Symposium on Sensitivity Analysis for Model Output, CIEMAT, UPM-ETSIIIM, URJC, Sponsored by European Commission, ENRESA, CSN, Madrid, June 18-20, 2001.
 - 3) Bootstrapping for Neural Network Learning, APORS2000 Conference CD-ROM, Singapore, July 5-7, 2000.
- 2) 査読のない論文など
 - 1) A New Noise-Based Gradient Method and Its Applications, Research Report RT0390, IBM Tokyo Research Laboratory, 19 pages, December 12, 2000.
 - 2) An Optimization Algorithm Based on Stochastic Sensitivity Analysis for Noisy Objective Landscape, Research Report RT0391, IBM Tokyo Research Laboratory, 13 pages, June 12, 2001.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) An Overview of Industrial Applications of Data Mining and Knowledge Discovery in Japan, Dept. Industrial & Systems Eng., NUS and OR Society of Singapore Joint Seminar (Invited), Singapore, July 4, 2000.
 - 2) 決定木を用いた複合学習モデルについて、日本OR学会2000年度秋季研究発表会アブストラクト集、222-223、東京、9月、2000.
 - 3) データマイニングの産業応用について、電気学会空間情報統合利用委員会（招待）、東京、9月11日、2000.
 - 4) An Optimization Algorithm based on Stochastic Sensitivity Analysis, Dept. Physical Chemistry Seminar (Invited), Eotvos Lorand University, Budapest, November 4, 2000.
 - 5) An Overview of Industrial Applications of Data Mining and CRM in Japan, Adaptive Friday Program (Invited), Vienna University of Economics and Business Administration, Vienna, November 8, 2000.
 - 6) 白色雑音を用いる勾配法とそのTSPへの応用、情報処理学会第77回アルゴリズム研究会、77 - 1、1 - 8、大和市、3月、2001.
 - 7) 知識発見とデータマイニングの産業応用、日本OR学会統合OR「戦略・マネージメント」研究会（招待）、東京、3月13日、2001.
 - 8) 発見科学やデータマイニング技術の産業応用について、日本OR学会第206回新宿OR研究会（招待）、東京、3月21日、2001.
 - 9) An Overview of Industrial Applications of Data Mining in Japan, Laboratory Seminar (Invited), IBM Zurich Research Laboratory, Zurich, June 27, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 日本OR学会創立40周年記念事業国際交流委員会主査（H12年4月1日～H13年3月31日）、
- 2) 日本OR学会統合OR「戦略・マネージメント」研究会運営委員（H12年4月1日～H13年3月31日）
- 3) 日本OR学会統合OR「情報技術・ネットワーク」学専門部会幹事（H12年4月1日～H13年3月31日）

(3) 研究助成

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 C (2), No.11680435（研究代表者）
データマイニングの数理モデル構築と確率感度解析（H12年4月1日～H13年3月31日）

(4) その他

- 1) 学会賞：日本OR学会フェロー、平成12年4月

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類 微分積分学、経営工学実習
- 2) 経営政策科学研究科 応用解析学
- 3) システム情報工学研究科 データマイニング工学特論

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系運営委員
- 2) 経営政策科学研究科図書委員
- 3) システム情報工学研究科社会システム工学専攻運営委員・論文審査委員

腰塚 武志

I . 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文

- 1) Y. Ohsawa and T. Koshizuka, Evaluation of zone orderings based on the correlations of order-differences and distances. 2000, Geographical Analysis, 32(1), pp.173-185.
 - 2) 新宿高層ビル群における移動時間分布, 2000.10 日本都市計画学会平成12年度論文集, 共著, pp.1003-1008.
 - 3) 道路網上の距離分布と流動量分布に関する基礎的研究, 2000.10 日本都市計画学会平成12年度論文集, 共著, pp.1021-1026.
 - 4) Osamu Hirayama, Ryuji Takaki, Takeshi Koshizuka, and Hiroshi Yanai, "Model Analysis for Formation of Population Distribution", 2001, Forma, 16, pp.47-63.
 - 5) 省エネルギー直方体都市のプロポーション解析と沙漠の摩天楼シバームの数理, 2001.6 日本建築学会計画系論文集, 共著, 第544号, pp.125-131.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
- 1) 急行エレベータの評価移動時間と交通面積, 2000.9 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp.230-231.
 - 2) ネットワーク上の道路距離と直線距離, 2000.9 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp.234-235.
 - 3) マラソンコース形状の評価, 2000.9 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp.62-63.
 - 4) 太陽光発電を考慮した集合住宅の高さと隣棟間隔, 2000.9. 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp70- 71.
 - 5) 連続的利用者分布とネットワーク単一施設配置モデル, 2001.5 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp.200-203.

(2) 学会活動

- 1) 日本OR学会評議委員
- 2) 形の科学会運営委員

(3) 研究助成

- 1) 文部省科学研究費補助金： 基盤研究 (B) (2) 「移動からみた都市空間の分析」

II 教育・業務活動

(2) 役職・各種委員

- 1) 副学長

ネアントロ・サーヴェドラ・リヴァノ

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Learning from Experience _ The First APIAN Report (with other authors, main editor Richard Feinberg), Institute of South East Asian Studies, Singapore, 2001.
 - 2) Economic Growth and Social Equity: Some General Points and Reflections on East Asia and Latin America, chapter 2, Part 3 (p. 252-263) in Modernization: Development Models in Latin America and East Asia (in Chinese), Jiang Shixue (ed.), Social Sciences Documentation Publishing House, Beijing, 2000.
- (2) 学会活動等
- 1) International Meeting of APEC Study Centers (Regional Development and Economic Integration), Nankai University, Tianjin (China), May 18-20, 2001.
 - 2) Workshop on Issues of Economic Transition in Developing Countries (The Challenges of Globalization for Transition Economies: Asia and Latin America), Shanghai Academy of Social Sciences, Shanghai (China), February 8-9, 2001.
 - 3) International Conference on Economic Aspects of Quality Management (The Role of QM Tools in the Post War Economic Development of Japan), Faculty of Economics of University "S Cyril and Methodius", Skopje (Republic of Macedonia), November 15-16, 2000.
 - 4) International Symposium on National Innovation Systems (Globalization and its Strategic Implications for the Japanese Industry), University of Chile, Santiago (Chile), December 18, 2000.
 - 5) International Approaches to Globalisation (Cultural and Social Perspectives), Seminar of the East Asia and Latin America Forum, Ministry of Foreign Relations of Chile, Santiago (Chile), October 30-31, 2000.

Ö† 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 国際政治経済学 2 (国際政治経済学研究科、平成 1 2 年度 3 学期)
 - 2) 動学最適論 (国際政治経済学研究科、平成 1 3 年度 1 学期)
 - 3) 国際経済学 2 (国際総合学類、平成 1 2 年度 3 学期・1 3 年度 1 学期)
 - 4) 国際開発計画論 (国際総合学類、平成 1 2 年度 3 学期・1 3 年度 1 学期)
 - 5) ラテン・アメリカ研究概論 (地域研究研究科、平成 1 2 年度 3 学期・1 3 年度 1 学期)
 - 6) 世界の中の日本 (総合科目)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) Director, Joint Japan/World Bank Graduate Scholarship Program (国際政治経済学研究)
 - 2) Director, APEC Study Center (国際政治経済学研究科)
 - 3) Member, 運営委員会 (国際政治経済学研究科)
 - 4) Chairman, コンピューター委員会 (国際政治経済学研究科)
 - 5) Member, 予算委員会 (社会工学系)

佐藤 亮

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) Ryo Sato: Integrating two dynamic models of business-logistics plant, in Pichler, F., Moreno Diaz, M., and Kopacek, P. (Eds.), Computer Aided Systems Theory - EUROCAST '99, Lecture Notes in Computer Science, vol. 1798, pp 259-273, Springer, 2000.
 - 2) 佐藤亮・蔡東倫：MRPで計画管理するビジネスプロセスの動的特性解析について，経営情報学会2000年秋季全国研究発表大会予稿集、pp98 - 101, 2000.
 - 3) 佐藤亮・蔡東倫：e-Business とサプライチェーンマネジメントの分析設計のための工学的な基礎概念と展開、システム・情報部門シンポジウム2000講演論文集，計測自動制御学会，pp217 - 222, 2000.
 - 4) 佐藤亮：組織制御装置としての情報システムの統合機能とその設計—計算数理組織論的アプローチ—，第22回計測自動制御学会システム工学部会・知能工学部会共催研究会「社会組織のマルチエージェントシステム分析」講演論文集，計測自動制御学会，pp118 - 127, 2001.
 - 5) 平野雅章・佐藤亮：ERP公開教材の評価、経営情報学会2001年春季全国研究発表大会予稿集、pp193- 196, 2001.
 - 6) TungLun Tsai, Ryo Sato: The comparison of safety lead time and safety stock in MRP system, 経営情報学会2001年春季全国研究発表大会予稿集、pp215-218, 2001.
 - 7) 佐藤亮・蔡東倫：生産とロジスティクスの統合スケジューリング、経営情報学会2001年春季全

国研究発表大会予稿集、pp268- 271, 2001.

- (2) 学会活動
 - 1) PACIS2002 (東京) アジア情報システム国際会議実行委員会委員
 - 2) AIS 2002 (ポルトガル) シミュレーション国際会議組織委員会委員
 - 3) 経営情報学会誌論文編集委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2) 「統合情報システムを利用したビジネスプロセスの時間特性分析法」 (研究代表者)
- (4) その他
 - 1) 経営情報学会2000年度論文賞
佐藤亮「ビジネスプロセスの制御システムについて」 (経営情報学会誌、8 - 1、pp17 - 28、1999) に対して。

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 経営工学概論 経営情報システム (講義及び演習) (社会工学類)
 - 2) 情報科学演習 情報システム論 (経営・政策科学研究科：筑波地区)
 - 3) 情報システム特論 情報科学演習 (システム情報工学研究科)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類カリキュラム委員長、経営政策科学運営委員

III. 社会的活動

- 1) SAPジャパンHigher Learning Initiative委員

鈴木 久敏

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 「WWW環境を利用したビジネスゲーム開発ツール」, (共著) 教育システム情報学会誌 17(3), pp.339-348 (2000, 10月)
- (2) 学会活動
 - 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー 無任所理事、表彰委員、OR企業事例交流会企画委員
 - 2) 日本経営工学会 レフェリー委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 文部省科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) 「高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発」 (研究代表者)
 - 2) 文部省科学研究費補助金基盤研究 (B) (1) 「BOT方式による発展途上地域における広域インフラストラクチャー整備に関する研究」 (研究代表者)

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
経営・政策科学研究科経営システム科学専攻(修士課程)
 - 1) ビジネス・ゲーム
 - 2) 最適化基礎
 - 3) 経営システム科学 I
 - 4) オペレーションズ・リサーチ演習
 - 5) 最適化モデル輪講 I -III
 - 6) 経営システム科学特別研究 I -IV経営・政策科学研究科企業科学専攻(博士課程)
 - 1) 経営科学総論
 - 2) 経営科学総論

- 3) システムズ・マネジメント特別演習 I-III
- 4) システムズ・マネジメント講究 I-V
- (2) 役職・各種委員
 - 1) ビジネス科学研究科開設準備委員会委員長
 - 2) 医療関係委員会委員
 - 3) 大学研究センター運営委員
 - 4) 企画調査室委員
 - 5) 衛星通信大学間ネットワーク事業実施委員会委員
 - 6) 衛星通信大学間ネットワーク事業実施委員会大塚地区部会長
 - 7) 修士(経営学)、修士(経営システム科学)論文審査委員会委員
 - 8) 経営・政策科学研究科企業科学専攻:コース代表、運営委員
 - 9) 博士(経営学)、博士(システムズ・マネジメント)論文審査委員会委員
- (3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)
 - 1) 東海大学工学部非常勤講師 (ロジスティック工学)
 - 2) 東海大学工学研究科非常勤講師 (システム工学特論 I, II)

III. 社会的活動

- 1) 「社会人向け夜間大学院の役割」, 広島大学社会科学部マネジメント専攻新設記念シンポジウム「社会人向け夜間大学院の現状と将来」, pp.3-12 (2000, 10月)

高木 英明

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) S. Kudoh, H. Takagi, G. Hamada, and F. Kubota, Self-Similarity of Compressed Video Traffic in ATM Networks, Electronics and Communications in Japan, Part 1: Communications, Vol.83, No.6, pp.108-116, 2000, Scripta Technica.
 - 2) N. Kawasaki, H. Takagi, Y. Takahashi, S.-J. Hong, and T. Hasegawa, Waiting Time Analysis of M[X]/G/1 Queues with/without Vacations under Random Order of Service Discipline, Journal of the Operations Research Society of Japan, Vol.43, No.4, pp.455-468, December 2000.
 - 3) N. Kawasaki, H. Takagi, Y. Takahashi, S.-J. Hong, and T. Hasegawa, Waiting Time Analysis for M[X]/G/1 Priority Queues with/without Vacations under Random Order of Service Discipline, Journal of Applied Mathematics and Stochastic Analysis, Vol.13, No.4, pp.365-392, Winter 2000.
 - 4) R. M. Rodriguez-Dagnino, G. Hernandez-Lozano, and H. Takagi, Wireless Handover Distributions in Mixed Platforms with Multimedia Services, SPIE International Symposium on Information Technologies 2000, Internet Performance and Control, Vol. 4211, pp.59-69, Boston, Massachusetts, November 6-7, 2000.
 - 5) T. Norimatsu and H. Takagi, Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus, Performance and QoS of Next Generation Networking, pp.359-373, K. Goto, T. Hasegawa, H. Takagi, and Y. Takahashi (editors), Springer-Verlag, 2001. Proceedings of the International Conference on the Performance and QoS of Next Generation Networking, P&QNet2000, Nagoya, Japan, November 27-30, 2000, Springer-Verlag, 2001.
 - 6) M. Ohmikawa and H. Takagi, Call Loss Probabilities in CDMA Cellular Mobile Communication Networks, Electronics and Communications in Japan, Part 2: Electronics, Vol.84, No.1, pp.11-20, 2001, Scripta Technica.
 - 7) (編書) K. Goto, T. Hasegawa, H. Takagi, and Y. Takahashi (editors), Performance and QoS of Next Generation Networking. Springer-Verlag, 2001 (ISBN: 1-85233-372-3).
 - 2) 1) 以外の論文など
(査読のないproceedings、商業誌の論文、ディスカッションペーパーを含む)
 - 1) T. Norimatsu and H. Takagi, Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus (IEEE 1394シリアルバスの性能評価), 電子情報通信学会, Technical Report of IEICE, CQ2000-22, TM2000-20 (信学技報), pp.43-48, 新潟大学, 2000年7月13-14日.
 - 2) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, Optimal Wavelength Converter Placement in Optical Networks by a Genetic Algorithm, 「情報通信ネットワークの新しい性能評価法に関する総合的研究」シンポジウム報文集, pp.40-49, けいはんなプラザ, 京都府精華町, 2001年1月22-24日.

- 3) M. Ohmikawa and H. Takagi, Optimal Call Admission Control for Voice and Data Traffic in Mobile Communication Networks, 「情報通信ネットワークの新しい性能評価法に関する総合的研究」シンポジウム報文集, pp.179-188, けいはんなプラザ, 京都府精華町, 2001年1月22-24日.
 - 4) 山本哲生, 北島宗雄, 高木英明, 張勇兵, Markov連鎖を用いたウェブナビゲーション過程の評価, 「情報通信ネットワークの新しい性能評価法に関する総合的研究」シンポジウム報文集, pp.189-198, けいはんなプラザ, 京都府精華町, 2001年1月22-24日.
 - 5) R. M. Rodriguez-Dagnino, J. J. Ruiz-Cedillo, and H. Takagi, Dynamic Mobility Management for Cellular Networks: A Delayed Renewal Process Approach (セルラ移動体通信網における動的位管理: 遅延再生過程理論の応用), 電子情報通信学会, Technical Report of IEICE, IN2001-24 (信学技報 Vol.101, No.123), pp.55-62, 群馬県桐生市市民文化会館, 2001年6月22日.
 - 6) 五百井俊宏・井沢澄雄・木野泰伸・西山寛志・布川薫・左瀧学・高木英明, プロジェクトマネジメント教育のカリキュラム, 第I部: 大学及び初等教育, プロジェクトマネジメント学会誌, 第3巻第3号, pp.49-54, 2001年6月.
 - 7) T. Sawano, Y. Zhang, and H. Takagi, A Load Balancing Facility Using Aglets, a Java-based Mobile Agent System, Discussion Paper No. 898, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, February 2001.
 - 8) M. Ohmikawa and H. Takagi, Optimal Call Admission Control for Voice and Data Traffic in Mobile Communication Networks, Discussion Paper No. 901, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, February 2001.
 - 9) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, Optimal Wavelength Converter Placement in Optical Networks by Genetic Algorithm, Discussion Paper No. 920, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, April 2001.
 - 10) R. M. Rodriguez-Dagnino, J. J. Ruiz-Cedillo, and H. Takagi, Dynamic Mobility Management for Cellular Networks: A Delayed Renewal Process Approach, Discussion Paper No. 927, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, May 2001.
 - 11) H. Takagi, M. Kitajima, T. Yamamoto, and Y. Zhang, Search Process Evaluation for a Hierarchical Menu System by Markov Chains, Discussion Paper No. 929, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, May 2001.
 - 12) 書評 Winfried K. Grassmann (editor), Computational Probability, Kluwer Academic Publishers, 2000, オペレーションズ・リサーチ, Vol.45, No.12, pp.672-674, 2000年12月.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
- 1) 講演 Traffic and Geometric Models of Cellular Mobile Networks, 東国大学校情報産業大学, 韓国ソウル市, 2000年3月2日.
- (2) 学会活動
- 1) 国際会議 International Conference on the Performance and QoS of Next Generation Networking (2000年11月27-30日, 名古屋), 共同組織者.
 - 2) 国際会議 Conference on Internet Performance and Control of Network Systems, SPIE's International Symposium on Information Technologies 2000, Photonics East 2000, November 5-8, 2000, Boston, Massachusetts, プログラム委員.
 - 3) 国際会議 Conference on Internet Performance and Control of Network Systems II, SPIE's International Symposium on The Convergence of Information Technologies and Communications, ITCOM 2001, August 20-24, 2001, Denver, Colorado, プログラム委員.
 - 4) 国際会議 The 2001 Internet Performance Symposium (IPS 2001), A Symposium of Globecom 2001, November 25-29, 2001, San Antonio, Texas, プログラム委員.
 - 5) 学術論文誌 Performance Evaluation (Elsevier) 編集委員.
 - 6) 学術論文誌 Queueing Systems (Balzer) 編集委員.
 - 7) 電子情報通信学会 ソサイエティ論文誌編集委員会, 査読委員.
 - 8) 電子情報通信学会 通信ソサイエティ テレコミュニケーションマネジメント研究専門委員会, 専門委員.
 - 9) プロジェクトマネジメント学会(任意団体) 研究委員会委員, PM基礎研究会主査.
- (3) 研究助成など
- 1) 平成12年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 課題番号 11650407
研究課題「シームレス情報通信網の設計と性能評価のための通信トラヒック解析」(1,000千円).

(4) 受賞

- 1) Certificate of Appreciation, IEEE Communications Society, October 2000.

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類 数理解析II
応用確率過程
2) システム情報工学研究科 応用確率過程特論
3) 経営・政策科学研究科 情報ネットワーク
4) 総合科目 経営の科学

(2) 役職・各種委員

- 1) 全学 評議員、研究審議会委員
国際交流委員会大学間交流協定専門委員会委員
図書館情報大学・筑波大学統合協議会委員
学群教職課程委員会委員
2) 社会工学系 社会工学系長
3) 社会工学類 運営幹事
2年3クラス担任
学力低下問題検討会委員
第三学群教員会議構成員
4) システム情報工学研究科 運営委員会オブザーバ
5) 経営・政策科学研究科 修論審査委員会委員

谷村 秀彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Indra B. Syamwil and Paul H. Tanimura, "The Spatial Distribution of Japanese Manufacturing Industries in Indonesia", *Review of Urban and Regional Development Science*, 12-2, July 2000, pp.120-136
2) Paul H. Tanimura and D.W. Edgington, "National Level Economic and Spatial Planning in Japan", in *National-level Planning in Democratic Countries: an International Comparison of City and Regional Policy-making*, ed. Rachele Alterman, Liverpool University Press, April 2001

(2) 学会活動

- 1) 環太平洋都市開発会議（PRCUD）、議長
2) 日本建築学会、日本都市計画学会、日本社会情報学会、日本環境科学会、日本計画行政学会、カナダ都市計画学会

(3) 研究助成など

- 1) 科研費（基盤研究、（B）（2））東アジア伝統的都市の現代化における空間制御技術に関する研究、研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学概論及び実習、都市計画入門（社会工学類）
2) 都市施設計画特論（環境科学研究科）
3) 都市計画理論特講（システム情報工学研究科）

(2) 役職・各種委員

- 1) 第三学群長
2) 評議員
3) 人事委員会委員
4) 財務委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 土浦市第六次総合企画審議会会長

- 2) つくば市及び茎崎町合併協議会委員
- 3) 文部省工学視学委員会主査

椿 広計

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書、査読付き論文

- 1) 椿広計(2000)5章3節「欠測値とその補完」,松田芳郎、伴金美、美添泰人編、マイクロ統計の主集計解析と技法、講座マイクロ統計分析②、280-283,日本評論社.
- 2) 椿広計(2000)6章2節3項「S-plus」,松田芳郎、伴金美、美添泰人編、マイクロ統計の主集計解析と技法、講座マイクロ統計分析②,343-357,日本評論社.
- 3) Miyazaki, K. and Tsubaki, H.(2001) Panel Data Analysis of Japanese Government Bond Market: CIR Model and Vasicek Model, The Journal of Fixed Income, Vol.10 No.4, 41-50.

2) その他の論文

- 1) 椿 広計(2000)クオリティマネジメントの発展、臨床評価、28巻1号、77-96.

3) 国際学会発表、国内招待講演

- 1) Tsubaki, H. and Tsubaki, M.(2000) The Analysis of Virtual Data, 7th Japan-China Symp. on Statistics.
- 2) 椿広計(2001)基調講演「多変量解析新世紀へ」,第24回多変量解析シンポジウム発表要旨、1-10.
- 3) 椿広計(2001)特別講演「探索的層別分析の光と陰」, 応用統計学会・日本計量生物学会2001年度合同年次大会講演予稿集、67-78.

(2) 学会活動

- 1) 応用統計学会庶務理事, 地方区評議員, 編集委員.
- 2) 日本計量生物学会理事.
- 3) 日中統計シンポジウム組織委員, プログラム委員.
- 4) 日本品質管理学会代議員, 標準化委員会委員
- 5) The 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics, 国内組織委員、国際プログラム委員.

(3) 委任経理金

- 1) 富士通FIP

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 多変量解析第1, 第2 (経営・策科学研究科)
- 2) 統計モデル (経営・策科学研究科)
- 3) 統計的方法とその応用 (経営・策科学研究科)

(2) 役職・各種委員

- 1) 教育図書委員
- 2) 大塚地区施設・設備WG

(3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)

- 1) 東京大学工学部計数工学科非常勤講師「応用統計学」

III. 社会的活動

- 1) 国立環境研究所客員研究員(ILASサイエンティスト・チーム)
- 2) 統計審議会調査技術開発部会専門委員
- 3) 医薬品副作用救済機構治験相談臨時顧問
- 4) 骨粗鬆症治療による骨折予防に関する試験倫理モニタリング委員会委員長
- 5) 国際標準化機構第207専門委員会「環境マネジメント」第6小委員会「環境マネジメント用語」エキスパートメンバー.

寺野 隆雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文・査読つき国際会議

- 1) Setsuya Kurahashi, Takao Terano: A Genetic Algorithm with Tabu Search for Multimodal and Multiobjective Function Optimization. Proc. The Genetic and Evolutionary Computation Conference (GECCO-2000), pp. 291-298, 2000.
- 2) Eiji Murakami, Takao Terano: Dynamic Collaborative Filtering by Learning Classifier Systems. World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics Proceedings (Proc. SCI-2000), Vol. III, pp. 276-281, 2000.
- 3) Takao Terano: Analyzing Social Interaction in Electronic Communities Using an Artificial World Approach. Int. J. on Technological Forecasting and Social Change, Vol. 64, pp. 13-21, 2000.
- 4) Takao Terano, Eiji Murakami: Finding Users' Latent Interests for Recommendation by Learning Classifier System. Proc. 4th Int. Conf. on Knowledge-Based Intelligent Engineering Systems & Allied Technologies (KES-2000), pp. 651-654, 2000.
- 5) Yasuo Hirooka, Takao Terano, Yukichi Otsuka: Extending Content-Based Recommendation by Order-Matching and Cross-Matching Methods. K. Bauknecht, S. K. Madria, G. Pernul (eds.): Electronic Commerce and Web Technologies (1st Int. Conf. EC-Web 2000), Springer LNCS 1875, pp. 177-190, 2000.
- 6) Takashi Ishikawa, Masayuki Numao, Takao Terano: Using Domain Knowledge in ILP to Discover Protein Functional Models. R. Mizoguchi, J. Slaney (eds.): PRICAI 2000 Topics in Artificial Intelligence (6th Pacific Rim Int. Conf. on AI), Springer LNAI 1886, pp. 83-92, 2000.
- 7) 白井宏明, 藤森洋志, 久野靖, 鈴木久敏, 寺野隆雄: WWW環境を利用したビジネスゲーム開発ツール. 教育システム情報学会誌, Vol. 17, No. 3, pp. 339-348, 2000.
- 8) 寺野隆雄, 倉橋節也: エージェントシミュレーションによる社会的インタラクションの分析. 組織科学, Vol. 34, No. 2, pp. 23-35, 2000.

2) 1)以外の論文など

- 1) Takao Terano, Yasuo Hirooka, Yukichi Otsuka: Fitting or Changing Customers' Interests: Alternative Approach to a Content-Based Recommendation System. Int. Conf. on Advances in Infrastructure for Electronic Business, Science, and Education on the Internet (SSGRR-2000), CD-ROM 6 (Abstract: p. 77), 2000.
- 2) 寺野隆雄, 倉橋節也: エージェントシミュレーションと人工社会・人工経済. 人工知能学会誌, Vol. 15, No. 6, pp. 966-973, 2000.
- 3) 出口弘, 和泉潔, 塩沢由典, 高安秀樹, 寺野隆雄, 佐藤浩, 喜多一: 座談会:「人工市場を研究する社会的および学問的意義」. 人工知能学会誌, Vol. 15, No. 6, pp. 966-973, 2000.
- 4) キャサリン M. カーリー, (寺野隆雄訳): 社会システム・組織システムの計算論的分析. 組織科学, Vol. 34, No. 2, pp. 4-10, 2000.

3) 査読なし学会発表

- 1) 寺野隆雄(他): シミュレーションと現実 -AIの新たな課題を求めて-人工知能学会全国大会(第14回)論文集, p. 38, 2000.
- 2) 元田浩, 鈴木英之進, 寺野隆雄(他): 第4回太平洋アジア地域知識発見とデータマイニング国際会議の報告. 人工知能学会全国大会(第14回)論文集, pp. 84-86, 2000.
- 3) 寺野隆雄, 村上英治: ICカードシステムむけ協調フィルタリング方式とその評価. 人工知能学会全国大会(第14回)論文集, pp. 129-132, 2000.
- 3) 高玉圭樹, 寺野隆雄, 下原勝憲: Interpretation by Implementation - マルチエージェント設計への試み- 人工知能学会全国大会(第13回)論文集, pp. 571-574, 1999.
- 4) 幡鎌博, 寺野隆雄: 組織の知識共有と適応のダイナミクス 経営情報学会2000年秋期全国研究発表大会. pp. 264-267, 2000.
- 5) 高田雅好, 寺野隆雄: 制約指向のPS版生産計画システム- プッシュからプルへの転換を目指して -. スケジューリング・シンポジウム2000. pp. 50-55, 2000.
- 6) 倉橋節也, 寺野隆雄: エージェントシミュレーションによる共同分配規範モデル. 電子情報通信学会「ソフトウェアエージェントとその応用特集ワークショップ(SAA2000)講演論文集, pp. 241-248, 2000.
- 7) 谷口憲, 倉橋節也, 寺野隆雄: エージェントに基づくサプライチェーンモデル. 情報処理学会研究報告(知能と複雑系研究会), 2001-ICS-123, Vol. 2001, No. 1, pp. 109-114, 2001.
- 8) 勝又勇治, 倉橋節也, 寺野隆雄: BOAとタブーリストを利用したハイブリッドGAの提案. 人工知能

学会知識ベースシステム研究会(第51回)SIG-KBS-A004, pp. 77-82, 2001.

- 9) 佐藤浩, 松井啓之, 小野功, 喜多一, 寺野隆雄: オープン型人工市場におけるエージェントの戦略と市場の挙動 (Pre U-Mart2000実施報告). 計測自動制御学会第13回自律分散システム・シンポジウム資料, pp. 203-208, 2001.
 - 10) 出口弘, 寺野隆雄, 車谷浩一, 湯澤太郎: バーチャル経済シミュレーションの基本構想. 計測自動制御学会第13回自律分散システム・シンポジウム資料, pp. 209-214, 2001.
 - 11) 出口弘, 寺野隆雄, 車谷浩一, 湯澤太郎, 橋本重治, 辛島昭男, 松井啓之, 兼田敏之: バーチャル経済多主体複雑系ゲームの開発. システム工学部会・知能工学部会 共催研究会 (社会組織のマルチエージェントシステム分析) 資料, pp. 21-26, 2001.
 - 12) 高玉圭樹, 寺野隆雄, 下原勝憲: エージェント・ベースド・シミュレーションに埋め込まれた鍵は可視化できるのか? システム工学部会・知能工学部会共催研究会 (社会組織のマルチエージェントシステム分析) 資料, pp. 107-112, 2001.
 - 13) 村上英治, 寺野隆雄: インターネット上の会話文からの知識獲得. 計測自動制御学会第28回知能システム・シンポジウム資料, pp. 325-330, 2001.
 - 14) 谷口憲, 倉橋節也, 寺野隆雄: 遺伝的プログラミングによる適応機能をもつエージェント指向サプライチェーンモデル. 計測自動制御学会第28回知能システム・シンポジウム資料, pp. 251-256, 2001.
 - 15) 勝又勇治, 倉橋節也, 寺野隆雄: タブーリストを利用したベイジアン最適化手法の改良. 計測自動制御学会第28回知能システム・シンポジウム資料, pp. 153-158, 2001.
 - 16) 河野仁志, 寺野隆雄: 対話型進化計算法による漢字練習問題生成システムの開発. 計測自動制御学会第28回知能システム・シンポジウム資料, 2001.
 - 17) 白川貴久, 寺野隆雄: 対話型進化計算と遺伝的アルゴリズムの融合手法の提案. 計測自動制御学会第28回知能システム・シンポジウム資料, 2001.
- (2) 学会活動等
- 1) 人工知能学会: 全国大会プログラム委員長, 理事
 - 2) 計測自動制御学会: 知能工学部会委員, 論文誌編集委員
 - 3) 日本機械学会: RC155プラントエンジニアリングにおける知的統合システム化技術研究分科会委員
 - 4) 経営情報学会: 学会誌編集委員長, 理事
 - 5) 社会情報学会: 学会誌編集委員
 - 6) 電子情報通信学会: 人工知能と知識処理研究会委員,
 - 7) 第5回 PAKDD2001 (Pacific-Asian Conference on Expert Systems) プログラム委員
- (3) 研究助成など
- 1) 基盤研究(C)「創発的計算と機械学習理論による情報ネットワーク社会モデルへの接近」研究代表者

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
- 夜間修士課程経営・政策科学研究科経営システム科学専攻
- 1) 人工知能
 - 2) 特別演習
 - 3) 特別研究
- 夜間博士課程企業科学専攻
- 1) 分散知能論
- (2) 役職・各種委員
- 1) 夜間博士課程企業科学専攻・教務担当; 入試委員
- (3) 他大学における教育活動
- 1) 東京工業大学 非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 情報処理開発協会・未踏ソフトウェア開発事業・研究員

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 査読つき論文

- 1) A Theoretical Analysis of Conferences and Strategic Alliances in Liner Shipping 2000年11月 Review of Urban & Regional Development Studies Vol.12, No.3, pp.228-249.
- 2) 中国における港湾システムの技術効率性の計測—DEA (Data Envelopment Analysis) 手法の応用— 2001年3月 交通学研究/日本交通学会2000年研究報告 pp.103-112.
- 3) 日本における生産・消費構造と港湾取扱需要—産業連関分析・消費内生モデルの応用— 共著 2001年3月 港湾経済研究 (日本港湾経済学会第39回全国大会研究発表年報) pp.72-85.
- 4) 常陸那珂港を活用した北関東地域の物流効率化実現 2001年3月 日本物流学会誌 pp77-84.
- 5) EU統合とユーロ導入による欧州物流業の変化 2001年3月 日本物流学会誌 pp.13-20.

2) 1) 以外の論文など

- 1) 日本における生産・消費構造と港湾取扱需要—産業連関分析・消費内生モデルの応用— 2000年8月 (財)国際東アジア研究センター、Working Paper Series、Vol.2000-13
- 2) 中国グレート渤海経済地域における産業構造と港湾需要—産業連関分析・消費内生モデルの応用— 2000年9月 (財)国際東アジア研究センター Working Paper Series、Vol.2000-17
- 3) 物流、在庫管理と企業立地—中間点立地の可能性— 2000年10月 流通経済大学流通情報学部紀要 Vol.5、No.1 (通巻8)

3) 口頭発表

- 1) 日本物流学会研究発表大会発表
- 2) 日本交通学会研究発表大会、同関東部会発表
- 3) 環太平洋産業連関分析学会研究発表大会発表
- 4) 日本港湾経済学会研究発表大会発表
- 5) 応用地域学会研究発表大会発表

(2) 学会活動

- 1) 応用地域学会運営委員、研究発表大会実行委員長
- 2) 日本交通学会評議員、学会賞審査委員
- 3) Guest Editor, Review of Urban and Regional Development Studies

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究 (C) (2)、外航定期船産業におけるグローバル・アライアンス及び海運同盟の経済評価と今後の政策、研究代表者。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 地域経済学 社会工学類
- 2) 交通経済学 社会工学類
- 3) 地域科学演習 I 社会工学類
- 4) 地域科学演習 III 社会工学類
- 5) 地域経済学 経営・政策科学研究科 (筑波地区)
- 6) 交通経済政策論 経営・政策科学研究科 (筑波地区)
- 7) 交通経済学特論 システム情報工学研究科 (社会システム工学専攻)

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系、社会工学研究科、社会工学類の各運営委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県港湾審議会委員
- 2) 国際協力事業団支援委員会委員
- 3) 国土交通省、NIRA、日本港湾協会等各種調査・研究委員会の座長・委員

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文
 - 1) Nakamura, Yutaka (2000) Threshold models for comparative probability on finite sets, Journal of Mathematical Psychology, vol. 44, 353-382.
- 2) 査読のない論文など
 - 1) Nakamura, Yutaka (August, 2000) Totally convex preferences for gambles. IPPS discussion Paper No. 879.
 - 2) Nakamura, Yutaka (August, 2000) Lexicographic quasilinear utility. IPPS discussion Paper No. 880.
 - 3) Nakamura, Yutaka (January, 2001) Proportionally augmented invariance and probability weighting functions. 科学研究補助金（基盤研究C）研究成果報告書『状況的な判断と意思決定モデルの実験研究とその計量モデル・数理モデル・表現定理の解明』（研究代表者 竹村和久）
 - 4) Nakamura, Yutaka (May, 2001) Semimetric thresholds for finite posets. IPPS discussion Paper No. 922.

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 微分積分学、計画数理（社会工学類）
- 2) 意思決定論、都市地域演習Ⅱ（経営・政策科学研究科）
- 3) 決定と不確実性特論（システム情報工学研究科）

(2) 各種委員

- 1) 施設委員（社会工学系）
- 2) 入試実施委員（社会工学類）
- 3) 入試実施委員、カリキュラム委員（経営・政策科学研究科）
- 4) SCS事業実施委員（学群）

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Hashida and H. Sakata, "Chapter 26: Client/Server Technology", in G. Salvendy(Ed.), Handbook of Industrial Engineering: Technology and Operations Management, John Wiley & Sons, May 2001, pp.710-736

(2) 学会活動

- 1) 国際的論文誌Naval Research Logistics誌のAssociate Editor

II . 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻
情報ネットワーク、シミュレーション、特別研究
- 2) 経営・政策科学研究科企業科学専攻
情報セキュリティマネジメント、組織情報ネットワーク論、システムズ・マネジメント講究

(3) 他大学における教育活動

非常勤講師

- 1) 東京理科大学理工学部
電気通信工学Ⅰ
- 2) 東京情報大学経営情報学部および同大学院
オペレーションズ・リサーチ、オペレーションズ・リサーチ特論

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 橋本昭洋, DEAによる野球打者の評価. OR事典2000 (日本オペレーションズ・リサーチ学会編, CD-ROM), 事例編, 2000.

- (2) 学会活動
- 1) セミナー講演 「DEAによる非画一的評価」 三菱総研生活環境研究本部
 - 2) 討論者 原田・塩津「市町村合併の実証分析」 応用地域学会第14回研究発表大会

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
- 1) 社会工学類 意思決定分析, 社会経済実習
 - 2) 経営・政策科学研究科 システム評価決定論, 数理計画実習
 - 3) システム情報工学研究科 システム評価特論
- (2) 役職・各種委員
- 1) 社会工学系 図書委員長
 - 2) 社会工学研究科 図書委員
 - 3) 経営・政策科学研究科 新コース準備運営委員, 総務委員長
 - 4) 社会工学類 入試実施副委員長, 就職委員, クラス担任
- (3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)
- 1) 図書館情報大学非常勤講師 数理計画法

III. 社会的活動

- 1) 自治大学校第1部講師 公共政策のための評価手法

藤原 良叔

I. 研究活動

(1) 研究業績

論文

- 1) Optical orthogonal codes: their bound and new optimal constructions, (with Y. Miao) IEEE Transactions on Information Theory, Vol. 46, No.7, (2000) pp. 2396-2406
- 2) Directed $B(K,1,v)$ with $K=\{4,4\}$ and $\{4,6\}$ Related to Deletion/Insertion-Correcting Codes, (with Y. Miao and J. Yin) Journal of Combinatorial Design 9,147-156 (2001)

講演

- 1) (T,M,S)-nets from twisted cubics in $PG(3,q)$, 京都大学数理解析研究所研究集会「Code, Design, Graph and their Link II」, 7月27-30日
- 2) Combinatorial Problems on Frequency Hopping Communications International Workshop on Combinatorics (兼、第12回日本-フランス組合せ論ワークショップ)
- 3) Berkley Workshop と実験計画の今後の展望, 研究集会「実験計画とその周辺における手法の開発とその応用」, 広島大学, 11月13-15日
- 4) 金融工学と組合せ理論, 研究集会「実験計画における組合せ構造とその応用 - VIII」倉敷国際学術交流センター, 12月15-16日,

学会活動

- 1) Foundation Fellow: Institute of Combinatorics and its Applications
 - 2) Editorial Board: Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing, Winnipeg, Canada
 - 3) 京都大学数理解析研究所研究集会「Code, Design, Graph and their link II」提案者
- (3) 研究助成など
- 1) 受託研究「家電ネットワークの規格化に関する研究」
 - 2) 科学研究費補助 (C) (2) 「代数曲線を用いた組合せ的配列やブロック・デザインの構成に関する研究」
 - 3) 科学研究費補助 (B展開研究) (2) 「デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
- 1) 社会工学類 社工情報処理実習 3
 - 2) 社会工学類 シミュレーション
 - 3) 社会工学類 経営工学実習

- 4) システム情報工学研究科 情報離散数学
- 5) 経営・政策科学研究科 経営工学演習II

古川 俊一

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書

- 1) 『行政の危機管理システム』(共著：中邨章、谷藤悦史、西尾隆、橋本信之、古川俊一、弓崎伸彦、浅野一弘) 執筆分：第6章「政府・地方自治体間の相互援助体制と市民・企業の連携」中央法規、2000年、pp. 129-168.
- 2) 『行政評価の潮流—参加型評価システムの可能性』(共著：西尾勝、古川俊一、山谷清志、武智秀之、高橋滋、武藤博巳) 執筆分：第2章「市民参加と評価—制度化の課題」財団法人 行政管理研究センター、2000年、pp. 39-76.

2) 査読のない論文など

- 1) 「自治体と政策評価」『ECO-FORUM』19巻3号、財団法人 統計研究会、2000年11月、pp. 9-15.
 - 2) 「政策評価の導入について」(共著、今村都南雄、河中二講)『自治研究』76巻(2000年)12号、pp. 40-81.
 - 3) 「公営企業と公共部門改革—真の経営とは何か」『公営企業』2000年12月号、pp. 11-19.
 - 4) 「評価と市町村の行政」『国際文化研修』30号、2001年1月、pp.10-17.
 - 5) 「ガバナンス・財政責任・公共経営—地方財政改革の視点」『地方財政』2001年2月号、pp.4-9.
 - 6) 「地方分権来し方行く末」『地方自治』2001年4月号、pp.2-17.
 - 7) 「分権時代の行政評価の進めかた」『地方自治職員研修』2000年8月号、pp. 24-27.
 - 8) 「政策評価と自治体」『ECO-FORUM』19巻3号、2000年11月、pp.9-15.
 - 9) 「自治体での評価の導入と課題」『地方議会人』2001年5月号、pp.12-16.
 - 10) 「自治体評価の可能性と陥穽」日本評価学会第1回研究大会、東京工業大学、2001年2月18日、概要集、pp.173-180.
- #### 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
- 1) 「政策評価の概念・類型・課題」同志社大学人文科学研究所第9研究(行政改革の現代的位相—省庁再編、地方分権、公・共・私関係を中心として—)第1回研究会、同志社大学人文科学研究所、2000年7月1日.
 - 2) "Knowledge-Based Governance by Performance Measurement: Beyond the New Public Management" (co-authored with Hoshino Hiroaki), American Society for Public Administration, Newark, New Jersey, USA, March 12, 2001.
 - 3) "Challenges to Japan's Decentralization Strategy: How Far Have We Come and Where Are We Going?" A paper presented as the seminar on "The Transformation of Japanese Communities and the Emerging Agenda" Sponsored by the Japan Center for International Exchange and the Public Policy Institute of California, San Francisco, March 19-20, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 日本評価学会学会誌編集常任委員

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 地方行財政論(社会工学類、経営・政策科学研究科)
- 2) 社会システム論(社会工学類)
- 3) 公共政策評価論(経営・政策科学研究科)
- 4) 比較行政システム特論(システム情報工学研究科)

(2) 役職・各種委員

- 1) 経営・政策科学研究科入試実施委員
- 2) 経営・政策科学研究科就職委員会委員

- 3) 経営・政策科学研究科公務員関係小委員長
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 学習院大学法学部非常勤講師（自治体政治行政論）
 - 2) 慶應大学法学部非常勤講師（行政学特論Ⅰ・Ⅱ）

Ⅲ．社会的活動

（公職）

- 1) 自治省（1月6日より総務省）「行政評価研究会」委員（座長）
- 2) 茨城県「行財政改革推進懇談会」委員
- 3) 茨城県「公共事業再評価委員会」委員、
- 4) 柏市総合計画審議会委員（市民・生活部会座長）

星野 靖雄

Ⅰ．研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「金融機関の合併：信用金庫と銀行の場合」、COFIS研究会レポート Vol. 4、全国信用金庫協会、平成12年7月、22-36頁。
- 2) 「分社制と事業部制における社会的業績評価指標が財務的業績に及ぼす効果」日本経営学会誌、第6号、2000年12月、17-30頁（星法子、門田安弘共著）。
- 3) 「銀行の合併効果」、『M&A 21世紀・2 バリュースタイル経営のM&A投資』、中央経済社、平成13年5月、201-222頁。
- 4) *Productivity and Operating Performance of Japanese Merging Firms: Keiretsu-related and Independent Mergers* with Yeh Tsung-Ming, University of Tsukuba, Institute of Policy and Planning Sciences, Discussion Paper Series No. 924, May 2001, pp. 1-36.
- 5) *Ownership Structure, Board, Bank Control and Shareholders' Wealth: From Evidence of Japanese Acquirers* with Yeh Tsung-Ming, 2001年6月2-3日、日本ファイナンス学会第9回大会 予稿集、pp.182-196.
- 6) *Effects of Ownership and Internalization Advantages on Performance: The Case of Japanese Subsidiaries in the United States and Latin America* *Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies*, with Cristian Vega-Cespedes, Vol.4 No.1, 2001, pp 69-94.
- 7) *Firm-specific Factors, Shareholding Structure and Corporate Performance of the Japanese Manufacturing Investment in Europe* *Japanese Journal of Administrative Science*, with Mourad Mansour, Vol.4 No.3, 2001, pp.117-127.
- 8) 星野靖雄、「日本の大学における国際化の虚と実」西村和雄・岡部恒治・戸瀬伸之編『算数ができない大学生』、東洋経済新報社、2001年4月、267-280頁。

(2) 学会活動等

- 1) *The Japanese Economy*誌の諮問委員会の委員として編集活動にあたった。
- 2) *Journal of Financial Management and Analysis: International Review of Finance, Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies*, 経営行動科学誌（常任編集委員）の編集委員会の委員として編集活動にあたった。
- 3) 経営行動科学学会経営国際化担当研究部長
- 4) 国際ビジネス研究学会幹事

Ⅱ 教育・業務活動

(1) 担当講義

（社会工学類） 経営管理論 日本の経済・経営
 （経営・政策科学研究科：筑波地区） 経営管理論
 （経営・政策科学研究科：大塚地区） 経営学特論
 （システム情報工学研究科） コーポレートファイナンス特論

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学類予算委員

- 2) 経営・政策科学研究科図書委員
 - 3) 社会工学系教育機器センター運営委員
 - 4) 社会工学系予算委員長
- (3) 非常勤講師
- 1) 東京家政学院筑波女子大学国際学部国際ビジネス論・短期大学部経営学総論担当
 - 2) 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営戦略論担当
 - 3) 法政大学社会科学部国際経営論

Ⅲ. 社会的活動

- 1) 茨城県立竹園高等学校 PTA会長
- 2) COFIS(Community Financial Service)研究会委員

松尾 博文

Ⅰ. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー
 - 1) "A Mini-Line Approach for Pull Production, " (co-authored with R. Ahmadi), European Journal of Operational Research, Vol. 125, 2000, 340-358.
 - 2) "オンライン・ショッピングシステムで収集したブラウジングデータに基づく、顧客の製品選好度推定の一方法," (共著、小野俊之)、電気学会論文誌C, Vol. 120-C, No. 8/9, 2000, 1230-1235.
 - 3) "Operations Planning in the Presence of Innovation Diffusion Dynamics, " (co-authored with M.A. Cohen and T.H. Ho). Chapter 10 in New-Product Diffusion Models, edited by V. Mahajan, E. Muller and J. Wind, Kluwer Academic Publishers, 2000.
 - 4) "Human Resource Planning in Knowledge-Intensive Operations: A Model for Learning with Stochastic Turnover, " (co-authored with S. K. Bordoloi), European Journal of Operational Research, Vol. 130, 2001, 169-189.
 - 2) 1)以外の論文など
 - 1) "インターネットを用いたビジネスモデル特許の一分類法" Institute of Policy and Planning Sciences, Discussion Paper Series, No.921.
 - 2) "SCMへの取り組み：米国型，日本型，OR型？" 2000年度日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集，2000，110 - 111.
 - 3) 査読なしの口頭発表，学会による招待講演など
 - 1) "米国にみるSCM戦略のケース：顧客情報とサプライチェーン，" 招待講演，第3期「鉄鋼業のCIM・FA化のためのシステム技術－生産・運用・物流計画問題の新技术」，計測・制御・システム工学部会システムフォーラム，平成12年9月.
 - 2) "Human Resource Planning in Knowledge-Intensive Operations with Stochastic Turnover, " (with S.J. Bordoloi), in an invited session in INFORMS San Antonio, 2000.
- (2) 学会活動
- 1) Area Editor, Production and Operations Management
 - 2) Editorial Board, Manufacturing and Service Operations Management
 - 3) Editorial Board, ECR Journal _ International Commerce Review
 - 4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会「統合オペレーション」特別研究プロジェクト「戦略・マネージメント」研究グループ運営委員
 - 5) 計測自動制御学会 システム工学部会運営委員
 - 6) Co-Guest Editor, 経営情報学会「ビジネスモデル特集号」
 - 7) 学内特別助成研究 (S) の活動として，ビジネスモデルの研究開発に関する研究会として，筑波大学ビジネスモデルプロジェクト (UTBUMP, 代表者松尾博文) を設立する。企業より48名の参加，大学より21名の会員を得る。第1回UTBUMPはKickoff Meetingとして平成12年12月開催，参加者は38名。第2回UTBUMPは「日本におけるECR型ビジネスモデルの可能性とECRスコアカードによるビジネスモデル構築」として平成13年6月に開催，参加者は56名。
- (3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) "サプライチェーンにおける顧客情報に基づく在庫管理システムの構築," 研究代表者
- 2) 奨学寄付金, "サプライチェーンに関する研究", 日立製作所システム開発研究所
- 3) 学内特別助成研究 (S) "高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究," 研究代表者

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 経営工学概論 (社会工学類)
- 2) 生産流通戦略論、経営演習II (経営・政策科学研究科：筑波地区)
- 3) 生産流通情報システム特論 (システム情報工学研究科)

(2) 役職・各種委員

- 1) 経営・政策科学研究科MBAコース担当
- 2) 大学(部局)間交流協定締結校連絡調整責任者：ウィーン経済・経営大学、ザンクト・ガレン大学

(3) 他大学における教育活動

- 1) 招待講演, "米国にみるSCM戦略のケース：顧客情報とサプライチェーン," 電気通信大学, 平成12年6月.
- 2) 招待講演, "米国にみるSCM戦略のケース：顧客情報とサプライチェーン," 早稲大学理工学部, 平成12年11月.
- 3) 招待講演, "Operations and Marketing Interface: Supply and Demand Management," Faculty of Business Administration, National University of Singapore, January 2001.
- 4) 招待講演, "A Method for Classifying Internet-Related Business Model Patents in Japan," Vienna University of Economics and Business Administration, March 2001.

III. 社会的活動

- 1) 研究開発指導, 日立製作所
- 2) 招待講演, "Business-to-Customer ビジネスモデルの本質：サービスコンセプトと顧客情報分析", 平成12年度第1回「次世代経営システム工学研究会」, 社団法人システム総合研究所, 平成12年8月.
- 3) 招待講演, "米国におけるSCMとeビジネスの動向," 第226回 総合システム研究会, 社団法人システム総合研究所, 平成12年10月.

松田 紀之

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Matsuda, N., & Rosa, E.A. (2000) A Close Examination of Cross-Cultural Perceptions about Non-Nuclear Risks by Covariance Structure Analysis. In S.Kondo & K. Furuta (Eds). PSAM5-Probabilistic Safety Assessment and Management, Vol. 3, 1833-1837. Tokyo: Universal Academy Press.
- 2) 松田紀之 (2000) 質的情報の多変量解析 [統計学の良書電子復刻の一貫として, 同名の著書(1988出版, 朝倉書店)の再刻].

(3) その他の研究活動

- 1) 双方向環境における顧客満足把握ソフトの開発 (大成建設株式会社との共同研究).
- 2) 筑波大学「感性評価構造モデル構築特別プロジェクト」運営委員(1997.4.1-2002.3.31)
- 3) 文部省科学研究費 基盤研究 (C) 感性工学 (時限)
[マルチプルアクション型電動車椅子の開発による下肢障害者の運動実感に関する研究]
代表者：筑波大学助教授 芸術学系 蓮見 孝

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 情報行動分析 情報基礎及び実習 (社会工学類)
心理情報分析 行動科学演習1 (経営・政策科学研究科：筑波地区)

- (2) 役職・各種委員
 - 1) 修士課程経営・政策科学研究科長
 - 2) 広報・公開室長
 - 3) 全学情報化推進委員会委員
 - 4) 同ホームページ専門委員会委員長
 - 5) 企画調査室員
 - 6) システム情報工学研究科計量ファイナンス・マネジメント専攻長
 - 7) 社会工学研究科計量ファイナンス・マネジメント専攻運営委員
 - 8) 社会工学類カリキュラム委員長

松本 正雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー
 - 1) Some Ethos and Lessons-learned for Business-Modeling, Proc. Software Interprise Modeling, IEICE, pp.2-8, July 2000.
 - 2) 松本正雄：“e-ビジネス革新” 台風の目はSWIM、電子情報通信学会 Research Report of IEICE, SWIM00-13(2000-9), pp.1-4、2000年9月14日.
 - 3) (共著) 今西徹：情報革命に対応するビジネスモデリング、電子情報通信学会 Research Report of IEICE, SWIM00-18(2000-9),pp.31-37、2000年9月14日.
 - 4) (共著) 岩田祐一：IT産業成長期の財務的視点からのビジネスモデル - ネットビジネスを対象に -、電子情報通信学会 Research Report of IEICE, SWIM00-17(2000-9), pp.24-30、2000年9月14日.
 - 5) (共著) 伊藤伸：起業のための産学連携モデルの実態研究、電子情報通信学会 Research Report of IEICE, SWIM00-19(2000-9), pp.38-45、2000年9月14日.
 - 6) (共著) 片上秀樹：オブジェクト指向フレームワークのホットスポット理解支援系、電子情報通信学会Research Report of IEICE, SWIM00-22(2000-9), pp.63-70、2000年9月14日.
 - 7) (共著) 大熊悟郎：システム開発プロジェクトにおけるシステムラショナルの知財化要因の考察、電子情報通信学会Research Report of IEICE, SWIM00-21(2000-9), pp.57-62、2000年9月14日.
 - 8) 松本正雄：Interprisology研究の勧め、電子情報通信学会、Research Report of IEICE, SWIM00-24(2000-11),pp.1-7、2000年11月10日.
 - 9) Shinkawa, Y., Matsumoto, M. J.: Composing Collaborative Component Systems Using Colored Petri Nets, IEICE Trans. Fundamentals, Vol. E84-A, No.5, pp.1209-1217, May 2001.
- 3) 査読なしの口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 松本正雄：e-ビジネス時代に君たちの将来はあるか、電子情報通信学会総合大会予稿集、2001年3月.

(2) 学会活動

- 1) 国際学会会議出席： International Conference on Enterprise Information Systems, Stafford, July 2000.
- 2) 研究会主宰：『ソフトウェアインタプライズモデリング』第2回研究会、2000年7月、電子情報通信学会、国内.
- 3) 研究会主宰：『ソフトウェアインタプライズモデリング』第3回研究会、2000年9月、電子情報通信学会、国内.
- 4) 研究会主宰：『ソフトウェアインタプライズモデリング』第4回研究会、2000年11月、電子情報通信学会、国内.
- 5) 学会パネル討論司会：「e-ビジネス時代に君たちの将来はあるかー研究と価値創造の関係性」、2001年3月.
- 6) 電子情報通信学会ソフトウェアインタプライズ研究専門委員会委員長、2000年4月1日ー2001年7月.

Ö† 教育・業務活動

- (1) 担当講義 (経営・政策科学研究科: 大塚地区)
 システムズエンジニアリング 企業情報戦略 エンタプライズモデリング
 ソフトウェア工学 ソリューション工学 システムズマネジメント特別演習
 システムズマネジメント講究Ⅱ-Ⅶ 経営システム科学特別研究Ⅰ-Ⅴ
 ビジネス・マネジメント特別演習 ソリューション工学輪講Ⅰ-Ⅲ
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 経営・政策科学研究科企業科学専攻入試委員
 - 2) 経営・政策科学研究科企業科学専攻(システムズマネジメントコース)入試委員
 - 3) 学系長選挙管理委員
 - 4) 経営・政策科学研究科企業科学専攻(システムマネジメント)博士論文審査委員
 - 5) 経営・政策科学研究科経営システムズ科学専攻修士論文審査委員

Ⅲ. 社会的活動

- 1) 宇宙開発事業団「高度情報化委員会」委員、2000年4月-2001年3月。

Ⅳ その他の活動

- 1) 共同研究“Business Process Modeling手法に関する研究”、Prof. Scheer, Saarbrueken University (ドイツ)
- 2) 委託研究“ITと経営の共革新”、IDSシェアジャパン株式会社
- 3) 委託研究“インタープライズモデリングに関する研究”、NTTソフトウェア
- 4) 委託研究“e-ビジネスIT：フレームワークアーキテクチャに関する研究”、NEC

門田 安弘

Ⅰ. 研究活動

(1) 研究業績

著書および編著

- 1) 編著, *Japanese Cost Management*, Imperial College Press, June 2000. 単編著
- 2) 著書, 「原価計算」税務経理協会, 2000年10月. 単著
- 3) 編著, 「組織構造のデザインと業績管理」中央経済社, 2001年4月(共編者: 浜田和樹・李 健泳). 筆頭編著

査読付き論文

- 1) 製品開発組織における目標原価の設定法と配分の権限に関する研究、「経営行動科学」第13巻第1号, 2000年3月 pp.169-178. (共著者: 李 超雄)
- 2) ÅgMini Profit-Center Combined with JIT System,ÅhIn: J.A.D. Muchuca and T. Mandakovic eds. *POM Facing the New Millennium*, Selected Papers for the First World Conference in Production and Operations Management, POM Sevilla 2000, pp.149-157.(単著)
- 3) ÅgBicriteria Sequencing for Just-in-time Mixed-model Assembly LinesÅh, *International Journal of Production Research*, Vol.38, No.15, pp.3451-3470. (Co-authored with Walid Zeramdini and Henry Aigbedo)
- 4) 分社制と事業部制における社会的業績評価指標が財務的業績に及ぼす効果、「日本経営学会誌」No.6. Dec. 2000年. pp.17-30. (共著者: 星法子、星野靖雄)

その他の論文

- 1) グローバル企業の業績管理会計, in: 日本学術会議・会計学研究連絡委員会報告書「会計の国際化に関する研究」2000年6月 pp.57-64.
- 2) ÅgHow QFD and VE should be Combined for Achieving Quality & Cost in Product Development,ÅhIn: Monden, Y. (Ed.) *Japanese Cost Management*, Imperial College Press, 2000. (Co-authored with Hoque, M., Akter, M. and Yamada, S.)
- 3) ÅgKaizen Costing: Its Structure and Cost Management Functions,ÅhIn: Monden, Y. (Ed.) *Japanese Cost Management*, Imperial College Press, 2000. (Co-authored with Lee, J.Y.) 筆頭
- 4) ÅgManagement Accounting for Productivity Improvement in Administrative Departments: *MondenÅfs Kaizen System*,ÅhIn: Monden, Y. (Ed.) *Japanese Cost Management*, Imperial College Press, 2000.
- 5) ÅgProfit Evaluation Measure for the Divisional Managers in Japanese Decentralized Company -- Focusing

on Controllable Costs and Central Headquarters Costs, ÅhIn: Monden, Y. (Ed.) *Japanese Cost Management*, Imperial College Press, 2000. (Co-authored with Hoshi, N.)

- 6) 企業価値重視の経営に関する理論と実務ー西洋のベストに対する東洋のベストの主張ー 「企業会計」 Vol.53, No.1. 2000年1月号 pp.134-143.
- 7) 企業組織再編についての組織経済学とファイナンス理論との統合 「JICPAジャーナル」 Vol.13 No.4. 2001年4月号 pp.41-47.
- 8) パリ第9大学ブッカ教授と日仏米の管理会計を論ずるー管理会計の国際比較の一齣ー 「管理会計学」 第9巻第2号 pp.77-85.
- 9) 製品開発における品質と原価の同時達成システムー質問票調査によるエンピリカル・リサーチー関西学院大学「商学論究」 第48巻第4号 (宮本莞爾博士記念号) 2001年3月pp.1 - 16.

辞典

- 1) 日本管理会計学会編『管理会計学大辞典』中央経済社, 2000年8月, 2段組1,000ページを編集委員長として編集し出版した。

国際学会招待講演等

- 1) 2000年8月25日~9月3日にスペインのセビリヤに出張：
POM (生産およびオペレーション管理) 第1回世界大会に出席し、次の2論文を発表した。
 - ・ Mini Profit Center Combined with JIT System
 - ・ Value Chain Management Using IT: Historical View of Japanese Auto Industry.
- 2) 2000年11月28日~12月10日にミラノ (イタリア) とパリ (フランス) に出張：
 - ・ 2000年11月30日にボユニ大学と日本能率協会共催のシンポジウム「新しいビジネスモデルにおける戦略的提携・技術的パートナーシップの東洋・西洋比較」において、『日本の自動車産業のeビジネスと新しい企業モデル』を講演した。
 - ・ 2000年12月7日にパリ第9大学ドオーフィン (パリ・ドオーフィン大学) のアンリ・ブッカ教授と日仏米の管理会計の国際比較について討議した。

国内学会報告等

- 1) 2000年9月6日 (土) に日本管理会計学会テーマセッション「管理会計をいかに研究すべきかー管理会計学研究方法論」において「構築的研究」 (Constructive research) のあり方について報告した。
 - 2) 2000年12月14日 (木) : 青山学院大学にてSCM研究会で「サプライチェーンマネジメントとキャッシュフロー会計」について講演した。
- (2) 学会活動
- 1) 2000年9月19日 (火) ~21日 (木) : 日本会計研究学会第59回大会に出席。9/21には座長として1セッションを司会した。
 - 2) 2000年10月20日 (土) ~22日 (日) : 日本原価計算研究学会第26回大会に出席。学会賞審査委員会、理事会に出席、また21日に1セッションを司会した。
 - 3) 2000年11月18日 (土) : 日本管理会計学会第1回関西西部会に出席した(関西学院大学にて)。
 - 4) 2000年11月25日 (土) : 日本管理会計学会フォーラム (琉球大学にて) にて常務理事会に出席。
 - 5) 日本管理会計学会の機関誌『管理会計学』の編集委員長として、そのVol.9 No.1とVol.9 No.2を編集・刊行した。

(3) 研究助成

平成12年度科学研究費補助金

- 1) 萌芽的研究「社内分社制のもとの社内資本金制度と社内金利制度に関する研究」 (課題番号10873016) 研究代表者
 - 2) 基盤研究(B)(1)「組織構造のデザインに対応した業績評価会計システムの開発に関する研究」 (課題番号12553002) 研究代表者 (本研究は、研究代表者の他に、12名の研究分担者を含む共同研究プロジェクトである。3年にわたる研究の第1年度)
 - 3) 基盤研究(B)(2)「連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究」 (課題番号12430030) 研究代表者 (3年にわたる研究の第1年度)
- (4) その他
- 1) ÅgWhoÅfs Who in Finance and Industry, 32nd Edition, 2001-2002Åh(Marquis WhoÅfs Who) に経歴データが掲載された。

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類：会計学概論、経営計画
 - 2) 経営・政策科学研究科：管理会計学
 - 3) システム情報工学研究科：管理会計学特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) システム情報工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻 運営委員・論文審査委員
 - 2) 社会工学類 予算委員長
 - 3) 社会工学系 研究計画委員長
 - 4) 外国語センター 運営委員
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 上武大学大学院 経営管理研究科、担当科目「管理会計特研」4単位、2000年夏期集中講義

III. 社会的活動

- 1) 平成13年度公認会計士試験第2次試験委員に任命された（2000年11月～）。

山田 直志

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) "Differentials in the Demand for Health Check-up," 『季刊社会保障研究』、Vol. 36, Winter 2000, No. 3, pp. 391-422.
 - 2) "Determinants of Social Violence among Youth and Their Risky Health Behavior: Policy Implications," Violence and Health, World Health Organization (WHO), 2000, pp. 290-303, (with Tetsuji Yamada, and Ratona Karmakar).
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) 「日本女性の離職行動」、『労働市場の構造変化とマッチングシステム』、雇用・能力開発機構、平成12年、104-124頁。
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) "Differentials in the Demand for Health Check-up in Japan," the 35th Econometrics Research Conference (Biwako Conference), Kyoto, Japan, July 13 - July 15, 2000.
 - 2) "The Demand for Health Check-up and its Effect on the Length of Hospital Stay," the 75th Annual Western Economic Association International Conference, Vancouver, B.C., Canada, June 29 - July 3, 2000.
 - 3) Comment on Paper entitled "Alcohol Consumption and Alcohol Advertising Bans," by Henry Saffer, National Bureau of Economic Research, the 75th Annual Western Economic Association International Conference, Vancouver, B.C., Canada, June 29 - July 3, 2000.
- (3) 研究助成
 - 1) 科研費：基盤研究（C）
研究課題名：高齢者医療の部分的定額制導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 学類：ミクロ経済学入門、人的資源論、国際学ゼミナールI・II
 - 2) 研究科：応用ミクロ経済学、応用ミクロ経済学演習
 - 3) 総合科目：世界の中の日本
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 学系：施設委員
 - 2) 大学：就職委員会委員

III. 社会的活動

- 1) (財)統計研究会労働市場委員会委員

I . 研究活動

(1) 研究業績

1) ディスカッションペーパー

- 1) J. Gotoh, N.v. Thoai and Y. Yamamoto, "Global optimization method for solving the minimum maximal flow problem," Discussion Paper Series No. 928, University of Tsukuba (May 2001).
- 2) M. Shigeno, I. Takahashi and Y. Yamamoto, "Minimum maximal flow problem - An optimization over the efficient set -," Discussion Paper Series No. 912, University of Tsukuba (March 2001).
- 3) Y. Yamamoto, "Optimization over the efficient set," Discussion Paper Series No. 878, University of Tsukuba (August 2000).

2) 口頭発表、招待講演

- 1) May 2001, Seminar on Algorithms and Optimization, University of Tsukuba, Tsukuba, "Minimum maximal flow problem: an global optimization problem"
- 2) March 2001, Symposium on Optimization: Modeling and Algorithms, Institute of Statistical Mathematics, Tokyo, with I. Takahashi, "Minimum maximal flow problem"
- 3) October 2000, Research Meetings for Applications of Mathematical Programming, The Institute of Systems, Control and Information Engineers, Osaka University, Osaka, "Optimization over the efficient set"
- 4) August 2000, International Workshop on Applied Analysis and Optimization, Danang University, Danang, Vietnam, "Optimization over the efficient set"

(2) 学会活動

- 1) Optimization and Engineering編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究C2「非凸数理計画問題の大域的最適化法の研究」

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 経営工学概論 (社会工学類)
- 2) 数理計画1 (システム情報工学研究科)
- 3) 基礎数学、数理計画、経営工学演習 (経営・政策科学研究科)

(2) 役職・各種委員

- 1) 学生生活審議会委員
- 2) (社会工学系) 運営委員
- 3) (経営・政策科学研究科)運営委員修士論文委員会委員長
- 4) (社会工学類) 学生委員

吉田 あつし

I . 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー

- 1) Tabuchi, T. and A. Yoshida, "AgSeparating Urban Agglomeration Economies in Consumption and Production" *Journal of Urban Economics*, 2000, 43, pp.70-84.

2) 1) 以外の論文など

- 1) 吉田あつし、哈純、「都道府県別住宅ストックの推計」、平成13年1月、『住宅土地経済』、39号、pp.18-27
- 2) 吉田あつし、「医療保険変更に伴う医療サービスの需要と供給の変化：「若人」から「老人」へ」、医療経済研究機構委託研究報告書.
- 3) 吉田あつし、「健康保険制度の改正が歯科医療サービスの需要と供給に与えた影響」、医療経済研究機構委託研究報告書.
- 4) 吉田あつし、「薬剤費の一部患者負担が医療サービス供給に与える影響」、国民健康保険組合中央会研究会報告書.
- 5) 吉田あつし、「老人健康保健制度の変更と医療需要」、国民健康保険組合中央会研究会報告書.

- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) Yoshida, A. and T. Shichijo, "Spatial Smoothing via a Resampling Method," 応用地域学会 (筑波大学)、29th International Geographical Congress (Seoul, Korea)
 - 2) 遠藤秀樹、吉田あつし、「家族の同居・別居選択と訪問介護サービス需要」 応用地域学会 (筑波大学)、日本経済学会 (大阪府立大学)
- (2) 学会活動
 - 1) 日本経済学会秋季大会プログラム委員
 - 2) Asian Economic Journal 編集委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 日本経済研究奨励財団：「高齢者の医療サービス需要行動の計量分析」

II. 教育・業務活動 (大阪府立大学でのもの)

- (1) 担当講義
 - 1) 計量経済学特論 (大学院経済学研究科)
 - 2) 計量経済学特別講義 (大学院経済学研究科)
 - 3) 論文演習 (大学院経済学研究科)
 - 4) 計量経済学基礎講義 (大学院経済学研究科)
 - 5) 計量経済学A (経済学部)
 - 6) 計量経済学B (経済学部)
 - 7) 専門ゼミナール (経済学部)
 - 8) 基礎ゼミナールA (経済学部)
 - 9) 基礎ゼミナールC (経済学部)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 総合情報センター運営委員 (全学)
 - 2) 情報システム委員長 (学部)

III. 社会的活動

- 1) 医療経済研究機構：「医療費の自己負担増に伴う医療需要の価格弾力性に関する研究」研究会委員
- 2) 国民健康保険組合中央会：「高齢者に対する薬剤投与に係る実態調査検討会」委員
- 3) 「21世紀の関西を考える会」：「関西経済再生のシナリオ」 (委員長：本間正明大阪大学経済学研究科教授) 委員
- 4) 堺都市政策研究所：調査研究員

吉田 雅敏

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) Masatoshi Yoshida and Go Nagase, "Keynesian Multipliers in a Dynamic Macroeconomic Model of Monopolistic Competition", Discussion Paper Series, No. 934., Institute of Policy and Planning Sciences.
 - 2) Masatoshi Yoshida and Koichi Yuki, "Intergenerational Externalities and Optimal Taxation of Elderly Care Services", Discussion Paper Series, No.935, Institute of Policy and Planning Sciences.

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 経済学原論、マクロ経済学、財政学
 - 2) 経営・政策科学研究科 租税分析
 - 3) システム情報工学研究科 財政システム特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類運営委員
 - 2) 社会工学系 ファカルティセミナー委員
 - 3) 経営・政策科学研究科 防災委員

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 吉澤正監修・日本電気（株）キリンビール（株）環境保全活動編集プロジェクト編（2001）：キリンビールにおける環境マネジメントの実際，企業における環境マネジメントシリーズ7，日科技連出版。
 - 2) Kamata, Mayumi I & Tadashi Yoshizawa(2000) : ÅKey Factors for Managing Small Scale Software Projects, Proceedings of World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics, pp.47-52.
 - 3) 吉澤正（2001）：プロジェクトマネジメントのパラダイム，プロジェクトマネジメント学会誌、Vol.3、No.1、3-7。
 - 4) 公共施設における環境マネジメントシステム技術調査専門委員会（吉澤正委員長）編（2001）：公共施設における環境マネジメントシステムに関する調査報告書、電気学会技術報告827号（2001年3月）。
- (2) 学会（国際・国内）活動等
 - 1) 日本品質管理学会顧問（1999年9月－2000年9月）
 - 2) プロジェクトマネジメント学会会長（2000年3月－2001年3月）
- (3) その他の活動
 - 1) 日本品質管理学会品質技術賞受賞

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) トップレクチャー I （経営・政策科学研究科）
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 中央大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省適合性評価調査検討委員会臨時委員
- 2) 環境管理規格審議委員会副委員長
- 3) 日本適合性認定協会環境部会委員長
- 4) 日本統計協会理事
- 5) 全国統計連合会理事

IV. その他の活動

- 1) 日本学術会議人工物設計・生産研究連絡委員会経営管理工学専門委員会委員（2000年度まで）
- 2) ISO/TC207総会，マレーシア，2001年7月

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) On Symmetries and Asymmetries Between Maximization OSP and Minimization OSP _Model with No Recall --, Discussion Paper Series No.926, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, 2001

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 生産管理 （社会工学類）
 - 2) 社会工学概論及び演習 （社会工学類）
 - 3) 生産管理論 （経営・政策科学研究科）
 - 4) オペレーションズ・リサーチII （システム情報工学研究科）
 - 5) 経営の科学 （総合科目）

I . 研究活動

(1) 研究業績

- 1) M. Sato-Ilic, Classification based on Relational Fuzzy c-Means for 3-way Data, International Conference on Enterprise Information Systems, pp. 217-221, 2000.
- 2) M. Sato-Ilic, On Evaluation of Clustering using Homogeneity Analysis, IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics, pp. 3588-3593, 2000.
- 3) M. Sato-Ilic and Y. Sato, Asymmetric Aggregation Operator and its Application to Fuzzy Clustering Model, Computational Statistics & Data Analysis, Vol. 32, pp.379-394, 2000.
- 4) M. Sato-Ilic, Clustering Models Extracting Dynamic and Non-Dynamic Changes for 3-Way Data, Soft Computing in Industrial Applications, Springer-Verlag, London, Y.Suzuki, S. Ovaska, T. Furuhashi, R. Roy, and Y. Dote, eds., pp. 117-127, 2000.
- 5) M. Sato-Ilic, Fuzzy Clustering Based on Homogeneity Analysis, The Fourth Asian Fuzzy Systems Symposium 2000 - International Symposium on Theory and Applications of Soft Computing -, pp. 498-501, 2000.
- 6) 佐藤美佳, Relational Fuzzy c-Means for 3-way Data, 第16回日本分類学会研究報告予稿集, pp. 40-43, 2000.

(2) 学会活動

- 1) IEEE Systems, Man & Cybernetics Society Administration Committee 委員
- 2) International Journal of Knowledge-based Intelligent Engineering Systemsにおいて Editorial Board 委員
- 3) 日本分類学会運営委員
- 4) 日本計算機統計学会ニューズレター委員
- 5) 日本ファジィ学会関東支部委員

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト(奨励研究)「不確実性情報データにおける分類手法の開発とその応用」
- 2) 科学研究費(奨励A) 「不確実性情報を考慮したデータの分類手法に関する研究」

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 数理統計学(社会工学類)
- 2) 経営工学実習 (社会工学類)
- 3) 多変量解析(経営・政策科学研究科:筑波地区)
- 4) シミュレーション実習 (経営・政策科学研究科:筑波地区)
- 5) モデル分析 (システム情報工学研究科)

(2) 役職・各種委員

- 1) 経営・政策科学研究科: 入試委員会委員
- 2) 社会工学類: コンピュータ委員会委員
- 3) 社会工学系: 防災委員会委員

I . 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー

- 1) 大澤幸生, 谷内田正彦: キーワード抽出法KeyGraphの転用による地震履歴データからの要注意活断層発見支援, Vol.15, No. 4, pp. 665 - 672, 2000.
 - 2) Yukio Ohsawa: Index Navigator: Search Engine with Reasoning for Understanding and Expressing User's Changing Mind, Applied Intelligence, Kluwer Academic Press, Vol.14, No.2, pp. 197-211, 2001.
 - 3) Yumiko Nara, Yukio Ohsawa: Tools for Shifting Human Context into Disasters, Proc. Fourth International Conference on Knowledge-Based Intelligent Engineering Systems & Allied Technologies (KES 2000), IEEE, pp.655-658, 2000.
 - 4) Naohiro Matsumura, Mitsuru Ishizuka and Yukio Ohsawa: Discovering Promising New Topics on WWW Proc. Fourth International Conference on Knowledge-Based Intelligent Engineering Systems & Allied Technologies (KES 2000), IEEE, pp.804-807, 2000.
 - 5) Yukio Ohsawa and Hisashi Fukuda: Potential Motivations and Fountains of Chances, Proc. International Conference on Industrial Electronics, Control and Instrumentation (IECON 2000: CD-ROM), 2000.
 - 6) Naohiro Matsumura and Yukio Ohsawa: Combination Retrieval for Creating Knowledge from Sparse Document Collection, Proc. Discovery Science (DS2000), Springer-Verlag, pp.320-324, 2000.
 - 7) Seiji Yamada and Yukio Ohsawa: Information Gathering of Web Pages to Guide Concept Understanding, Posters Proc. the Tenth World Wide Web Conference (WWW10), pp.20-21, 2001.
 - 8) Yukio Ohsawa, Naohiro Matsumura, and Mitsuru Ishizuka: Discovering Topics to Enhance Communities' Creation from Links to the Future, Posters Proc. the Tenth World Wide Web Conference (WWW10), pp.104-105, 2001.
 - 9) Naohiro Matsumura, Yukio Ohsawa, and Mitsuru Ishizuka: Future Deirections of Communities on the Web, On-site Notes of The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial Intelligence, pp.17-20, 2001.
 - 10) Hiroshi Taira, Yasuhiro Sakata, Yukio Ohsawa, and Mitsuru Ishizuka, AreaView2001: A new WWW organization system with KeyGraph Technology On-site Notes of The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial Intelligence, pp.87-90, 2001.
 - 11) Yutaka Matsuo and Yukio Ohsawa, A Document as a Small World, The First Workshop on Chance Discoveries, On-site Notes of The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial Intelligence, pp.21-26, 2001.
 - 12) Yumiko Nara and Yukio Ohsawa, Family Perceptions of Risks and Opportunities - Results from Questionnaires to Citizens -, On-site Notes of The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial Intelligence, pp.91-94, 2001.
- 2) 1)以外の論文など (査読のないproceedings、商業誌の論文、ディスカッションペーパーを含む)
- 1) 大澤幸生 : テキストマイニング:Web検索からチャンス発見まで(招待論文),品質管理 2001年3月号,pp.37-44
 - 2) パネル討論会「予兆発見 - なぜ予兆発見か?」, パネリスト, 2000. 第44回人工知能基礎論研究会 (SIG-KBS44)資料 pp.41-44, 2000.
 - 3) パネル討論会「いかにチャンスを発見・利用するか」 司会, 第43回人工知能基礎論研究会 (SIG-FAI43)資料 pp.29-32, 2000.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
- 1) 大澤幸生 : 予兆発見("Chance Discovery")とそのマネジメント(招待講演) データマイニング・シンポジウム, 2000.
 - 2) 奈良由美子, 大澤幸生 : 新稀事象の意味理解を含む意思決定過程のモデル 第44回人工知能基礎論研究会(SIG-KBS44)資料 pp.1-6, 2000.
 - 3) 平博司, 大澤幸生, 伊庭斉志, 石塚満: AreaView2001: KeyGraphを用いた新しいWWW構造化システム, 第62回情処全大, 8X-02, 2001.
 - 4) 松村真宏, 大澤幸生, 石塚満 : Knowledge Navigation through Combining Documents, 第15回人工知能学会全国大会, 1A4-06, 2001.
 - 5) 坂田恭弘, 平博司, 大澤幸生, 伊庭斉志, 石塚満: AreaBook: WWWエリアビューのブック型情報提示インタフェース, 第15回人工知能学会全国大会, 1A4-06, 2001.

(2) 学会活動

- 1) Program Committee Member, International Conference on Multiagent Systems (ICMAS'00), 2000.
 - 2) 運営委員: 情報処理学会・数理モデルと問題解決(MPS)研究会
 - 3) Program Committee, Pacific Asia Knowledge Discovery and Datamining Conference (PAKDD'00), 2000.
 - 4) Program Committee, The Second International Workshop on Logical and Uncertainty for Information Systems (International Workshop on Logical and Uncertainty Models for Information Systems in DEXA), 2000.
 - 5) 人工知能学会誌編集委員
 - 6) The Chair of the First International Workshops, in the Japanese Society of Artificial Intelligence, 2001.
 - 7) Program Committee, The Fourth International Conference on Discovery Science (DS2001), 2001.
- (3) 研究助成など
- 1) 科学技術振興事業団・若手研究推進事業(TRESTO)研究員(兼任)として
「社会動向・自然現象データからの予兆発見と利用」に対して1250万円の研究助成金を得た。
 - 2) 科学技術振興事業団・一般受託研究として
「社会動向・自然現象データからの予兆発見と利用」100万円の受託研究費を得た。
 - 3) 文部省科学研究費・特定A「発見科学」分担者として、280万円の研究助成金を得た。

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 情報システム論・計算機科学基礎I, II
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 経営・政策科学研究科の教務担当としての業務に従事した。
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 島根医科大学、非常勤講師 「情報科学特別講義」(H13年2月)
 - 2) お茶の水女子大学、非常勤講師 「情報科学特別講義VI」(H13年2月)

III. 社会的活動

- 1) アイキューブネットサマーキャンプにおいて招待講演「予兆発見とその利用」(H12年8月1日)
- 2) NTTデータ株式会社において招待講演「予兆発見」(H12年7月21日)
- 3) 株式会社博報堂において招待講演「予兆・チャンス発見の需要と方法」(H12年12月12日)

大澤 義明

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 論文
 - 1) Y. Ohsawa (2000): Bicriteria Euclidean location associated with maximin and minimax criteria. Naval Research Logistics, 47(7), pp.581-592.
 - 2) その他論文
 - 1) 大澤義明(2000): 道路網から見た研究学園都市の比較—ルーバン・ラ・ヌーブと筑波とを対象として—, 2000年度日本建築学会大会学術講演梗概集—都市計画・建築経済・住宅問題, pp613-614.
 - 2) 大澤義明(2000): OR学会会員勤務地の立地分析. オペレーションズ・リサーチ, 45, pp.423-427.
 - 3) Y. Ohsawa (2000): Voting model for constructing transportation infrastructure, Discussion Paper No.889, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
 - 4) Y. Ohsawa and T. Koshizuka (2001): Map Projection Errors in the Weber Problem (revised), Discussion Paper No.936, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
 - 5) 宮川雅至, 大澤義明(2000): 迂回距離と旅行自由度との関係について. オペレーションズ・リサーチ学会2000年秋季アブストラクト集, pp.76-77.
 - 6) 尾崎尚也, 大澤義明(2000): 利用者の多様性を考慮した時空間移動図書館配置. オペレーションズ・リサーチ学会2000年秋季アブストラクト集, pp.232-233.
 - 7) 上川原学, 腰塚武志, 大澤義明(2000): マラソンコース形状の評価. オペレーションズ・リサーチ学会2000年秋季アブストラクト集, pp.62-63.
 - 8) 小林隆史, 腰塚武志, 大澤義明(2000): 太陽光発電を考慮した集合住宅の高さと隣棟間隔. オペレーションズ・リサーチ学会2000年秋季アブストラクト集, pp.70-71.

- 9) 田村一軌, 腰塚武志, 大澤義明(2000): ネットワーク上の道路距離と直線距離. オペレーションズ・リサーチ学会2000年秋季アブストラクト集, pp.234-235.
- 3) 学会口頭発表, セミナー発表
 - 1) Bicriteria Euclidean location model for undesirable facility. The 17th European Conference on Operational Research Societies (Budapest, Hungary).
 - 2) Voting location model for highway construction. The 12th Meeting of the European Operational Research, Working Group on Locational Analysis (Barcelona, Spain).
 - 3) 第14回応用地域学会研究発表会 (つくば).
 - 4) Voting model for constructing transportation infrastructure. 2000年度第39回筑波大学社会工学系フアカルティ・セミナー
- (2) 学会活動
 - 1) 建築学会地域施設計画小委員会委員
 - 2) 建築学会建築システム最適化特別研究委員会委員
 - 3) 地理情報システム学会査読委員
- (3) 研究助成
 - 1) 科学研究費(基盤研究C) 「迷惑施設の多目的計画配置に関する理論的研究」, 研究代表者
 - 2) 科学研究費(基盤研究B) 「移動から見た都市空間の分析」, 研究分担者
 - 3) 科学研究費(基盤研究B) 「地価下落, 少子高齢化, 車社会における大都市周辺地域の土地利用の将来像」, 研究分担者
- (4) 学会賞
 - 1) 第29回オペレーションズリサーチ学会文献賞

II. 教育活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類: 都市計画数理, 都市計画事例講義及び実習, 都市計画実習Ⅲ, 代数学
 - 2) 環境科学研究科: 都市経営論, 情報処理法
 - 3) システム情報工学研究科: 地域計量理論
 - 4) 総合科目: 都市・地域・環境を探る
- (2) 各種委員
 - 1) 社会工学類入試実施委員
 - 2) 社会工学類専門教育用電子計算機専門委員会
 - 3) 研修施設運営委員会委員及び山中共同研修所運営委員会委員
- (3) 非常勤講師
 - 1) 図書館情報大学: 幾何学

III. 社会活動

- 1) つくばエクスプレス新駅施設等整備検討委員会委員 (茨城県)

太田 充

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) 佐藤 仁志, 太田 充, 「テレコミュニケーションが都市構造に与える影響に関するシミュレーション分析」, 地域学研究 第30巻 第1号, pp.113-125
 - 2) 佐藤 仁志, 太田 充, 「テレコミュニケーションの普及と都市構造に関する研究」, 都市計画論文集 35, pp. 1051-1056
 - 3) 査読なし口頭発表, 学会による招待講演など
 - 1) 佐藤 仁志, 太田 充, 「テレコミュニケーションの普及と都市構造に関する研究」, 日本地域学会 2000年(第37回)年次大会講演論稿集(口頭発表), pp. 114-121.
 - 2) 太田 充, 佐藤 仁志, 「テレコミュニケーションを考慮した複数都心モデル」, 第14回 応用地域学会研究発表大会, 於 つくば国際会議場(口頭発表)

- (2) 学会活動
 - 1) 日本都市計画学会学術委員会委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 国土庁土地局 平成12年度土地関係研究助成金 「通信技術の発達と住宅地地価の都市経済的分析」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 経済立地論 図学・測量学 社工情報処理実習1 地域科学演習III
 - 2) 経営・政策科学研究科 都市地域計画 シミュレーション実習
 - 3) システム情報工学研究科 地域科学特論
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学系ファカルティ・セミナー委員長

III. 社会的活動

- 1) 財団法人 北海道東北地域経済総合研究所 「平成12年度 ベンチャービジネス育成の方策にかかわる調査」調査検討委員会委員
- 2) 財団法人 日本総合研究所 国土庁 「地域計量モデル検討委員会」委員

梶井 厚志

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) "Different Notions of Disappointment Aversion," with Simon Grant and Ben Polak, *Economics Letters*, 70, (2001), 203-208.
 - 2) "Decomposable Choice under Uncertainty," with Simon Grant and Ben Polak, *Journal of Economic Theory*, 92, (2000), 169-197.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 「資産の取引実験：資産バブルと実験を使った教育について」（慶応大学経済学部，立命館大学経済学部の研究会にて発表）
- (2) 学会活動
 - 1) *Economics Bulletin* 編集委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 2000年度科学研究費 奨励研究(A) 「金融市場における情報の影響と経済効果の理論的研究」
 - 2) 全国銀行協会研究奨学金 「不完全な金融市場の一般均衡分析に関する研究」

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 経済学原論，社会工学概論及び実習，組織と情報の経済学
 - 2) (システム情報工学研究科) ミクロ経済学特論
 - 3) (総合科目) 経済学入門
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学系施設委員
 - 2) 社会工学類総合科目委員

III. 社会的活動

- 1) 二酸化炭素排出権取引問題研究会委員 (地球産業文化研究所)

金澤 雄一郎

I. 研究活動

- (1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文
 - 1) Continuous Learning as a Mediator of the Relationship between Personality and Sales Performance: An Empirical Study on a Japanese Information System Company, Japanese Journal of Administrative Science 15(1): 29-45.
 - 2) Handling "Don't Know" Survey Responses: The Case of Japanese Voters on Party Support, Behaviormetrika 27(2):181-200.
 - 3) Evaluating Treatments of Rapidly Progressive Glomerulonephritis when the Response is Potentially Non-ignorably Missing, Japanese Journal of Biometrics 21(1):13-37.
 - 4) "A Test of a Personality-based View of Intrinsic Motivation", June 15, 2001, American Psychological Society Thirteenth Annual Convention, Toronto, Ontario, Canada
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) $\hat{\Delta}$ Inestimability in logit regression with nonignorably missing covariates $\hat{\Delta}$, March 26th, 2001. International Biometric Society Eastern North American Region 2001 Spring Meeting, Charlotte, North Carolina., USA
 - 2) $\hat{\Delta}$ Inestimability in logit regression with nonignorably missing covariates $\hat{\Delta}$ 2001年4月5日。応用統計学会・日本計量生物学会2001年度合同年次大会、東京
 - 3) "A Test of a Personality-based View of Intrinsic Motivation", June 15, 2001, American Psychological Society Thirteenth Annual Convention, Toronto, Ontario, Canada
- (3) 研究助成など
 - 1) 文部科学省科学研究費 一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究
 - 2) 安田生命社会事業団研究助成金 非行少年に対する矯正教育の効果 少年鑑別所入所少年の再犯に対する保護観察と少年院処遇の効果、50万円。

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類： 応用統計学
 - 2) 経営・政策科学研究科： 基礎統計、データ解析
 - 3) システム情報工学研究科： 統計学特論I・II
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類： 入試実施委員

金 顕 哲

I .研究活動

- (1) 研究活動
 - 1) 金顕哲(2001), 日本流通産業史, 同文館、共著
 - 2) 金顕哲(2001), ITと日本型営業の再構築, X c h a n g e、92、2-5頁
 - 3) Rajiv Lal, Chansu Park and Hyunchul Kim (2000), $\hat{\Delta}$ Marginor Sales? Two Royalty Structures in the Japanese Convenience Store Industry, $\hat{\Delta}$ in Japanese Distribution Strategy, M. R. Czinkota and M. Kotabe, eds, London, Business Press, pp.253-262
 - 4) 高山・金 (2000)、東芝クレームホームページ、Keio Business School Case
 - 5) 山田・金 (2000)、デルコンピュータ、Keio Business School Case、翻訳
 - 6) 金顕哲(2000)、日本型営業とマーケティング、流通情報、378、22-31頁
 - 7) 「コンビニエンス・ストアのイノベーション」マーケティング史研究会、2000年11月11日
 - 8) 「小売のイノベーション」慶応ビジネス・スクール、2000年5月30日
- (3) 研究助成など
 - 1) H12年度科学研究費、「日本型マーケティングに関する研究（金顕哲、基盤研究（B））」

II . 教育・業務活動

- (1) 担当講義：

経営・政策科学研究科修士課程

 - 1) 経営システム科学特別研究 I
 - 2) 経営学基礎

- 3) 流通論
 - 4) 経営システム科学特論 I
 - 5) 流通論輪講 I -III
- 経営・政策科学研究科博士課程
- 1) 組織マーケティング
 - 2) 国際経営と法
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）：
- 1) 武蔵大学経営学部非常勤講師、担当科目：マーケティング

III. 社会的活動

- 1) 日本社会生産性本部経営アカデミマーケティングコース研究指導担当
- 2) 小売イノベーション研究会座長
- 3) 日経広告審査委員

川勝 浩之

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) "Liberalization and Emerging Markets Stock Prices," (with Parantap Basu and Matthew R. Morey)
Emerging Markets Quarterly, 2000, Volume 4, Number 3, 7-17.

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 国際総合学類 マクロ経済学
 - 2) 国際政治経済学研究科 国際金融論

久野(吉瀬) 章子

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) A Complexity Analysis of a Smoothing Method Using CHKS-Functions for Monotone Linear Complementarity Problems, Computational Optimization and Applications, 17(2000)183-201.
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) Self-Regular Proximities and New Search Directions for Nonlinear Complementarity Problems, Discussion Paper Series No. 890, Institute Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, December 2000.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) Self-Regular Proximities for Nonlinear Complementarity Problems, Workshop on Advanced Optimization Techniques, Faculty of Engineering, McMaster University, Hamilton, Ontario, Canada, August 2000.
 - 2) Complementarity Bounds for Smoothing Methods Without Strictly Feasible Condition, 17th International Symposium on Mathematical Programming, Georgia Institute of Technology, August 2000.
 - 3) P_0, P_* , 単調な相補性問題に対する内点法, 研究部会「アルゴリズムと最適化」, 上智大学, 2000年12月.
- (2) 学会活動
 - 1) OR学会研究部会「最適化とアルゴリズム」幹事
 - 2) Optimization Research Bridge Committee (Book Review)

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類：代数学, 数理計画, 数理計画演習, 経営工学実習, 自由演習
 - 2) 経営・政策科学研究科：数理計画実習
 - 3) システム情報工学研究科：数理計画
- (2) 役職・各種委員

- 1) 教育計画室室員
- 2) 社会工学類運営委員
- 3) システム情報工学研究科入試実施委員

グレーヴァ、ヘンリク R. (GREVE, Henrich R.)

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 論文

- 1) Baum, Joel A. C., and Henrich R. Greve (editors). 2001. Multiunit Organizations and Multiunit Strategy: Advances in Strategic Management, vol. 18 (2001). Oxford, UK: Elsevier.
- 2) Greve, Henrich R., and Joel A.C. Baum. 2001. "A multi-unit, multi-market world." In Joel A. C. Baum, and Henrich R. Greve (editors), Multiunit Organizations and Multiunit Strategy: Advances in Strategic Management, Vol. 18: 1-28.
- 3) Greve, Henrich R., Nancy Brandon Tuma, and David Strang. 2001. "Estimation of diffusion processes from incomplete data: A simulation study." *Sociological Methodology and Research*, 29(4): 435-467.
- 4) Greve, Henrich R. 2001. "Sticky Aspirations: Organizational Time Perspective and Competitiveness" *Organization Science*, 12(5).
- 5) Fujiwara-Greve, Takako and Henrich R. Greve. 2000. "Organizational ecology and job mobility." *Social Forces*, 79(2): 547-568.
- 6) Greve, Henrich R. 2000. "Market niche entry decisions: Competition, learning, and strategy in Tokyo banking, 1894-1936." *Academy of Management Journal*, 43 (October): 816-836.

2) Proceedings

- 1) Greve, Henrich R. 2000. "Organizational investment decisions: Learning through adaptive aspiration levels." *Association of Japanese Business Studies Best Paper Proceedings*: 89-101. Oiso, Japan: AJBS.
- 2) Greve, Henrich R. 2000. "Learning about innovation: Organizational attention and social structure." *Conference on Knowledge and Innovation*: 162-169. Helsinki, Finland: Helsinki School of Economics and Business Administration.

3) 発表

- 1) The Academy of Management Association Meetings 2001 in Washington, DC, "Deciding to innovate: Performance, aspirations, and slack."
- 2) The Academy of Management Association Meetings 2001 in Washington, DC, "Learning from innovations: Organizational attention and social structure"
- 3) The Sunbelt Conference on Social Networks 2000 in Vancouver "General models of social influence." (with Nancy Brandon Tuma)
- 4) Association of Japanese Business Studies Meetings in Fujisawa, Japan "Organizational investment decisions: Learning through adaptive aspiration levels."
- 5) Conference on Knowledge and Innovation (Helsinki, 2000) "Learning about innovations: Organizational attention and social structure."
- 6) Presentations at Columbia University, London Business School, Mannheim University, New York University, University of Michigan, University of Washington

(2) 学会活動

- 1) Member of Editorial Board: *Academy of Management Journal*, *Administrative Science Quarterly*, and *Organization Science*.

Ö† 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類：行動科学概論、組織行動論、社会経済実習テーマ
- 2) 経営・政策科学研究科：組織と戦略
- 3) システム情報工学研究科：マクロ組織論

(2) 委員

- 1) 社会工学類カリキュラム委員

小林 信一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 小林信一、「大学教育の職業的レリバンスと大学の組織設計」『大学改革』（青木昌彦、澤昭裕、大東道郎、通産研究レビュー編集委員会）pp.283-305、東洋経済新報社、平成13年2月
 - 2) Jiang Wen, Shin-ichi Kobayashi, Technology diffusion in China, Science and Public Policy, vol.28, no.1, pp.41-47, Feb. 2001
- 2) 1) 以外の論文など（査読のないproceedings、商業誌の論文、ディスカッションペーパーを含む）
 - 1) 小林信一、「中国スピノフ事情」『政策研ニュース』、144号、pp.4-6、平成12年10月
 - 2) 小林信一、「科学技術と社会」『ケミカル・エンジニアリング』、pp.1-7、48巻1号、平成13年1月
 - 3) 小林信一、「知識社会の大学」、『高等教育研究』、4号、pp.19-45、平成13年4月
 - 4) Kobayashi, S., International Mobility of Human Resources in Science and Technology in Japan, OECD Seminar on International Mobility of Highly Skilled Workers, COM/DSTI/DEELSA(2001)34, June 2001
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 小林信一、「産業社会の科学教育、知識社会の科学教育」『日本科学教育学会年会論文集』、24号、pp.37-38、平成12年7月
 - 2) 小林信一、「自治体における青少年対象科学技術人材育成事業に対する調査とその分析結果に関する考察」『日本科学教育学会年会論文集』、24号、pp.109-110、平成12年7月
 - 3) 小林信一「レギュラトリ・サイエンスの必要性」『日本リスク研究学会第14回春期講演シンポジウム講演予稿集』、pp.6-13、平成13年6月
- (2) 学会活動
 - 1) 研究・技術計画学会評議員・編集委員
 - 2) 日本高等教育学会編集委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 科研費基盤研究（C）知識生産システムのモード転換とポスト・マス高等教育時代の大学
 - 2) 科研費基盤研究（B）「新しい知識生産」の日仏比較

II 教育・業務活動

- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 国際基督教大学教養学部「科学技術と社会：特別研究1」（1学期）
 - 2) 電気通信大学情報システム学研究科「知識産業論」（後期）

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所・総括主任研究官（併任）
- 2) 文部科学省社会技術研究システム準備委員会・委員（併任先業務として）
- 3) 国立学校財務センター・客員研究員

猿渡 康文

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 研究業績(著作・作品)等
 - 1) 「ピザショップ開店計画」, 実用OR入門セミナー
- (2) 学会活動
 - 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 編集委員
 - 2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会「新編OR事典」編集幹事

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義

経営・政策科学研究科: 大塚地区

 - 1) 経営システム科学特別研究I
 - 2) 計画数理
 - 3) 生産システム

- 4) オペレーションズ・リサーチ演習
 - 5) 計画数理論I-III
 - 6) 最適化理論
 - 7) ロジスティクス
- (2) 役職・各種委員
- 1) 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻教育担当委員
- (3) 他大学における教育活動(非常勤講師など)
- 1) 中央大学工学部非常勤講師(プログラム言語C、プログラム言語C演習)

庄司 功

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) Shoji, I., A nonparametric method of estimating nonlinear dynamical system models, *Physics Letters A*, 277, 159-168.
 - 2) Takamizawa, H. and Shoji, I., Approximation of nonlinear term structure models, *Journal of Derivatives* 8, 44-51.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) A simple asymptotic expansion of transition probability density function of diffusion processes, ISM SYMPOSIUM Statistical Researches in Complex Systems, 統計数理研究所, 2001年3月.
- (2) 学会活動
 - 1) Editorial Board, *Advances and Applications in Statistics*

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類：統計学、計量時系列分析
 - 2) 経営・政策科学研究科：経済政策演習 I
 - 3) システム情報工学研究科：計量時系列解析特論
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 統計数理研究所予測制御研究系助教授(併任)

高崎 善人

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. 2001. *Amazonian peasants, rain forest use, and income generation: the role of wealth and geographical factors*, *Society and Natural Resources* 14(4): 291-308.
 - 2) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. 2000. *Rapid rural appraisal in humid tropical forests: an asset possession-based approach and validation methods for wealth assessment among forest peasant households*, *World Development* 28(11): 1961-1977.
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. 2000. *Wealth accumulation and activity choice evolution among Amazonian forest peasant households*, *University of Wisconsin-Madison, Department of Agricultural and Applied Economics, Staff Paper Series 434*.
 - 2) Takasaki, Yoshito. 2000. *The Microdynamics of Conservation and Development in Tropical Forests*. Ph.D. Dissertation, University of Wisconsin-Madison.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) Barham, Bradford L., Yoshito Takasaki, and Oliver T. Coomes. 2000. *Are endowments fate? An econometric analysis of multiple asset accumulation in a biodiverse environment*, Presented on December 13th to the Global Development Network Conference, Tokyo, Japan.
 - 2) Takasaki, Yoshito. 2000. *Deforestation and land degradation*, Presented on October 7th to the Northeast Universities Development Conference, Ithaca, New York, USA.
 - 3) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. 2000. *Are Endowments Fate? in*

Biodiverse Environments? Dynamic Portfolio Analysis of Wealth and Livelihood among Amazonian Peasants, Presented on October 7th to the Northeast Universities Development Conference, Ithaca, New York, USA.

- 4) Takasaki, Yoshito. 2000. Deforestation and asset accumulation among small-scale farmers, Presented on July 31st at the American Agricultural Economics Association Annual Meeting, Tampa, Florida, USA.
- (3) 研究助成など
- 1) Global Studies Scholarship, University of Wisconsin-Madison (funded by The John D. and Catherine T. MacArthur Foundation), 2000.
 - 2) Graduate Student Travel Grant, American Agricultural Economics Association Foundation, 2000.
 - 3) University Dissertator Fellowship, University of Wisconsin-Madison, 2000.
- (4) その他
- 1) Henry Taylor Doctoral Dissertation Award, Department of Agricultural and Applied Economics, University of Wisconsin-Madison, 2001.

II. 教育・業務活動

- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
- 1) Lecturer, Department of Agricultural and Applied Economics, University of Wisconsin-Madison, Wisconsin, USA, 2000. Undergraduate World Hunger.

徐 華 (Xu Hua)

I. 研究活動

- (1) 研究業績
- 1) Hua Xu and H. Mukaidani, Connection Between the Generalized Riccati Equations and the Standard Reduced-Order Riccati Equations, Dynamic of Continuous, Discrete and Impulsive Systems, Vol.7, No. 3, pp.441-353, 2000.
 - 2) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, Recursive Algorithm for Mixed H_2/H_∞ Control Problems of Singularly Perturbed Systems under Perfect- and Imperfect-State Measurements. International Journal of Systems Sciences, Vol.31, No.10, pp.1299-1312, 2000.
 - 3) Hua Xu and H. Mukaidani, The Linear Quadratic Dynamic Game for Discrete-Time Descriptor Systems, Proceedings of the 39th IEEE Conference on Decision and Control, pp.3696-3701, Sydney, Australia, 2000.
 - 4) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, A New Algorithm for Solving Cross-Coupled Algebraic Riccati Equations of Singularly Perturbed Nash Games. Proceedings of the 39th IEEE Conference on Decision and Control, pp.3648-3653, Sydney, Australia, 2000.
 - 5) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami: A New Algorithm for Solving Cross-Coupled Algebraic Riccati Equations of Singularly Perturbed Systems for Mixed H_2/H_∞ Control Problem, 9th International Symposium on Dynamic Games and Applications, pp.365-374, Adelaide, Australia, 2000.
 - 6) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami: Robust H_∞ Control Problem for Nonstandard Singularly Perturbed Systems Under Perfect State Measurement, Proceedings of the 3rd Asian Control Conference, pp.60-65, Shanghai, China, 2000.
- (3) 研究助成など
- 1) 基盤研究 (C)(2) 動的ゲーム理論とマネジメントサイエンスへの応用に関する研究

Ö† 教育・業務活動

- (1) 担当講義
- 1) システムズアプローチ（経営・政策科学研究科：大塚地区）
 - 2) ゲーム理論（経営・政策科学研究科：大塚地区）
 - 3) 社会システム制御論（経営・政策科学研究科：大塚地区）
 - 4) 社会システム制御論輪講I-III（経営・政策科学研究科：大塚地区）
- (2) 役職・各種委員
- 1) 経営システム科学専攻入試担当委員

竹原 均

I. 研究活動

- (1) 研究業績

1) 査読付論文・著書

- 1) 久保田敬一, 竹原 均, 「リスクファクターモデルと財務特性モデルの判別: Fama-French model の検証をめぐる問題」, 『現代ファイナンス』8 (2000) 3-16.
- 2) 竹原 均, 「ファイナンシャル・リスクマネージメント」 (共著) 森平爽一郎編, 朝倉書店ファイナンス講座第8巻. (2000)
- 3) 竹原 均, 矢野 学, 「条件付モデルによる証券収益率と投資戦略の評価: マクロ経済変数とファクター構造の時間変化の検証」, 『ファイナンス研究』27 (2001) 1-15.

2) その他の論文

- 1) 竹原 均, 「投資パフォーマンス評価, オプション評価への数理計画法の応用」 『第12回RAMPシンポジウム論文集』(2000)

3) 口頭発表

- 1) Keiichi Kubota, Hitoshi Takehara, "Characteristics or Common Risk Factors? Evidence from Tokyo Stock Exchange Firms", Seventh APFA Finance Conference, July 25, 2000, Shanghai, China.
- 2) 竹原 均, 矢野 学, 「マクロ条件付モデルによる株式投資信託の評価: ベータの時間変化が投資パフォーマンスに与える影響」, 日本経営財務研究会大会, 2000年10月14日 岩手県立大学.

(2) 学会活動

- 1) 日本ファイナンス学会研究観望会幹事

(3) 研究助成

- 1) 文部省科学研究費 奨励研究(A) 「企業年金及び投資信託の運用評価手法の開発」

II 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類 ファイナンスI, 経営工学実習
- 2) 経営・政策科学研究科 多変量解析実習
- 3) システム情報工学研究科 パフォーマンス評価特論
- 4) 総合科目 経営の科学

(2) 各種委員

- 1) 社会工学系 総務委員, 社会工学類 入試実施委員,
- 2) 経営・政策科学研究科 募集委員, システム情報工学研究科 広報委員.

(3) 他大学における教育活動

- 1) 青山学院大学国際マネジメント研究科非常勤講師

竹村 和久

I . 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書・論文

- 1) Boe, O., Selart, M., & Takemura, K. Can eye-gaze recording explain preferences for frequency - and probability based alternatives? *International Journal of Psychology*, 35(3/4), p.268, June - August 2000.
- 2) Selart, M., Boe, O., & Takemura, K. How do decision heuristics and social value orientation influence the building of preferences? *Goeteborg Psychological Reports*, Vol. 30, Number 6, pp.1-22, Goeteborg University, Sweden, September 2000.
- 3) 竹村和久 (編) 消費行動の社会心理学—消費する人間の心と行動 北大路書房 2000年10月.
- 4) Takemura, K. Contingent decision making in the social world: The "Mental Ruler" model. In C-M. Allwood & M. Selart (Eds.), *Decision making: Social and creative dimensions*. Dordrecht, The Netherlands, 153-173, May 2001.
- 5) Fujii, S. & Takemura, K. Risk attitude and attention. *International Journal of Psychology*, 35(3/4), p.269, June-August 2000.
- 6) Takemura, K. On the value function: Fundamental derivations from the mental ruler theory. *International Journal of Psychology*, 35(3/4), p.270, June-August 2000.
- 3) 学会・ワークショップでの口頭研究発表・講演
 - 1) 藤井聡・竹村和久 リスク態度と注意—状況依存的焦点モデルによる計量分析 日本行動計量学会第28回大会発表論文抄録集, 97-100, 2000年9月

- 2) 藤井聡・竹村和久 状況依存焦点モデル：フレーミング効果の計量分析 認知的統計的研究会シンポジウム，東京大学 2001年1月
 - 3) 竹村和久・弁別関，心理物理関数，系列効果の相互関係モデル 日本心理学会第64回大会発表論文集，301，2000年11月
 - 4) 竹村和久 カテゴリー焦点化仮説と心的物差理論 認知的統計的意思決定研究会シンポジウム，東京大学 2000年11月
 - 5) 竹村和久 意思決定における認知と感情の相互作用：焦点化注意仮説の提案 感情と情動の研究會ワークショップ，同志社大学 2001年2月
 - 6) 竹村和久・藤井聡 ワークショップ「行動的決定理論—プロスペクト理論の批判的展開」企画・発表 日本心理学会第64回大会発表論文集，S59 2000年11月．
 - 7) 竹村和久 ワークショップ 「心理学の定義」 発表 日本心理学会第64回大会発表論文集，2000年11月
 - 8) 竹村和久・藤井聡 フレーミング効果の焦点化注意説-その理論と実験 日本社会心理学会大41回大会発表論文集，30-31, 2000年11月
 - 9) Takemura, K. Mental Ruler Theory: A Model of judgment and some empirical findings. Paper presented at the 1st Tsukuba Decision Research Seminar, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, October 2000.
 - 10) Takemura, K. Mental ruler theory of contingent decision making: Mathematical representation and some empirical findings. Paper presented at the Annual Meeting of Society for Judgment and Decision Making Society, New Orleans, LA, November 2000.
 - 11) Takemura, K. Mental ruler theory: Contingent decision making in the social world. Paper presented at Psychology Faculty Seminar, Department of Psychology, University of South Carolina, Columbia, South Carolina, July 2000.
 - 12) Takemura, K. Mental Ruler Theory: A model of decision making and some empirical findings. Proceedings of the 28th Annual Meeting of the Behaviormetric Society of Japan, Tokyo, Japan, 363-366, October 2000.
 - 13) Takemura, K. & Selart, M. Decision making with information search constraints: An analysis of information search pattern and perceived inner states. Proceedings of the 48th Annual Meeting of the Japanese Group Dynamics Association, Tokyo, Japan, 78-81, September 2000.
- (2) 学会活動
- 1) 日本行動計量学会学会誌編集委員、日本ファジィ学会ノンエンジニアリング研究部会幹事。
- (3) 研究助成
- 1) 文部省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 状況依存的な判断と意思決定の実験とその計量モデル・数理モデル・表現定理の解明(11610067) 研究代表者

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 マーケティング
 - 2) 経営・政策科学研究科 マーケティング 経営演習II
 - 3) システム情報工学研究科 消費者行動特論
 - 6) 総合科目 経営の科学
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 上智大学経済学部、京都大学工学部、University of South Carolina で分析技法や意思決定に関する講演を行い、教育・研究についての意見交換や打ち合わせを行った。

III. 社会的活動

- 1) 客員研究員

文部省統計数理研究所共同研究員、フルブライト上級研究員（カーネギーメロン大学社会意思決定学部(平成12年9月まで)、カーネギーメロン大学工学・公共政策学部プレコウシャス原理研究プロジェクトメンバー（平成12年9月まで）として研究を行った。
- 2) 講演等

マーケティング研究協会、建設省土木研究所、日本能率協会での意思決定研究やマーケティングに関する講演や当該の機関との共同研究に関する意見交換や打ち合わせを行った。

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文

- 1) Tatamitani, Y., ÅImplementation by Self-Relevant Mechanisms, Å*Journal of Mathematical Economics*, Vol. 35, No. 3, pp. 427-444, 2001.

3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など

- 1) 東京都立大学経済学部, 統計研究会 金融・財政研究委員会(財政班)にて ÅImplementation by Self-Relevant Mechanisms Å ÅImplementation by Self-Relevant Mechanisms: Algorithms and Applications Åを報告

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類: ミクロ経済学, 公共経済学,
- 2) 経営・政策科学研究科: ゲーム理論
- 3) システム情報工学研究科: 公共経済特論
- 4) 総合科目: 経済学入門、フレッシュマン・セミナー

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系: 予算委員
- 2) 社会工学類: 運営幹事
- 3) 経営・政策科学研究科: 入試委員, 防災委員

III. 社会的活動

- 1) 東京経済研究センター客員研究員
- 2) 統計研究会 金融・財政研究委員会(財政班) 委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー

- 1) An integrated routing and admission control mechanism for real-time multicast connection establishment (with X. Jia), *Int. J. Communication Systems*, Vol. 14, No. 3, pp.287-303 (Apr. 2001).
- 2) Optimal wavelength converter placement in optical networks by using a genetic algorithm (with J.H. Siregar and H. Takagi), *Proc. Symp. Perf. Models for Inf. Commun. Net.*, Kyoto, pp. 40-49 (Jan. 2001).
- 3) Search process evaluation for a hierarchical menu system by Markov chains (with T. Yamamoto, M. Kitajima and H. Takagi), *Proc. Symp. Perf. Models for Inf. Commun. Net.*, Kyoto, pp. 189-198 (Jan. 2001).
- 4) A distributed channel allocation strategy based on a threshold scheme in mobile cellular networks (with X. Jia), *Proc. PQNET2000*, Nagoya, pp. 157-168 (Nov. 2000).

2) 1) 以外の論文など

- 1) Search Process Evaluation for a Hierarchical Menu System by Markov Chains (with H. Takagi, M. Kitajima, and T. Yamamoto), Discussion Paper No. 929, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba (Apr. 2001).
- 2) A Load Balancing Facility Using Agles, a Java-based Mobile Agent System (with T. Sawano and H. Takagi), Discussion Paper No. 898, (Feb. 2001).
- 3) D-CAT: A Distributed Channel Allocation Strategy based on A Threshold Scheme for Cellular Mobile Networks (with X. Jia and S.K. Das), Discussion Paper No. 899, (Feb. 2001).
- 4) Transaction Scheduling with Temporal Data in Real-Time Database System, Discussion Paper No. 900 (Feb. 2001).
- 5) Optimal Wavelength Converter Placement in Optical Networks by Genetic Algorithm (with J.H. Siregar and H. Takagi), Discussion Paper No. 920, (Apr. 2001).

(2) 学会活動

- 1) Program Committee Member for Workshop of Network and Mobile Computing, IPDPS.

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 情報ネットワーク (社会工学類)
 - 2) 計算機科学 (社会工学類)
 - 3) 情報基礎及び実習 (社会工学類)
 - 4) 社会工学情報実習I(社会工学類)
 - 5) 経営情報システム演習(社会工学類)
 - 6) 経営工学実習 (社会工学類)
 - 7) シミュレーション (経営・政策科学研究科)
 - 8) 情報ネットワーク特論 (システム情報工学研究科)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 学系コンピュータ委員会委員
 - 2) 学系技官委員
 - 3) 経営・政策科学研究科 機器委員
 - 4) システム情報工学研究科 情報機器委員

鄭 小平 (Xiao-Ping Zheng)

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 鄭小平著、『地域政策の理論と実践』、大学教育出版、2001年6月、295頁
 - 2) Xiao-Ping Zheng, Determinants of Agglomeration Economies and Diseconomies: Empirical Evidence from Tokyo. *Socio-Economic Planning Sciences*. 2001, Vol.35, pp.131-144.
 - 3) Xiao-Ping Zheng, On Regional Productivity and Transportation Networks: Evidence from the Northeastern Region of China. *Proceedings of the Second International Conference on Decision Making in Urban and Civil Engineering*, 2000, Vol.2, pp.215-222, Edited by Jean-Claude Mangin and Marcel Miramond, Lyon, France.
- (2) 学会活動
 - 1) 国際地域学会機関誌 *Papers in Regional Science* の Editorial Board メンバー
- (3) 研究助成
 - 1) 「日本の都市システムの構造と最適化に関する実証的政策研究 (継続)」 日本学術振興会科学研究費補助金・奨励研究 (A) (研究代表者、課題番号11730024)

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 地域開発政策 (社会工学類)
 - 2) 社会工学情報処理実習3 (社会工学類)
 - 3) 地域科学演習2 (社会工学類)
 - 4) 地域計量分析 (経営・政策科学研究科)
 - 5) 都市経済学演習 (システム情報工学研究科)
- (2) 各種委員
 - 1) 社会工学系図書委員
 - 2) 社会工学類予算委員
 - 3) 社会工学類就職委員

津田 和彦

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) 高橋正和, 津田和彦: “プラントソフトウェアの効率的な要求定義法”: 情報処理学会論文誌, Vol42, No.3, pp.518-528, (2001.03)
 - 2) Osamu Yamagata, Masahiro Sakamoto, Kazuhiko Tsuda : ÅhA Study of Efficient Access to Homepage Åh 2000 International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-

- CSCC2000), Hotel Paradise, Pusan, Korea, pp.707-710 (July 11-13, 2000).
- 3) Kazuhiko Tsuda, Osamu Yamagata, Michitada Morisue : Shopping-Chances in Web-pages discovered from User's Access Logs 4th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems (KES2000), Brighton, UK, pp.800-803 (2000).
 - 4) Osamu Yamagata, Noboru Kataoka, Kazuhiko Tsuda, Mitada Morisue : Method of Visualizing Homepages Using Certain Quantifiers and its Verification The 15th International Conference on Information Networking (ICOIN-15), (31 Jan-2 Feb 2001).
 - 5) Masakazu Takahashi, Takao Terano, Kazuhiko Tsuda, : Estimation of Lines of Codes and the Execution Time of Embedded System. 3rd International Workshop on Emergent Synthesis (IWES'01), Hotel Vila Bled, Bled _ Slovenia (March 12th _ 13th, 2001).
- 2) 査読のない論文など
 - 1) 高橋正和, 津田和彦 : “PDMを用いたシステム開発文書の効率的な管理”, 情報処理学会第61回 (平成12年後期) 全国大会, 4 S-02(2000.10)
 - 2) 高橋正和, 津田和彦 : “PDMを用いたシステム開発文書の効率的な管理”, 情報処理学会第62回 (平成13年前期) 全国大会, 4 S-02(2001.03)
 - 3) 津田和彦, 結束雅雪, 望月久稔, 小山雅史 : “ネットワーク上のデータ共有におけるドキュメント管理手法”, 第15回人工知能学会全国大会, 3B1-01 (2001.05)
 - (2) 学会活動
 - 1) 情報処理学会 知能と複雑系研究会 連絡委員
 - 2) 情報処理学会 会誌編集委員「アプリケーション」
 - 3) 情報処理学会第62回全国大会プログラム編成WG委員
 - 4) 4th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems. (KES2001) International Review Board
 - (3) 研究助成など
 - 1) 学内プロジェクト助成研究 (B) タイトル : 「テキストマイニングにおける知識データベース構築に関する研究」

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) ヒューマン・コンピュータ・インタラクション (経営・政策科学研究科 : 修士課程)
 - 2) 計算機アルゴリズム (経営・政策科学研究科 : 修士課程)
 - 3) 経営システム科学特演 I ~ VI (経営・政策科学研究科 : 修士課程)
 - 4) 知的ドキュメント管理論 (経営・政策科学研究科 : 博士課程)
 - 5) データベース特論 (経営・政策科学研究科 : 博士課程)
 - 6) システムズ・マネジメント特演 I ~ III (経営・政策科学研究科 : 博士課程)
 - 7) システムズ・マネジメント講究 I ~ VI (経営・政策科学研究科 : 博士課程)
- (3) 他大学における教育活動 (非常勤講師など)
 - 1) 徳島大学大学院工学研究科 (非常勤講師)

永井 裕久

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 査読付きProceedings:
 - 1) Nagai, H. Japanese Companies's Contingent Management Style, Society for Advanced Management, March, 20, 2001.
 - 3) 招待講演
 - 1) Nagai, H. Japanese Expatriates's Cross-cultural Adjustment, Cranfield Expatriate Management, June, 14, 2001.
- (2) 学会活動
 - 1) 産業・組織心理学会理事
 - 2) 経営行動科学学会理事
- (3) 研究助成

- 1) 科学研究費（基盤B海外：12572022）「グローバル・プロトコル構築に向けた営業職の商交渉行動に関する国際比較調査」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 経営・政策科学研究科修士課程：経営学基礎、組織行動、人材開発、組織行動輪講I～III
 - 2) 経営・政策科学研究科博士課程：人材開発論、人的資源管理と法
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 国際交流委員、新研究科設立準備委員会WG（入試・広報）
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) フィリピン大学訪問教授（2001年1月～2月）、北京大学訪問教授（2001年5月～6月）

III. 社会的活動

- 1) 「日本企業の国際化にともなう調査」委員会委員（日本労働研究機構）
- 2) 「国際移動者の社会的統合」委員会委員（国立社会保障・人口問題研究所）

野上 佳子

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) Y. Nogami (2000, December). Best symmetric two-sided test for the positional parameter of the uniform distribution. Discussion Paper Series No. 892, Institute of Policy and Planning Sciences, Univ. of Tsukuba.
 - 2) Y. Nogami (2000, December). Optimal two-sided tests for the positional and proportional parameters of the exponential distribution _ comparison with the generalized likelihood-ratio tests-. Discussion Paper Series No. 893. IPPS, Univ. of Tsukuba.
 - 3) Y. Nogami (2001, March). Supplement for Discussion Paper Series No. 856, 857 and 893. Discussion Paper Series No. 913, IPPS, Univ. of Tsukuba.
 - 4) Y. Nogami (2001, March). Optimal two-sided tests for the Cauchy distribution in two-sample problem based on Lagrange's method. Discussion Paper Series No. 914, IPPS, Univ. of Tsukuba
 - 5) Y. Nogami (2001, June). Optimal two-sided test for the location parameter of the uniform distribution based on Lagrange's method. Discussion Paper Series No. 931, IPPS, Univ. of Tsukuba.
 - 6) Y. Nogami (2001, June). Hypothesis testing based on Lagrange's method. Discussion Paper Series No. 932, IPPS, Univ. of Tsukuba.
 - 7) 野上佳子(2000). 「Unbiased tests for location and scale parameters」, 第68回日本統計学会(北海道大学) 講演報告集

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 数理解析II

平瀬(西尾) チヅル

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) 「生活者に受容されやすいエコロジー商品」 消費者情報No.319, pp.12-15, 2001年3月
 - 3) 査読なし口頭発表
 - 1) 「循環型社会と消費者行動」 日本消費者行動研究学会第21回消費者行動研究コンファレンス, 2000年11月.
- (2) 学会活動
 - 1) 日本マーケティング・サイエンス学会 理事
 - 2) 日本マーケティング・サイエンス学会 学会誌編集委員
 - 3) 日本ファジィ学会評価問題研究部会幹事
- (3) 研究助成など

- 1) 松下電器産業株式会社より「マーケティングおよび消費者行動研究の知見からのECサービス実証実験におけるマイニング効果検証に関わる研究」に対する助成金（奨学寄付金）

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻
「マーケティング」、「消費者行動」、「経営システム科学II」、「マーケティング輪講I～III」
「経営システム科学特別研究」
 - 2) 経営・政策科学研究科企業科学専攻
「マーケティングと消費者行動」「システムズ・マネジメント講究」
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻教育担当。
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 千葉工業大学非常勤講師「マーケティング」

III 社会的活動

- 1) 学生広告論文電通賞審査委員
- 2) (財)クリーン・ジャパン・センター 環境・リサイクル配慮型製品に係わる新市場創出に関する調査研究委員会委員

牧本 直樹

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー。
 - 1) K. Katou and N. Makimoto, ÅUpper bounds for the decay rates of the joint distribution in two-node Markovian queuesÅh Advances in Algorithmic Methods for Stochastic Models, Nortable Publications, pp. 215-233, 2000.
 - 2) 牧本直樹「待ち行列アルゴリズム 行列解析アプローチ」, 朝倉書店, 2001.
 - 3) Y. Takahashi, K. Fujimoto and N. Makimoto, ÅGeometric decay of the steady-state probabilities in a quasi-birth-and-death process with a countable number of phasesÅh Stochastic Models, pp.1-24, 2001.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など。
 - 1) K. Konishi and N. Makimoto, ÅOptimal slice of block tradeÅh Applied Probability '00, 会津大学, 2000.
- (2) 学会活動
 - 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会40周年記念国際交流委員
 - 2) ÅThe 4th International Conference on Matrix-analytic Methods in Stochastic ModelsÅh プログラム委員
 - 3) 「情報通信ネットワークの新しい性能評価法に関する総合的研究」シンポジウム実行委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 文部省科学研究費補助金 奨励研究(A) 「動画像データのトラフィック特性と情報ネットワーク性能評価に関する研究」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 「確率と統計基礎」, 「確率モデル」, 「オペレーションズ・リサーチ演習」 (経営・政策科学研究科経営システム科学専攻)
 - 2) 「応用確率論」 (経営・政策科学研究科企業科学専攻)
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 教育委員 (経営システム科学専攻)
 - 2) SCS委員 (経営システム科学専攻)
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 東京工業大学大学院非常勤講師 (計画数理II)

安田 八十五

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 審査付き論文

- 1) 清水利晃・安田八十五・大谷仁史・稲葉敦、解体性に着目したビデオテープカセットのリサイクル性の評価、廃棄物学会論文誌、第11巻、第5号、P P. 241-250、平成12年9月。
- 2) Minoru MAKUTA, Yuichi MORIGUCHI, Yasoi YASUDA, Shigeho SUENO, Evaluation of the effect of automotive bumper recycling by life-cycle inventory analysis, Journal of Material Cycles and Waste Management, Vol.2, No.2, pp.125-137, 平成12年9月。
- 3) 佐々木 智代・安田 八十五・Michel Simader・磯部 眞弓、自治体におけるアルミ缶処理費用の分析、環境経済・政策学会2000年大会・要旨集、平成12年9月30日-10月1日、筑波国際会議場、pp.240-241。
- 4) 大島克哉・安田八十五・藤本順也、廃棄物処理有料化政策に関する総合評価—一般的理論的フレームの構築—、環境経済・政策学会2000年大会・要旨集、平成12年9月30日-10月1日、筑波国際会議場、pp.144-145。
- 5) 沼田和敏・安田八十五・岡本直久・古屋秀樹、顕示選好(RP)データと表明選好(SP)データの補完性を用いた環境財評価の妥当性の分析—霞ヶ浦の環境価値評価に関する事例研究—、環境経済・政策学会2000年大会・要旨集、平成12年9月30日-10月1日、筑波国際会議場、pp.128-129。
- 6) 安田八十五・青木俊博、統一規格リターナブルびんの軽量化による環境負荷低減効果の評価、第11回廃棄物学会研究発表会講演論文集、pp.93-95、平成12年11月。
- 7) 安田八十五、ペットボトルのリサイクルシステムに関する評価と政策分析、筑波大学 社会学系 Discussion Series No.896 平成13年1月(廃棄物学会論文誌、第12巻、第5号、pp.229-234、平成13年9月に掲載決定)。
- 8) 安田八十五、廃棄物の固形燃料化によるPFI型発電事業の評価と政策分析、MACRO REVIEW(日本マクロエンジニアリング学会誌)、第14巻、第1号、通巻22号、pp.2-16、平成13年5月。
- 9) 安田八十五・大島克哉、廃棄物処理有料化政策の評価理論と実証分析、日本経済政策学会、第58回大会報告要旨集、pp.116-117、平成13年5月。

2) その他の論文

- 1) 安田八十五 他、循環型社会基本法が成立—「ごみゼロ社会」実現へ前進—、公明新聞、平成12年5月27日(土)
- 2) 安田八十五 他、地球派企業とともに学びたい! これからのモノづくりと消費のあり方、元気なごみ仲間の会 編、ごみから未来を学びたい2、循環社会は企業と市民が造り出す、pp.32-56、平成12年5月、(株)日報企画販売発行。
- 3) 安田八十五、ごみ問題から社会システムを問う、「造景」No. 27, pp.41-43, 平成12年6月、建築資料研究社発行。
- 4) 安田八十五、科学を超える何かとの出会いを求めて—キリスト教的環境科学の構築をめざして—、磯子第79号、pp. 22-24、平成12年6月、カトリック磯子教会発行。
- 5) 安田八十五、海外諸国のリサイクル事業とわが国建設業の役割、日刊建設工業新聞、平成12年6月16日(金)。
- 6) Raymond Spencer and Yasoi Yasuda, Environmental and Economic Evaluation of Refuse Derived Fuels: With a Special Focus on the Application of Japanese Technology in Canada, June, 2000, Discussion Paper Series, No.868, University of Tsukuba
- 7) Yasoi Yasuda and Hisashi Ymanaka(2000), Comprehensive Evaluation of the Public Policy for Making Solidified Fuel and Compost out of Waste—Case Study for Nogi Town, Tochigi Prefecture, JAPAN—, June 2000, Discussion Paper Series, No.869, University of Tsukuba.
- 8) 安田八十五・小林千草、「循環型社会」をめざして、「潮」7月号、第497号、pp.76-85、平成12年7月、株式会社潮出版社発行。
- 9) 安田八十五・濱健夫・吉野邦彦・川邊みどり、霞ヶ浦の価値の測定と評価に関する方法論の開発と適用、平成11年度環境科学研究科年報第23号、平成12年7月、pp. 62-66、筑波大学大学院 環境科学研究科発行。

- 10) 安田八十五・山口和敏、自然公園の経済的価値に関する評価と測定：茨城県牛久自然観察の森における事例研究、筑波大学社会工学系安田研究室研究報告シリーズ2000-8、平成12年8月。
 - 11) 安田八十五、ごみリサイクル費用の公平な負担ー飲料容器の環境面及び経済面からの総合評価と比較ー、リターナブルびんの普及を目指す連続セミナー第2回：2000年9月21日、びん再使用ネットワーク。
 - 12) 安田八十五・佐々木美智子、どうする？どうなる？環境教育⑦ー本当の豊かさと環境の両立をー「社会人のための環境経済学：関東学院大学大学院安田ゼミ」、月刊「リサイクルデザイン」、第72号、平成12年9月号、pp. 5、横浜市資源リサイクル事業共同組合発行。
 - 13) 安田八十五、大都市自治体におけるごみリサイクル政策大改革の提言ーごみゼロ資源循環型都市の構築をめざせー、「技術と経済」、通巻405号、平成12年11月号、pp. 30-37、(社)「科学技術と経済の会」発行。
 - 14) 安田八十五、循環型社会構築の課題と展望ー循環法から展望する二十一世紀の社会ー、月刊「自治研」、第24巻、第494号、pp. 16-17、平成12年11月、自治研中央推進委員会事務局発行。
 - 15) 安田八十五他、干潟環境はいくら？、千葉日報、平成12年11月17日(金)。
 - 16) 安田八十五 他、自然を「貨幣換算」ー第3空港反対グループ：価値に客観性ー住民にアンケート：主張の裏づけー、神奈川新聞、平成12年12月5日(火)。
 - 17) 安田八十五 他、木更津の「盤洲干潟」：お値段はいくら？ー地元市民にアンケート調査：環境を“金額”で算定ー、「都会の貴重な自然」どのような評価：関係者も結果に注目、産経新聞、平成12年12月3日(日)。
 - 18) 安田八十五、私たちは21世紀のガラスびんに期待します。ーリターナブルびん優位の社会システムづくりをー、「g o b」ガラスびんコミュニケーション、第123号、平成12年12月号、pp.5、「日本ガラスびん協会」発行。
 - 19) 安田八十五、ごみ問題から考える21世紀の社会、B.C. (Business Connection of Institution Urban Renewal)、Vol. 57、平成13年1月号、pp.6-9、「都市基盤整備公団再開発施設懇話会事務局」発行。
 - 20) 安田八十五・勝田由佳子、仮想的市場評価法による尾瀬における自然環境の経済的価値の評価、筑波大学 社会工学系 Discussion Series No.903, February 2001.
 - 21) Yasoi Yasuda and Hisashi Yamanaka, Benefit evaluation on the public policy for making refuse derived fuels and compost out of municipal solid waste- A case study for Nogi Town, Tochigi prefecture, Japan -, 筑波大学社会工学系 Discussion Series No.904, February 2001.
 - 22) 安田八十五 他、「盤洲干潟」はいくら？ー市民対象の調査で換算ー、毎日新聞(千葉県版)、平成13年5月17日(木)。
 - 23) 安田八十五、ごみから社会を見つめ直すー環境にやさしいごみゼロ資源循環型社会をめざしてー、第25回神奈川県環境・公害研究合同発表会講演要旨集、pp.17-21、平成13年6月6日(水)。
- (2) 学会活動
- 1) 日本経済政策学会理事
 - 2) 日本マクロエンジニアリング学会理事.ゴミ問題研究委員会副委員長
 - 3) 廃棄物学会廃棄物経済研究部会副会長
 - 4) 環境経済・政策学会2000年大会にて研究発表(平成12年9月)
 - 5) 第10回廃棄物学会研究発表会にて論文発表(平成12年11月)
 - 6) 東京湾海洋研究会顧問
- (3) 研究助成など
- 1) (財)河川環境管理財団から「水環境の経済的価値の評価と測定に関する方法論開発と適用」に関する研究の助成研究、調査研究報告書作成
 - 2) (財)河川環境管理財団から「霞ヶ浦の価値はいくらか」に関する研究の助成研究、調査研究報告書作成

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 都市計画実習 I、環境政策
 - 2) (経営・政策科学研究科：筑波地区) 環境政策学
 - 3) (環境科学研究科) 社会環境システム論、環境政策学実習、環境科学Ⅱ、環境科学実習、資源エネルギー環境論(世話人)
 - 4) (システム情報工学研究科) 環境経済政策学特論、環境経済政策学演習
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 大学院環境科学研究科予算委員
 - 2) 社会工学類入試実施委員長(平成12年5月まで)
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 関東学院大学大学院経済学研究科講師(環境経済学特別講義)

III. 社会的活動

- 1) 東京都新宿区リサイクル清掃審議会副会長
- 2) 通省産業省(現在: 経済産業省)・社団法人日本アルミニウム協会「アルミ缶リサイクルシステムに関する調査研究委員会」委員長
- 3) ごみ問題とリサイクル政策に関して、全国各地の自治体等多数箇所で開催活動を実施

横張 真

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 審査付論文・著書
 - 1) 広原 隆, 横張 真, 多品目生産適正からみた都市農業適地の評価とその分布形態の解明, 2000, 10, 農村計画学会論文集, 19巻別冊, 25頁~30頁
 - 2) Yokohari, M, Brown, R.D, Kato, Y, Yamamoto, S, The cooling effect of paddy fields on summer time air temperature in residential Tokyo, Japan. 2001. 2, Landscape and Urban Planning, 53巻1/4号, 17頁~28頁
 - 3) 雨宮 護, 横張 真, 沿道土地利用の違いからみた街路樹の修景効果の解明, 2001. 3, 日本造園学会誌, 64巻5号, 787頁~792頁
 - 4) 岩村高治, 横張 真, 神戸市における地域住民による公園管理の実態とその展望, 2001. 3, 日本造園学会誌, 64巻5号, 671頁~674頁
 - 5) 栗田英治, 横張 真, 里山ランドスケープの保全に果たすゴルフ場の役割とその管理手法, 2001. 3, 日本造園学会誌, 64巻5号, 589頁~594頁
 - 6) 山口理枝子, 横張 真, 北米のグリーンウェイ計画の変遷と社会的背景, 2001. 3, 日本造園学会誌, 64巻5号, 865頁~870頁
 - 7) 横張 真(分担): 農村整備用語辞典, 2001. 4, 農村開発企画委員会, 100頁~102頁
 - 8) 横張 真, 山口理枝子(分担): 建築資料集成, 2001.6, 丸善出版, 506~507頁
 - 2) 論文(審査無し)・proceedingsなど
 - 1) Yokohari, M and Watanabe, T: Mixture of Urban and Rural Land Use as the Vernacular Landscape of Asia. 2000.8, CELA2000 proceedings, 82頁
 - 2) Watanabe, T, Yokohari, M, Amemiya, M, Amati, M: Sequential analysis of human impressions on tree-lined streetscapes: ; A case study of boulevards in Tsukuba Science City, Japan, 2000. 8, CELA2000 proceedings, 68頁
 - 3) 横張 真: 水田の気温低減効果. 2001. 3, 農林統計調査, 51巻3号, 25頁~33頁
 - 4) 横張 真: 北米のグリーンウェイ計画, 2001. 4, 道路と自然, 111, 25頁~29頁
 - 5) Yokohari, M., T. Watanabe, and T. Hirohara, Restoring ecological relationships between urban and rural landscapes. 2001. 4, IALE2001 proceedings, 226頁
- (2) 学会活動
 - 1) 日本造園学会・理事・編集委員会委員
 - 2) 農村計画学会・理事・学術委員会委員

- 3) 日本都市計画学会・学術委員会委員
- 4) 国際景観生態学会日本支部・幹事
- 5) 国際造園学会日本支部・理事
- 6) Editorial board member of the Journal of Landscape and Urban Planning (Elsevier)
- (3) 研究助成
 - 1) 文部省科学研究費：基盤研究B(2) 12460012 (研究代表者) 「持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究」
 - 2) (社) 道路緑化保全協会研究助成金 (研究代表者) 「シーケンシャル解析手法を用いた沿道景観に対する街路植栽の影響に関する研究」
 - 3) (財) 日本生命財団研究助成金「里地自然保全戦略の構築」

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 地域資源計画, Introduction to Urban and Regional Planning, 都市計画実習 I
 - 2) (システム情報工学研究科) 緑地環境計画特講
 - 3) (環境科学研究科) 地域環境共生論, 環境計画実習
 - 4) (全学・総合科目) 都市・地域・環境を探る
- (2) 役職・各種委員
 - 1) (社会工学類) 運営委員
 - 2) (システム情報工学研究科) 入試実施委員
 - 3) (環境科学研究科) 予算委員
 - 4) (社会工学研究科) 予算委員
 - 5) (全学) キャンパスリニューアル実施委員 (緑地景観担当),
 - 6) JTP (短期交換留学プログラム) 委員
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 非常勤講師 (東京大学農学部)
 - 2) 客員教授 (University of Guelph, Canada)

III. 社会的活動

- 1) 2005年国際博覧会プロジェクトチーム委員
- 2) 埼玉県土地政策課, 緑政課による委員会委員
- 3) 埼玉県大宮市環境基本計画策定委員会委員
- 4) 埼玉県志木市緑の基本計画策定委員
- 5) 東京都板橋区森林保護協力委員
- 6) 茨城県つくば市土地活用等具現化方策検討委員会委員
- 7) 茨城県常磐新線沿線地区開発協議会委員

李 明宰 (Myoung-jae Lee)

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) Lee, M.J., 2000, First-difference estimator for panel censored-selection models, Economics Letters 70, 43-49.

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) Econometrics II (システム情報工学研究科)
 - 2) Econometrics I (経営・政策科学研究科)

渡辺 俊

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー

- 1) 形態規制の変遷からみた不整形な建築物群が形成する不連続な都市景観の形成過程について 都市計画学会平成12年度都市計画論文集、763頁～768頁、2000年11月
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 四合院住区調査データの統合化 -北京豊盛地区の四合院住区の構成原理に関する研究・その2- 日本建築学会 大会学術講演梗概集E-2、225頁～226頁、2000年9月
- (2) 学会活動
 - 1) 日本建築学会 論文集編集委員、他
- (3) 研究助成など
 - 1) 天録学術研究基金 「伝統的都市の現代化における空間制御を支援する情報技術の開発」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 社工情報処理実習3, 都市施設計画, 都市計画実習2, 都市デザイン演習
 - 2) (環境科学研究科) 環境デザイン論
 - 3) (システム情報工学研究科) 地理情報システム特論
- (3) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類 学生担当教官・コンピュータ委員会委員
 - 2) 社会工学系 コンピュータ委員会委員
 - 3) システム情報工学研究科 広報委員会委員

石井 健一

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 「東アジアの日本大衆文化」 蒼蒼社
 - 2) 「日本人の情報行動2000」 東京大学出版会
 - 3) 「インターネット、携帯電話、PHSの高度利用に関する調査研究報告書」 財団法人マルチメディア研究センター
 - 4) 「インターネットの利用動向に関する実態調査」 通信総合研究所
 - 5) 「消費行動の社会心理学」 第12章「文化受容と消費行動」 北大路書房
- (3) その他の研究活動
 - 1) A Comparative Study of Personal Web Pages, paper presented at 4th Internet Development in the Asia Pacific IAMCR 2000 Singapore
 - 2) Japanese Popular Culture in Taiwan and Hong Kong, Paper presented at annual meeting for APSA at Kansai Gakuin University
 - 3) 2001年度第13回日中社会学会大会「中国のポピュラーカルチャー」コメンテーター
 - 4) 第18回情報通信学会大会「情報行動研究会 -ワールドインターネットプロジェクト」発表

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 社会調査・実習, 社会経済実習
 - 2) (経営・政策科学研究科) コミュニケーション論, 社会調査論
 - 3) (総合科目) フレッシュマン・セミナー
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 学生委員
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 静岡県立大学国際関係学部 「東アジアにおける日本のポピュラー文化の流行とその背景」2001年1月

祝迫 得夫

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 「資産価格モデルの現状：消費と資産価格の関係の巡って」現代ファイナンス, No.9, 2001年3月, pp.3-39.
 - 2) Consumption and Recessions: Japan in the 1990s and US during the Great Depression (September 2000, 19 pages, under consideration.)
 - 2) 論文(審査無し)・proceedingsなど
 - 1) 書評: *Restoring Japan's Economic Growth, by Adam S. Posen.* Journal of Asian Business, Vol.16, No.3, pp110-111.
- (3) 研究助成など
 - 1) 科研費 奨励 (A) 家計の金融資産保有・ポートフォリオ選択についてのマイクロデータ分析
 - 2) 全国銀行財団 企業の内部資本市場の効率性に関する研究 (60万円) .

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会学類：金融論, 社会学概論実習
 - 2) 経営・政策科学研究科：金融政策, 多変量解析実習
 - 3) システム情報工学研究科計量ファイナンス専攻：ファイナンス特論
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 一橋大学経済研究所 (併任)

宇井 貴志

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 論文(審査無し)・proceedingsなど
 - 1) "Generalized Potentials and Robust Sets of Equilibria," working paper, 2000.
 - 2) "Equilibria with Quantal Responses: Comparing Quantal Response Equilibria and Stochastically Stable Equilibria," working paper, 2000.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) Games 2000 (Bilbao, Spain) 、2000年7月
 - 2) 公共経済学セミナーコンファレンス(慶応大)、2001年3月
 - 3) 現代政治経済研究所研究会 (早稲田大学) 、2000年11月
 - 4) ミクロ経済学ワークショップ (東大) 、2000年12月
 - 5) VALDESゲーム理論セミナー (東工大) 、2000年5月
- (3) 研究助成など
 - 1) 科学研究費補助金奨励研究 (A) (2) 「ポテンシャル関数を用いたゲームの均衡選択理論に関する研究」
 - 2) 全国銀行学術研究振興財団「金融危機の連鎖的発生に関する理論的研究」

上田 貴子

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) "A Dynamic Decision Model of Marriage, Childbearing, and Labor Force Participation of Japanese Women", University of Tsukuba, Institute of Policy and Planning Sciences, Discussion Paper Series No. 884
- (3) 研究助成など
 - 1) 科研費「世界4カ国パネルデータによる女性の結婚・出産・就業選択の実証研究」
 - 2) 日本経済研究奨励財団助成金「日韓における少子化と女子労働供給の比較研究」
 - 3) 松下国際財団助成金「少子化と結婚・出産・女子労働供給行動の日韓比較ーパネルデータによる実証研究ー」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類： 開発経済学・情報処理実習2・社会経済実習
 - 2) 経営・政策科学研究科： 計量経済実習・産業労働演習
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類： 広報委員・仕様策定委員・クラス担任
 - 2) 全学： セクシャル・ハラスメント相談員
- (3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）
 - 1) 早稲田大学政治経済学部 非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) TCER（東京経済研究センター）「景気循環の日付研究会」に参加

江口 匡太

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) "Effects of Monitoring Costs on Employment Adjustment and Wage Profiles" Japanese Economic Review, 2000, 568-582.
 - 2) 「雇用保護規制の効果と労働組合」(岡田他編 「現代経済学の潮流2000」東洋経済新報社所収)
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) "Employment Protection Regulations and New Hiring" Discussion Paper CIRJE-F-88, Univ. of Tokyo.
 - 2) "Unions, Job Security, and Incentives of Workers" Discussion Paper CIRJE-F-91, Univ. of Tokyo.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 日本経済学会秋季大会（大阪府立大学）
- セミナーでの発表
 - 2) 九州大学経済学部(2000年8月)
 - 3) 東京大学大学院経済学研究科(2000年12月)
 - 4) 京都大学経済学研究所(CTW 2000年12月)
 - 5) 大阪大学社会経済研究所(2001年5月)
- (3) 研究助成など
 - 1) 科学研究費補助金 奨励研究(A) 「契約の作成と司法判断の相互関係に関する研究」

大江(繁野) 麻衣子

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) M. Shigeno, I. Takahashi and Y. Yamamoto, "Minimum Maximal Flow Problem - An Optimization over the Efficient Set -," Discussion Paper No.912.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 繁野麻衣子「最小カットに対するミニマックス型逆最適化問題」日本応用数学会2000年度年会.
- (2) 学会活動
 - 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会編集委員

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類： 代数学，数理計画，数理計画演習，計算機科学
 - 2) システム情報工学研究科： 離散システム論
 - 3) 経営・政策科学研究科： 基礎数学，離散最適化
- (2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学類広報委員
- 2) 経営・政策科学研究科募集委員
- 3) 社会工学系研究計画委員

岡本 直久

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) みなとの役割と社会経済評価：東洋経済新聞社；共著，2001.4
 - 2) Sampling Rates for Travel Speed Survey with Car Navigation System : Proceedings of World Congress on Intelligent Transport System (CD-ROM)；共著，2000
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) プローブカー調査による交通流特性の分析と今後の課題：第37回土木計画学シンポジウム講演集；pp.131-136，単著，2001
 - 2) 高度情報機器を用いた走行速度調査における抽出率の検討：土木計画学研究・講演集；第23号第1部，pp.671-674，共著，2000
 - 3) 鉄道新線沿線におけるITS技術への利用意向調査：土木学会第55回年次学術講演会講演概要集4；pp.116-117，共著，2000
- (2) 学会活動
 - 1) 土木学会 出版委員会幹事兼委員
- (3) その他
 - 1) 日本交通学会賞（論文の部）：平成12年10月

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類：都市データ分析，地域科学演習Ⅰ，都市計画実習Ⅲ，情報基礎及び実習
 - 2) システム情報工学研究科：プロジェクト評価特論
 - 3) 経営・政策科学研究科：交通システム計画
 - 4) 総合科目：，フレッシュマン・セミナー

加藤 毅

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) 加藤毅「大規模外部研究資金のインパクト」科研費報告書『高等教育政策と費用負担』21-42頁、2001
 - 2) 加藤毅「拡大する研究職とその周縁」科研費報告書『知識生産システムのモード転換とポスト・マス高等教育時代の大学』15-19頁、2001
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 加藤毅「研究者養成過程の研究環境と成果」日本教育社会学会第52回大会
- (3) 研究助成
 - 1) 科研費奨励研究(A)「若手研究者の養成システムに関する政策研究」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 非営利セクターの社会経済学（経営・政策科学研究科）
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 事務情報化専門委員会委員
 - 2) SCS事業実施委員会東京（大塚）地区部会委員
 - 3) 大塚地区学内LAN委員会委員
- (3) 他大学における教育活動

- 1) 教育調査分析法 (非常勤講師 東京大学)

Ⅲ. 社会的活動

- 1) 助成財団センター平成12年第5回セミナー講演 (平成12年12月18日)
「残されたフロンティア ～急増する公的研究費と民間助成財団の役割～」

川邊 みどり

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) Penang Small-Scale Fishers Challenge to Conserve Their Fishing Coast. The Coastal Society 17th International Conference, July 9-12, 2000, Portland, Oregon, US
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 市民によるシギ・チドリ類観察記録を用いた海岸環境評価の試み、社団法人環境科学会 2000 年会、2000年9月21日、明海大学.
 - 2) 諫早・有明の海は生き返るのか ―森文義さん・中田猶喜さんに聞く―(インタビュー)、水情報 Vol. 20, No. 4, 10-13.
- (2) 学会活動
 - 1) 月刊「水情報」編集委員
 - 2) エビ問題研究会事務局
- (3) 研究助成など
 - 1) 「アジアからの輸入一次産品に対する、環境保全を目的とする経済的手段導入可能性に関する研究」、三島海雲記念財団平成12年度学術奨励金(50万円)
 - 2) 「都市沿岸の多面的環境評価に関する研究 ―東京湾を事例として―」H12年度学内プロジェクト(95万円)

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 社会調査法および実習 地域科学演習Ⅱ
 - 2) (環境科学研究科) 環境総合評価論 環境政策評価論
- (2) 各種委員
 - 1) 社会工学系総務レクリエーション委員
 - 2) 社会工学類施設委員
 - 3) 環境科学研究科環境科学実習委員

姜 晟振 (Sung Jin Kang)

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) Financial Repression and External Openness in an Endogenous Growth Model, 2000, *Journal of International Trade and Economic Development* Vol. 9, No. 4, 427-443. (with Yasuyuki Sawada).
 - 2) Identification of Vulnerable Groups and Coping Strategies in Korea (with Chorching Goh and Yasuyuki Sawada), 2001, presented at the Third Asian Development Forum, pp.27, June 12-14, 2001, Bangkok, Thailand.
 - 2) 1) 以外の論文など (査読のないproceedings、商業誌の論文、ディスカッションペーパーを含む)
 - 1) ÅgQ-convergence with Interquartile Ranges Åh, *Institute of Policy and Planning Science Discussion Paper Series* No.923, University of Tsukuba, May 2001, pp.23 (with Myeongjae Lee).
 - 2) ÅgIncome Distribution and Transfer Income as a Social Safety Net in Korea Åh, *Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series* No.925, University of Tsukuba, May 2001, pp.17, (with Man Woo Lee).
 - 3) ÅgThe Evolution of Regional Income Distribution of Japan Åh, *Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series* No.930, University of Tsukuba, June 2001, pp.1-20.
- (3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト : The Evolution of Regional Income Distribution of Japan

Ö† 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 国際経済学
 - 2) 国際貿易論
 - 3) 多国籍企業論
 - 4) 国際学ゼミナールI、II
 - 5) 国際政治経済学II研究
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学系図書委員会委員

近藤 文代

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) Kondo, F. N. and Kitagawa, G. (2000), Forecasting with time-varying competitive structure models: Application to daily scanner sales, Research Memorandum No.765, the Institute of Statistical Mathematics.
 - 2) 意思決定のためのマーケティング工学アプローチと多変量時系列構造モデル, 統計数理研究所共同研究レポート142 統計数理とデータマイニング, 発見科学2 2001年3月 統計数理研究所, p.53-63.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 公開講座 要論A 「情報量規準の世界」(2.5時間)7月3日(月)～7日(金) 10時～16時統計数理研究所講堂 7月7日 午後担当 多変量時系列構造モデルの構築におけるAICの役割
 - 2) 研究集会『統計数理、データマイニングと発見科学』 11月6日(月),7日(火) 統計数理研究所講堂 11月6日(月)16:30 - 17:30 意思決定のためのマーケティング工学アプローチと多変量時系列構造モデル
 - 3) 2nd International Symposium on Frontiers of Time Series Modeling: Nonparametric Approach to Knowledge Discovery December 14 (Thurs.)-17 (Sun.), 2000 Nara-ken New Public Hall, 101 Kasugano, Nara, Japan State space forecasting on daily shipment by product/channel (co-authored with Suzuki)
- (3) 研究助成など
 - 1) 科学研究費基盤(C) 日次POSデータの価格反応分析、90万円.
 - 2) 奨学寄付金 需要予測と業務適応への研究、50万円.

II . 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) (社会工学類) 情報基礎および実習 社会工学概論及び実習
 - 2) (経営・政策科学研究科:筑波地区) マーケティング・サイエンス
 - 3) (総合科目) 経営の科学 フレッシュマン・セミナー
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類学生担当教官
 - 2) 社会工学類図書委員
 - 3) 経営・政策科学研究科総務(パンフレット委員)

後藤 順哉

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 2) 査読のない論文など
 - 1) J. Gotoh and H. Konno, "Bounding Option Price by Semi-Definite Programming: A Cutting Plane Algorithm", 東京工業大学 CRAFT Preprint Series 2000-10, 2000.

- 2) H. Konno, J. Gotoh, S. Uryasev and A. Yuki, "Failure Discrimination by Semi-Definite Programming", 東京工業大学 CRAFT Preprint Series 2001-2, 2001.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) H. Konno and J. Gotoh, "Failure discrimination and rating by semi-definite programming", 17th International Symposium on Mathematical Programming, Georgia Institute of Technology, Atlanta, U.S.A.
- (3) 研究助成など
 - 1) 平成12年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費） "予測可能性最大化ポートフォリオ問題の効率的解法の研究"

鈴木 勉

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 渡部大輔・鈴木 勉：「規模の経済性を考慮した階層的収集・配送輸送システムに関する研究」, 都市計画論文集, 35, 1027-1032.
 - 2) 鈴木 勉：「サービスの組合せに着目した複合サービス施設の最適配置」, 日本建築学会計画論文集, 540, 189-195.
 - 3) 大山 崇・鈴木 勉：「周遊距離Voronoi図とそれを用いた商業立地分析」, 日本応用数理学会論文誌, 11(1), 1-14.
 - 2) 査読のないproceedings, 商業誌の論文, ディスカッションペーパー
 - 1) Mark S. Daskin (原著者), 鈴木 勉 (訳)：「P-ノードセンター問題の新解法：アルゴリズムと計算結果」, オペレーションズ・リサーチ, 45(9), 428-436.
 - 2) 鈴木 勉：「土地費用に着目した施設複合化と配置のモデル分析」, OR学会2000年度秋季研究発表会アブストラクト集, 66-67.
 - 3) 大山 崇・鈴木 勉：「周遊距離を用いたVoronoi図」, OR学会2000年度秋季研究発表会アブストラクト集, 74-75.
 - 4) 大山 崇・鈴木 勉：『周遊距離Voronoi図とその商業立地への応用』, Discussion Paper Series No. 877, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
 - 5) 日本交通政策研究会：『運輸システムの高度化によるCO2排出抑制』, 分担執筆.
 - 6) 鈴木 勉・江村竜哉：「回遊行動に着目した商業地における休憩需要分布」, 2000年度日本建築学会関東支部研究報告集, 101-104.
 - 3) 査読なし口頭発表, 学会による招待講演など
 - 1) Tsutomu Suzuki and Takashi Ohyama: "Tour-Distance Voronoi Diagram and Agglomeration in Spatial Competition," presentation at the INFORMS International Hawaii, June 17-20, Maui, Hawaii.
- (2) 学会（国際・国内）活動
 - 1) 日本都市計画学会学術研究発表会論文審査部会委員
 - 2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会IAOR委員会委員
 - 3) 日本建築学会地球環境委員会都市対策WG委員
- (3) 研究助成（科研費, 学内プロ, 受託研究など）
 - 1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究(C)）「複合施設の最適配置と圏域構成に関する研究」

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 統計学 都市計画実習1 立地解析
 - 2) 環境科学研究科 統計処理法 環境計画実習
 - 3) システム情報工学研究科 都市成長管理論演習
 - 4) 総合科目 都市・地域・環境を探る
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類広報委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員

鈴木 秀男

I. 研究活動

(1) 研究業績

1) 著書および査読つき論文

- 1) Hideo Suzuki and Yoshimasa Morita, "Order-Logit Map: Internal Analysis of Preferences from Preference Ordered Data", 14th of The Asia Quality Symposium, Taipei, November 3, 2000, The Proceedings of The Asia Quality Symposium, pp.147-150.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 鈴木秀男, 「重み付き平均アルゴリズムを用いた判別手法の統合化とその検証」, 日本品質管理学会, 2001年5月, 第66回年研究発表会, pp.181-184.

(2) 学会活動

- 1) 日本品質管理学会誌編集委員、日本品質管理学会国際委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費(奨励研究A、代表) 「ブートストラップ法を用いた品質管理、マーケティング手法に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類：社会工学概論及び実習、経営工学実習、応用確率論
- 2) 経営・政策科学研究科：品質管理
- 3) システム情報工学研究科：統計解析特論

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学類：カリキュラム委員、4年クラス担任
- 2) 社会工学系：予算委員
- 3) 経営・政策科学研究科：募集委員

(3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）

- 1) 東京経済大学非常勤講師、明治大学非常勤講師

Stephen John Turnbull

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) システム情報工学研究科 情報経済システム 特別講義
- 2) 経営・政策科学研究科 ミクロ経済学
- 3) 社会工学類 経済動学 情報処理実習 I I.

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系 コンピュータ委員
- 2) システム情報工学研究科 入学試験英語問題／採点
- 3) 経営・政策科学研究科 入学試験英語問題／採点
- 4) 社会工学類 外国語センター委員 3年次クラス担任 学生委員

Tiwari, K. Piyush

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Tiwari, P., "An analysis of sectoral energy intensity in India", *Energy Policy*, 2000, Vol. 28, No. 11, pp. 771-778.
- 2) Tiwari, P. and H. Hasegawa, "Houseprice dynamics in Mumbai 1989-95", *Review of Urban and Regional Development Studies*, 2000, Vol. 12, No.2, pp. 149-163.
- 3) Tiwari, P. and H. Hasegawa, "Simultaneous model of tenure choice and housing demand in Tokyo", *Journal of Housing and Land Economics*, 2000, Vol. 37, pp. 28-35 (in Japanese).
- 4) Tiwari, P., "Housing mortgage termination due to prepayments in India", *Applied Economic Letters*, 2000, Vol. 7, No.9, pp. 623-628.

- 5) Tiwari, P. and T. Kawakami, "Mode of commuting in Mumbai: a discrete choice analysis", *Review of Urban and Regional Development Studies*, 2001, Vol. 13, No.1, pp. 34-45.
 - 6) Tiwari, P. "Housing and development objectives in India", *Habitat International*, 2001, Vol. 25, No. 2, pp. 229-253.
 - 7) Doi, M., Tiwari, P. and H. Itoh, "A computable general equilibrium analysis of the efficiency effects of port sector in Japan", *Proceedings of Third GTAP Conference*, Monash University, Australia, 2000.
 - 8) Tiwari, P. "Economics of mortgage termination in India", *Proceedings of European Real Estate Society Annual Conference*, Spain, 2001.
- (3) 研究助成 (科研費, 学内プロ, 受託研究など)
- 1) University of Tsukuba Grant for Encouragement of Young Researchers for project on "Government policies and housing markets in Japan" (2000-2001).
 - 2) Ministry of Education, Science, Sports and Culture Grants-in-aid (Category C) for project on "A comparative analysis of housing finance intermediation efficiency in U.S., U.K., Australia, Japan, Thailand and India" (2001-2003).
- (4) その他
- 1) International Sociological Association's Jorge E. Hardoy Memorial Prize for Best Paper by a Researcher from a Developing Countries (Honorable Mention) for paper "Housing and development objectives in India".

藤川 昌樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 著書および査読つき論文
 - 1) 寛永7年島津邸御成における御殿の構成と式次第 単著、『日本建築学会計画系論文報告集』539、pp.255-261、2001年1月
- 2) 査読のない論文など
 - 1) 「通史」から「地誌」へ 単著、『建築雑誌』1472、2001年6月
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 四合院住区の空間構成—北京市豊盛地区の構成原理に関する研究・その3— 共著、『日本建築学会大会学術講演梗概集』E-2分冊、pp.227-228、2000年9月
 - 2) つくばの民家 (第3回) インタビュー、『住と建築』479、pp.2-9、2000年7月、[聞き手・構成: 関美穂子]
 - 3) つくば市古民家調査報告書—その3— 共編著、つくば市教育委員会、2001年3月
 - 4) 将軍御成と江戸大名屋敷—日本近世都市・住宅史の一視点— 講演、2001年2月25日、第1回韓・日建築史学連合SEMINAR [ソウル国立大学]
 - 5) 都市としてみた橋本 講演、2001年3月16日、橋本の町と町家の研究会第2回研究発表会 [橋本市教育文化会館]

(2) 学会活動

- 1) 日本建築史研究会幹事、作事史料を読む会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト (奨励研究) 「江戸藩邸空間の展開過程に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 社会工学類 都市計画入門 緑地・景観計画 都市計画実習2
- 2) 環境科学研究科 環境計画史 環境計画実習
- 3) システム情報工学研究科 都市居住環境史演習
- 4) 総合科目 都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系施設委員
- 2) 社会工学類カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 高知県室戸市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員
- 2) 地方農村環境技術検討委員会委員（（財）農村環境整備センター）

藤原 博彦

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 藤原博彦,須藤修,増田祐司他「サイバーエコノミーと会計」『ECビジネスシステム技術大系・第1巻、第2編、第2章』（フジテクノシステム）66-72頁 H13年5月
 - 2) 藤原博彦「金融資本市場の変容とIRの可能性」『社会情報学会学会誌』第12-2号34-41頁 H13年5月
 - 3) 藤原博彦「ステイクホルダーの多様化とビジネス・モデル」日本セキュリティマネジメント学会第15回発表予稿集31-36頁 H13年5月
 - 4) 藤原博彦「社内広報とディスクロージャー」日本広報学会第6回研究発表大会発表予稿集34-37頁 H12年11月
 - 5) 藤原博彦「広報による企業情報ディスクロージャー」日本社会情報学会第15回全国大会発表予稿集311-316頁 H12年9月
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 藤原博彦「雇用不安時代の社内広報」『日本広報学会雇用不安時代の社内広報研究会報告書』（日本広報学会）54-57頁 H12年9月
- (2) 学会活動
 - 1) 日本社会情報学会評議員
 - 2) 情報文化学会全国大会座長

古屋 秀樹

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 古屋秀樹,鹿野島秀行,牧野修久,寺奥淳:非幹線道路における交通事故発生の実態とその抑制に関する一考察-安全確認不履行による交差点出会い頭事故を中心として-,第20回交通工学研究発表会論文報告集,pp.21-24,2000.10
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) 石田東生,三浦裕志,岡本直久,古屋秀樹:高度情報機器を用いた走行速度調査における抽出率の検討,土木計画学研究・講演集, pp.671-674, 2000.11
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 金山直司,古屋秀樹,岡本直久,石田東生:車両位置データの取り込み手法に関する基礎的研究、第28回関東支部技術研究発表会講演概要集第4部門, pp.562-563, 2001年3月
 - 2) 西村正志,小畑晴嗣,藤川昌樹,古屋秀樹:ヒヤリ地図作成におけるデータ収集方法について、第28回関東支部技術研究発表会講演概要集第4部門, pp.570-571, 2001年3月
- (2) 学会活動
 - 1) 土木学会土木計画学研究委員会委員兼幹事
 - 2) 交通工学研究会編集委員会委員
 - 3) 日本計画行政学会査読小委員会委員
 - 4) 運輸政策研究機構外国文献研究会メンバー
- (3) 研究助成など
 - 1) 科学研究費・奨励研究(A):プライシングなどによる交通流動の変化を考慮した環境影響の算出に関する方法論的研究(研究代表者)

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義

- 1) 図学・測量学(社会工学類)
 - 2) 社会工学情報処理実習2(社会工学類)
 - 3) 交通システム分析(社会工学類)
 - 4) 都市計画実習 3 (社会工学類)
 - 5) 都市・地域を考える(総合科目)
 - 6) 交通計画演習(システム情報工学研究科)
 - 7) 交通計画論(環境科学研究科)
 - 8) 環境計画演習 (環境科学研究科)
- (2) 役職・各種委員
- 1) 環境科学研究科広報委員

三橋 平

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
Park, Hyeon Jeong, Hitoshi Mitsunashi, Carl F. Fey, and Ingmar Bjorkman. 2001. The Effect of Human Resource Management Practices on Japanese MNC Subsidiary Performance? A Partial Mediating Model. Proceeding of The Global HRM Conference, Barcelona, Spain (REFEREED).
 - 4) 博士論文
Mitsunashi, Hitoshi. 2000. Finding a Partner: Selection Uncertainty in Alliance Formation. Ph.D. Dissertation, Cornell University: Ithaca, NY.

II. 教育・業務活動

- 1) 経営の科学 (社会工学類)

Ying Miao

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) Optical orthogonal codes derived from difference triangle sets, Congressus Numerantium 143 (2000), 129-139.
 - 2) Optical orthogonal codes: their bounds and new optimal constructions, IEEE Transactions on Information Theory 46 (2000), 2396-2406.
 - 3) Constructions for rotational near resolvable block designs, Journal of Combinatorial Designs 9 (2001), 157-181.
 - 4) Cyclically resolvable cyclic Steiner 2-systems $S(2,4,52)$, Journal of Statistical Planning and Inference 95 (2001), 245-256.
 - 5) Directed $B(K,1;v)$ with $K = \{4,5\}$ and $\{4,6\}$ related to deletion/insertion-correcting codes, Journal of Combinatorial Designs 9(2001), 147-156.
 - 6) Existence of nested designs with block size five, Journal of Statistical Planning and Inference 94 (2001), 249-254.
 - 7) Optimal $(9v,4,1)$ optical orthogonal codes, SIAM Journal on Discrete Mathematics 14 (2001), 256-266.
 - 8) Resolvable BIBDs with block size 7 and index 6, Discrete Mathematics 226 (2001), 1-20.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) An infinite series of optimal optical orthogonal codes, International Symposium on Analysis, Combinatorics and Computing, Dalian University of Technology, China, August 5 - 8, 2000.
 - 2) Optical orthogonal codes derived from difference triangle sets, 日本数学会, 京都大学, 平成12年9月24日-27日.
 - 3) Optimal $(9v,4,1)$ optical orthogonal codes, 「実験計画とその周辺における手法の開発とその応用」研究集会, 広島大学, 東広島, 平成12年11月13日-15日
 - 4) Optimal $(9v,4,1)$ optical orthogonal codes, 「Combinatorial Structure of Experimental Designs and its Applications VIII」研究集会, 国際自然科学研究所, 倉敷, 平成12年12月15日-16日.
 - 5) Optimal $(9v,4,1)$ optical orthogonal codes, 日本数学会, 慶応義塾大学, 平成13年3月26日-29日.
- (2) 学会活動

- 1) 京都大学数理解析研究所研究集会 「Designs, Codes, Graphs and their Links」 (平成12年6月27日-30日) の研究代表者
- (3) 研究助成
 - 1) 科学研究費補助金 (奨励研究 (A)) No.12740054 「組合せ的デザインとその符号・暗号への応用」

II 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 統計学
 - 2) 経営・政策科学研究科 実験計画法

村尾 修

I . 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 村尾修 (共著) : 1999年台湾・集集地震災害調査および応急復旧技術資料 -1999年台湾・集集地震第I編災害調査報告-, 日本建築学会, 234, 2000.11
 - 2) 村尾修, 山崎文雄 : 都市解析手法MUSEの提案と都市デザインにおける役割, 日本建築学会技術報告集, 日本建築学会, No. 12, 177-182, 2001.1
 - 3) 村尾修 : 都市解析手法に関する最新技術研究の視察および適用事例の調査 -平成12年度三好研究助成調査報告-, 生産研究, 52巻12号, 52-55, 2000.12
 - 4) 市古太郎, 福留邦洋, 林泰義, 村尾修, 野澤千絵, 照本清峰, 王雪文 : 台湾大地震における被災地復興の実態と課題, 都市計画, 日本都市計画学会, No. 226, 83-89, 2000.8
 - 5) 村尾修 (共著) : 台湾大地震 (921集集地震) 復興調査報告書, 日本都市計画学会防災・復興研究委員会, 110, 2000.9
 - 6) 村尾修 (編集, 共著) 日本都市計画学会防災・復興研究委員会 : 防災・復興研究委員会2000年度活動報告書, p.279, 2001.3
 - 7) Umemura, K., Murao, O., and Yamazaki, F.: "Development of GIS-Based Building Damage Database for the 1995 KOBE Earthquake," Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Vol. 1, 389-394, Taiwan, 2000.12
 - 8) Murao, O., and Yamazaki, F.: "Prospect for the Method of Urban Safety Analysis and Environmental Design," Proceedings of the 21st Asian Conference on Remote Sensing, Vol. 2, 1155-1160, Taiwan, 2000.12
 - 9) 村尾修, 山崎文雄 : 都市デザインにおける都市解析手法MUSEの意義, 2000年度日本建築学大会 (東北) 学術講演梗概集F-2, 日本建築学会, 569-570, 2000.9
 - 10) 村尾修 : 地震防災から見た3次元都市空間データへの期待, 第3回都市の3次元マッピングに関する国際ワークショップ (UME'2000) 「3次元都市空間データの利用と標準化」予稿集, 10, 2000.9
 - 11) 梅村幸一郎, 村尾修, 山崎文雄 : 建物被害想定における建物属性の最適分類区分に関する考察, 土木学会第55回年次学術講演会講演概要集I-B282, 土木学会, 564-565, 2000.9
 - 12) 村尾修, 山崎文雄 : 都市解析手法MUSE実現への展望, 2000年地域安全学会梗概集, 地域安全学会, 73-76, 2000.11
 - 13) 村尾修 : 2000年度日本都市計画学会学術研究論文発表会ワークショップ報告-21世紀の防災都市研究の展望-, 都市計画, 日本都市計画学会, No. 229, 137-138, 2001.2
- (2) 学会活動 (2000. 4. 1 - 2001. 3. 31)
 - 1) 都市計画学会 防災・復興研究委員会
 - 2) 同委員会にて, 1999年台湾集集地震の復興調査
- (3) 研究助成など (2000. 4. 1 - 2001. 3. 31)
 - 1) 都市解析手法に関する最新技術研究の視察および適用事例の調査 (アメリカ) (H12), 生産技術研究奨励会三好研究助成金
- (4) その他の研究活動 (2000. 4. 1 - 2001. 3. 31)
 - 1) 地震予知振興会からの依頼を受け, 建物耐震性能等の実態に関する調査研究を実施

II 教育・業務活動 (2000. 4. 1 - 2001. 3. 31)

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 都市計画実習Ⅲ
 - 2) 社会工学類 都市デザイン演習
- (3) 他大学における教育活動
 - 1) 東京大学生産技術研究所研究員

III. 社会的活動 (2000. 4. 1 - 2001. 3. 31)

- 1) 村尾修：地震防災から見た3次元都市空間データへの期待，第3回都市の3次元マッピングに関する国際ワークショップ (UME'2000) 「3次元都市空間データの利用と標準化」予稿集10, 2000.9
- 2) 「PASCO GIS FAIR 2000 in TOKYO」(青山TEPIA) で開催されたワークショップにて「3次元空間データを用いた都市解析とアーバンデザインの展望」と題する講演を行う。2000.11

山鹿 久木

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 査読つき論文
 - 1) 大竹文雄・山鹿久木 (2001), 「定期借家権が家賃に与える影響」, 『日本経済研究』No.42, pp.1-20.
 - 2) Yamaga, H., (2000), "The impacts of fare reimbursement and congestion charge on housing rent: The case of a commuter train line in Tokyo", *Review of Urban & Regional Development Studies*, Vol.12, No.3, pp.200-212.
 - 3) 山鹿久木・八田達夫 (2000), 「通勤の疲労コストと最適混雑料金の測定」, 『日本経済研究』No41, pp.110-131.
 - 2) その他の論文
 - 1) 山鹿久木 (2001), 「ヘドニック・アプローチによる通勤と住宅の経済分析」, 大阪大学博士学位論文, pp.1-67.
 - 2) 山鹿久木 (2000), 「多段階料金制による最適混雑料金」, 『大阪大学経済学』Vol.50, No.1, pp.169-185.
 - 3) 口頭発表
学会発表
 - 1) 第14回応用地域学会 (筑波大学), 「定期借家権制度導入による賃貸住宅市場への影響」, 2000年12月5日.
 - 2) 日本経済学会2000年度秋季大会 (大阪府立大学), 「通勤の時間費用と疲労コストの測定 - JR中央線と大手民鉄5社を対象に - 」, 2000年9月16日.セミナー発表
 - 1) 社研セミナー2001年冬季 (大阪大学), 「ヘドニック・アプローチによる通勤と住宅の経済分析」, 2001年2月27日.
 - 2) 住宅経済研究会 (財) 日本住宅総合センター主催, 「定期借家権制度導入が賃貸住宅市場に与える影響」, 2001年1月29日.
 - 3) 社会工学系ファカルティ・セミナー (筑波大学), 「首都圏の鉄道サービスに対する混雑税導入とそのインパクト」, 2000年11月15日.

吉田 友彦

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著者および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー
 - 1) 吉田友彦・三宅醇(2001.1): 「市街化区域内土地改良事業地区における住宅建設の特徴と制御の方向性 - 愛知県豊川市を事例として - 」, 日本建築学会計画系論文集第539集, pp.179-185
 - 3) 査読なし口頭発表, 学会による招待講演など
 - 1) 吉田友彦・上北恭史・坂本淳二 (2000.9): 「北京市豊盛地区四合院住宅のすまい方に関する研究 - その1 現代北京四合院住宅の居住実態概要 - 」日本建築学会大会学術講演梗概集,

pp.231-232

- (2) 学会活動
 - 1) 日本建築学会関東支部住宅問題専門研究委員会委員
 - 2) 日本建築学会建築経済委員会住宅の地方性小委員会委員
- (3) 研究助成など
 - 1) 科学研究費・奨励研究 (A) : 開発途上国への土地区画整理技術の移転に関する研究 (研究代表者)
 - 2) 筑波大学学内プロジェクト (奨励研究) : 住宅地区改良法制定時の囲み型集合住宅の計画過程に関する研究 (研究代表者)

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義等
 - 1) 社会工学概論及び実習 (社会工学類)
 - 2) 都市計画実習Ⅱ (社会工学類)
 - 3) 一般日本事情Ⅱ (日本語・日本事情編成科目)
 - 4) 留学生センター相談指導業務 (火曜日)
 - 5) 外国人留学生及びチューター向けオリエンテーション (国費2回・私費2回・チューター1回, 合計年5回)
 - 6) システム情報工学研究科・特別研究学生 (短期交換留学生) の履修指導補助
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類広報委員
 - 2) 留学生センターホームページ作業委員

III. 社会的活動

- 1) 特定非営利活動法人西山記念すまいまちづくり文庫公式ウェブページ作成・管理

吉野 邦彦

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のproceedingsのペーパー
 - 1) 係留型バルーンからの空中写真を用いた熱帯泥炭湿地林の地上部バイオマス量推定、吉野 邦彦、石田 朋靖、長野 敏英、串田 圭司、近津 博文、鈴木 覚、写真測量とリモートセンシング、Vol.39、No.6、pp.56-61、2000年
 - 2) ÅgRelationship between Canopy BRDF and Physical Parameters of 3-D Structure of Vegetation in Northern Wetland in JapanÅh, M. Miyamoto, K. Yoshino, K. Kushida, Asian Journal of Geo-informatics, Journal of Asian Association of Remote Sensing, Vol.1, No.4, pp.57-69, Special issue in June 2001.
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) Utilization of Vegetation Physical Parameters and Bi-directional Reflectance Distribution Functions for Vegetation Cover Classification of Kushiro Shitsugen, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida, Michiru Miyamoto. Proc. of 2000 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia-Remote Sensing and Forests-, EMEA 2000 in Kanazawa, pp.55-66, 2000.
 - 2) Relationship between Canopy BRDF and Physical Parameters of 3-D Structure of Vegetation in Northern Wetland in Japan, M. Miyamoto, K. Yoshino, K. Kushida, ACRS2000 Proceedings of the 21st Asian Conference on Remotesensing, pp.615-620, DEC 4-8, 2000, Taipei Taiwan.
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) The relationship between the canopy reflectance and the canopy 3-D structure of vegetation in the northern wetlands in Japan, Miyamoto Michiru, Yoshino Kunihiko, Kushida Keiji, WSW2000, Canada
 - 2) Relationship between the canopy reflectance and the canopy 3-D structure of vegetation in the northern wetlands in Japan, M. Miyamoto, K. Yoshino, K. Kushida Millennium Wetland Event, Quebec 2000, abstracts, pp.469-470 (Poster)
- (3) 研究助成など
 - 1) 北海道低温科学研究所共同利用研究

II. 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 社会工学類 授業 都市計画実習
 - 2) 社会工学類 授業 環境解析
 - 3) システム情報工学研究科博士課程 地域環境影響評価論演習
 - 4) 環境科学研究科修士課程 環境科学実習
 - 5) 環境科学研究科修士課程 環境情報調査表現法
 - 6) 環境科学研究科修士課程 リモートセンシングII (世話人)
 - 7) 環境科学研究科修士課程 環境政策実習
 - 8) 環境科学研究科修士課程 環境アセスメント
- (2) 役職・各種委員
 - 1) 社会工学類3年生クラス担任
 - 2) 環境科学研究科カリキュラム委員

渡辺 真一郎

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー
 - 1) Watanabe, S., Kanazawa, Y., & Tsuru, N. (2001). A test of a personality-based view of intrinsic motivation. 31p. A paper presented at *American Psychological Society 13th Annual Convention, Toronto, Canada*.
 - 2) 1) 以外の論文など
 - 1) Tsuru, N., Kanazawa, Y., & Watanabe S. (2001). Continuous learning as a mediator of the relationship between personality and sales performance: An empirical study on a Japanese information systems company. *Japanese Journal of Administrative Science, 15,1*, pp.1-28.
- (3) 研究助成など
 - 1) 筑波大学学内プロジェクト特別助成研究(S), ワーク-ファミリー間インターフェイスが人間行動に及ぼす効果に関する研究
 - 2) 文部科学省科研費基盤研究一般 (C)(2), 組織行動論の分析単位の拡張: ワークからワーク・ファミリー間インターフェイスへ

Ö† 教育・業務活動

- (1) 担当講義
 - 1) 経営組織論 (社会工学類および経営・政策科学研究科)
 - 2) 社会調査法および実習 (社会工学類)
 - 3) 組織科学 (システム情報工学研究科計量ファイナンス・マネジメント専攻)

Monday Ohi Asikhia

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 1) 著書および査読つき論文
 - 1) Improving housing development and ownership: prospects for self-build housing in Nairobi, Kenya. Peter K. Kamau, Monday Ohi Asikhia et al. (under review)
 - 2) International Cooperation in Urban Residential Upgrading in Jakarta: A Case study of *Kampung Improvement Program* Batubara, Maruhum; Tanimura, Hidehiko; Toshimori, Atsushi; Monday, Ohi Asikhia (Submitted to the *Singapore Journal of Tropical Geography*).
 - 3) A conjoint analysis of residential preference pattern of settlers and resettlers in Davao city, Philippines. Ibarra Jose Miguel; Tanimura, Hidehiko; Toshimori, Atsushi; Monday, Ohi Asikhia. (Submitted to the *Singapore Journal of Tropical Geography*)
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) Pacific Rim Council on Urban Development (PRCUD) Annual Roundtable Tokyo/Chiba 2000 ÅgBuilding Local Network for Sustainable DevelopmentÅh

(2) 学会活動

- 1) Member, Pacific Rim Council on Urban Development (PRCUD)
- 2) Member, United Nations Center for Regional Development
- 3) Member of Nigerian Geographical Association
- 4) Member of Nigerian Society for Environmental Management and Planning
- 5) Member of Nigerian Meteorological Society
- 6) Member of the Architectural Institute of Japan

Ö† 教育・業務活動

(3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）

- 1) Guest Lecturer, United Nations Center for Regional Development

Ö° 社会的活動

- 1) UNCRD Committee Member

安藤 和敏

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 2) 著書および査読つき論文・査読つき口頭発表のProceedingsのペーパー以外の論文など
 - 1) K. Ando: Moebius functions on rooted forests and their applications to Faigle-Kern's dual greedy polyhedra. Discussion Paper No. 885, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, October 2000.
- 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) K. Ando: A Greedy Algorithm for a Class of Lattice Polyhedra and Its Consequences. 17th International Symposium on Mathematical Programming, Atlanta, August 2000.
 - 2) 安藤和敏: Faigle-Kernの双対貪欲算法とその帰結. 日本応用数理学会平成12年度年会, 東京工業大学, 2000年10月.
 - 3) 安藤和敏: 凸幾何の端点演算子による特徴付けについて. 組合せ数学セミナー, 東京大学, 2001年5月.

II 教育・業務活動

(1) 担当講義(補佐)

- 1) 社会工学類 社会工学情報処理実習1

(2) 役職・各種委員

- 1) 社会工学系防災委員

大木 敦雄

II 教育・業務活動

(1) 担当講義(補佐)

- 1) 経営・政策研究科 計算機科学基礎I、II
- 2) 経営・政策研究科 計算機システム

(2) 役職・各種委員

- 1) 大塚地区学内LAN委員会委員

(3) 他大学における教育活動（非常勤講師など）

- 1) 非常勤講師(電気通信大学)

坂本 淳二

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 査読付き
 - 1) Yasufumi Uekita, Junji Sakamoto, and Masahiko Furukata (2000): "The Method of Kinetic Typography Communication", IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics 2000, pp432-436.
- 2) 1)以外の論文など

- 1) Yasufumi Uekita, Junji Sakamoto, and Masahiko Furukata (2000): "Dynamic Motion by Kinetic typography for Expressing Sensible Information", 2000 IEEE International Symposium on Visual Language Proceedings, pp95-96 (Visual Language 2000 Poster session).
- 3) 口頭発表
 - 1) 坂本淳二・上北恭史・吉田友彦(2000): 四合院住区における居住環境について —北京市豊盛地区四合院住宅のすまい方に関する研究 その2—, 2000年度日本建築学会大会学術講演梗概集(東北),E-2, pp233-234.
 - 2) 西村昌彦・鎌田元弘・坂本淳二他(2000): 都市近郊農村地域における混住コミュニティに関する研究 その1 ～居住者タイプ別にみた地域交流とコミュニティ意識, 2000年度 日本建築学会大会学術講演梗概集(東北),E-2, pp531-532.
 - 3) 鎌田能尚・鎌田元弘・坂本淳二他(2000): 都市近郊農村地域における混住コミュニティに関する研究 その2 ～混住形態から見たコミュニティの特性～, 2000年度日本建築学会大会学術講演梗概集(東北),E-2, pp533-534.
 - 4) 細谷健太郎・鎌田元弘・坂本淳二他(2000): 都市近郊農村地域における混住化による中心集落の変遷に関する研究 —茨城県猿島郡三和町を事例として—, 2000年度日本建築学会大会学術講演梗概集(東北),E-2, pp535-536.
- (3) 研究助成など
 - 1) 学内プロジェクト(奨励研究) 「政令指定都市における副都心形成の実態と施策に関する研究 —名古屋市を事例として—
- (4) その他
 - 1) 日本建築学会奨励賞受賞, 平成12年9月8日

III. 社会的活動

- 1) 茨城県三和町商工会主催まちづくり懇談会講師(2001年3月)
- 2) 集落地域整備法に基づくつくば市萱丸地区田園居住区整備基本計画策定調査に参加(2000年9月～2001年3月)

大津 晶

I. 研究活動

- (1) 研究業績
 - 3) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など
 - 1) 大津 晶・腰塚武志, コンパクトな都市の交通モデル. 応用地域学会第14回研究発表大会.

ANNUAL REPORT 2000 - 2001 No. 24

2001年10月 発行

発 行 筑波大学 社会工学系 総務委員会

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL 0298 - 53 - 5182, 5170

FAX 0298 - 53 - 5070, 55 - 3849

表紙写真 山田 圭一 名誉教授